

[003]臺灣演習林植物調査

初島, 住彦
九州帝国大学助手

<https://doi.org/10.15017/14202>

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 3, pp.1-257, 1933-06. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

(八) 演習林産植物目録

PTERIDOPHYTA 羊齒植物

Marattiaceae リウビンタイ科

1 *Angiopteris suboppositifolia* de Vries, Monogr. 23 (1853)

和名 リウビンタイ

生育地 森林内の蔭湿地に生じ低地にては普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉の全長二米に及ぶ大形羊齒にして房總半島より太平洋岸を南下し九州南部以南舊世界の熱帯に廣く分布す。

2 *Archangiopteris Somai* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 256 (1915)Syn. *Protangiopteris Somai* Hayata in Bot. Mag. Tokyo XLII. 305 (1928)

和名 ムカシリウビンタイ

生育地 演習林の北半部の森林内の蔭地に生じ稍々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本屬は古代型の羊齒なると分布は臺灣と支那雲南地方に限られるを以て有名なり。最近早田博士は中心柱の研究より臺灣産のものを支那のものと別ち上記の新屬を立てられたり。

Ophioglossaceae ハナヤスリ科

3 *Botrychium japonicum* Und. in Bull. Torr. Bot. Club. 538 (1898)

和名 オホバナワラビ

生育地 低地の森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 高さ三十糎内外の羊齒にして本州、濟州島、九州、臺灣に分布す。

4 **Ophioderma pendula** Presl, Suppl. Tent. Pteridogr. 57 (1843)

和名 コブラン

生育地 樹幹上より下垂し稍々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 北半球の熱帯地方に分布する種にして本邦にては臺灣、琉球、奄美大島、屋久島に分布す。又小笠原島にも産す。

5 **Ophioglossum vulgatum** Linn., Sp. Pl. 1062 (1753)

和名 ハナヤスリ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 高さ十糎内外の小羊歯にして北はシベリヤ、カムチャツカ、アラスカに及び南は臺灣に及ぶ。全草を癒瘡劑とし又は癩癩に用ふ。

Hymenophyllaceae コケシノブ科

6 **Hymenophyllum aculeatum** Raciborski, Pterid. Buit. 21 (1898)

和名 ヒメチヂレコケシノブ (新稱)

生育地 森林内の樹幹又は岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 チヂレコケシノブに比するに一般に小さく葉の裂片は更に小さし、比島に分布し臺灣島には新發見の種と考へられる。

7 **Hymenophyllum Blumeinum** Spreng., Syst. Veg. IV. 131 (1827)

和名 タイワンコケシノブ

生育地 森林内の樹幹又は岩面に生じ普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本種は内地産のホソバコケシノブに酷似し只全體大形なると葉は廣卵形を呈するを異にす。併し中間形多く識別困難なる場合

多し。臺灣の特有種なり。

8 Hymenophyllum flexile Makino in Bot. Mag. Tokyo XIII. 45 (1899)

和名 オホコケシノブ

生育地 森林内の岩面に生じ少々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本屬中大形の羊齒にして全長二十糎内外に及ぶ。伊豆半島、紀州以南臺灣に分布す。

9 Hymenophyllum Junghuhnii Bosch. in Miq. Pl. Jungh. I. 570 (1856)

和名 ツノマタコケシノブ

生育地 森林内の樹幹又は岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣以外にては瓜哇に分布す。

10 Hymenophyllum riukiense Christ in Ann. Conserv. Jard. Bot. Geneve IV.

208 (1900)

和名 リウキウコケシノブ

生育地 森林内の樹幹又は岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣以外にては琉球、屋久島に分布す。

11 Hymenophyllum Simonsianum Hook., 2 Cent. t. XII. (1860)

和名 シモンコケシノブ

生育地 森林内の樹幹又は岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 海外にありては印度ベンガル地方に分布す。

12 Trichomanes auriculatum Blume, Enum. 225 (1828)

和名 ツルホラゴケ

生育地 森林内の岩面又は樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本州中南部、四國、九州を南下し南支那及熱帶亞細亞に廣く分布す。

13 Trichomanes bipunctatum Poir., Encycl. VIII. 69 (1808)

和名 アヲホラゴケ

生育地 森林内の岩面又は樹幹上に着生し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本州中南部、四國、九州、濟州島より遠く南方ポリネシヤ、熱帶亞細亞、濠州に分布す。

14 Trichomanes cupressoides Desv. in Mem. Soc. Linn. Paris VI. 330 (1827)

和名 オニホラゴケ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 根莖は横走せず斜上性にして北は九州の中之島、奄美大島迄分布する汎熱帶性羊齒なり。

15 Trichomanes maximum Blume, Enum. 228 (1828)

和名 セリバホラゴケ

生育地 森林内の岩面に生じ少々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 美麗なる小形羊齒にして根莖は横走し比島に産する *T. grande* Copel. に酷似す。或ひは同一種ならん哉。臺灣以南の熱帶地方に廣く分布す。

16 Trichomanes Naseanum Christ ex Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XXIV. 239 (1910)

和名 オホバヒホラゴケ、リウキユウコガネ

生育地 森林内の岩面に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 ハヒホラゴケに似るも一般に大形にして琉球、奄美大島より薩摩迄北上す。

17 *Trichomanes orientale* C. Christ., Ind. 644 (1906)

和名 コガネシノブ
 生育地 森林内の岩面に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 普通なる羊歯にして本州中部以南、朝鮮南部を経て支那、ヒマラヤに及ぶ。

18 *Trichomanes* sp.

和名 タチセリバホラゴケ (新稱)
 生育地 海拔四、五百米の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 一見セリバホラゴケに酷似するも根莖は横走せず直立形にして葉柄の基部には赤褐色の長毛を密生す。かゝる種類は帝國産ホラゴケ屬にはなく或は新種ならんか。

Cyatheaceae ヘゴ科

19 *Alsophila formosana* Bak. in Ann. Bot. 190 (1891)

和名 チャボヘゴ
 生育地 森林内の陰地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 琉球、臺灣に産する稍々無莖の羊歯なり。

20 *Alsophila podophylla* Hook. in Kew Journ. Bot. 334 (1857)

和名 オニヘゴ、クロヘゴ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 幹は一米内外の高さに達す。北は奄美大島、屋久島迄北上し南は南支那、交趾支那、シヤムに分布す。

21 *Alsophila pustulosa* Christ in Bull. Herb. Boiss. Ser.-2, I. 1019 (1901)

和名 ヒョケヘゴ

生育地 森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 幹の高さ十米にも及ぶ大形の木状羊歯にして臺灣にては普通に見られ庭園等にも廣く植栽せらる。本種は一見タイワンヘゴに似るも葉柄は淡褐色の毛を密生(後者は褐色)し刺を有せず枯死しても相等長く固着し下垂するを以つて一見して區別し得る。本種の若芽は生食して美味なり。幹は柱、筆立等に利用せらる。琉球にも分布す。

22 *Cibotium Barometz* Smith in Hook. Lond. Journ. Bot. I. 437 (1842)

和名 タカワラビ、ヒツジシダ

生育地 森林内の崖地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見チャボヘゴに似るも葉の裏面はウラジロの如く白粉を有するを以て區別容易なり。本種の根莖には黄金色の毛茸を密生し美麗なれば葉柄の下部より切斷し犬を模造し玩具を製し又鱗片葉は血止め用又は煎用し腎臓病其他の病を治す。北は奄美大島より南は比島迄分布す。

23 *Cyathea taiwaniana* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLI. 68 (1927)

和名 タイワンヘゴ

生育地 森林内各地に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 ヒョケヘゴの如く大きくならず。従來九州南部に産するヘゴと混同せられしが幹は低く葉柄の毛茸は褐色にして暗紫色ならず主脈の細毛は遙かに密にして側脈の乳狀突起も著しき點等により區別せらる。

Polypodiaceae ウラボシ科

24 *Acrophorus stipellatus* Moore, Gard. Chron. 135 (1854)

和名 タイワンヒメワラビ

生育地 ロホン山の頂上附近海拔八百米附近に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 美麗なる羊齒にして馬來、印度方面に廣く分布し本邦にては臺灣、屋久島に産す。

25 *Adiantum caudatum* Linn., Mant. II. 308 (1771)

和名 クジャクデンド

生育地 低地の森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 汎熱帶性の羊齒にして本邦にては臺灣のみに産す。

26 *Adiantum flabellulatum* Linn., Sp. Pl. 1095 (1753)

和名 オキナハクジャクシダ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 美麗なる羊齒にして内地産のクジャクシダに似た所あり。南は南支那、馬來半島及群島、印度ヒマラヤ、アツサム、セイロン島より北は九州屋久島迄分布す。

27 *Antrophyum Grevillei* Balf., Grev. Ann. Mag. Nat. Hist. II. 2, 10 (1848)

- 和名 ホソバオホバコシダ、シマタキミシダ
 生育地 森林内の岩面に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 長さ二十糎内外の一枚の筧形の葉を有し南は瓜哇、印度、アッサム地方より北は臺灣迄分布す。

28 *Antrophyum plantagineum* Kaulf., Enum. 197 (1824)

- 和名 オホバコシダ
 生育地 森林内の岩面に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 前種に似るも葉は狭長なるを以て區別容易なり。臺灣以南の亞細亞の熱帯に廣く分布す。

29 *Arthropteris obliterated* J. Sm., Cat. Cult. Ferns. 62 (1827)

- 和名 フラビツナギ
 生育地 森林内の岩面又は樹幹に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 一見タマシダに似たる汎熱帯性羊齒にして北は琉球國頭地方迄分布す。

30 *Aspidium subtriphylum* Hooker, Sp. Filic. IV. 52 (1862)

Syn. *Aspidium hokutense* Hayata, Mater. Fl. Formos. 424 (1911)

- 和名 ホクトアミシダ
 生育地 低地の森林の蔭地に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 臺灣、琉球に産す。

31 *Asplenium cuneatum* Lam., Encycl. II. 309 (1786)

- 和名 ホウライヤブクジヤク
 生育地 森林内の樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 タカサゴヤブクジャクに酷似するも葉身は一回羽状なり。兩半球の熱帯に廣く分布し本邦にては臺灣のみに生ず。

32 *Asplenium Hancockii* Max. in Mel. Biol. XL. 868 (1883)

Syn. *Monomelangium Hancockii* Hayata in Bot. Mag. Tokyo XLII. 343 (1928)

和名 ハンコクシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本種の毛茸は節を有するを以て有名なり。琉球にも分布すと云ふ。

33 *Asplenium laserpitiiifolium* Lam., Encycl. II. 310 (1786)

和名 オキナハシダ

生育地 森林内の樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 樹幹の上部に着生し葉の全長一米に及ぶものあり。北半球の熱帯地方に廣く分布し琉球を経て奄美大島迄北上し又小笠原島にも分布す。

34 *Asplenium Makinoi* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 224 (1914)

和名 マキノシダ

生育地 森林内の岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 一見クルマシダに似るも下垂性なると羽片の幅は遙かに廣さにより區別し得。本種はシケシダ屬に入れらるることもあり。臺灣特産なり。

35 *Asplenium Nakanoanum* Makino in Bot. Mag. Tokyo XXVIII. 176 (1914)

和名 フササジラン

生育地 森林内の岩面に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 一見サジランに似るも葉縁は全縁ならず根莖は横走せざるを以て直に區別し得る。臺灣の外に屋久島に分布す。

36 *Asplenium normale* Don, Prodr. Fl. Nepal. 7 (1825)

和名 ヌリトラノヲ
 生育地 森林内の蔭地に生じ少々稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 高さ二十糎内外の小形羊齒にして一回羽狀の葉は往々先端地に着き根を下す。北は本州中南部より南は熱帶亞細亞に分布す。

37 *Asplenium tenerum* Forst., Prod. 80 (1786)

和名 オトメシダ
 生育地 森林内の樹幹に着生し極めて稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 一見ホウライヤブクジャクに似るも羽片は遙に圓味を有するを以て區別し得る。熱帶亞細亞に廣く分布し小笠原島にも分布す。

38 *Asplenium unilaterale* Lam., Encycl. II. 305 (1786)

和名 ホウビシダ
 生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州中南部以南北半球の熱帶に廣く分布す。

var. **rahaense** Hayata, Gen. Ind. Fl. Formos. 103 (1916)

和名 ラハラシダ
 生育地 森林内の蔭地に生じ少々普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本變種は前者に比し全體大形にして葉の全長六十糎に達するも

のあり。臺灣の特産なり。

39 *Asplenium Wilfordii* Mett., Kuhn in Linn. XXXVI. 94 (1869)

和名 アフガネシダ

生育地 森林内の樹幹の相當高き所に着生し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本州中南部以南、四國、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣に分布す。

40 *Blechnum orientale* Linn., Sp. Pl. 1077 (1753)

和名 ヒリュウシダ

生育地 森林内の比較的陽地に生じ極めて普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 熱帶亞細亞、濠州に分布する大形羊齒にして本邦にては臺灣、琉球、奄美大島、屋久島、小笠原島に分布す。

41 *Cheiropleuria bicuspis* Presl var. *integrifolia* Eat. apud Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos. 641 (1906)

和名 スヂヒトツバ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部、四國、九州の太平洋岸を南下し比島、瓜哇迄分布す。

42 *Cornopteris decurrenti-alata* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLIV. 8 (1930)

Syn. *Diplazium Hookerianum* Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXXVIII. 105 (1924)

和名 シケチシダ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州伊豆半島以南、支那及亞細亞の熱帯に廣く分布す。

43 Cyclophorus Lingua Desv., Prod. 224 (1827)

和名 ヒトツバ

生育地 森林内の樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本州中南部以南熱帯亞細亞に廣く分布す。庭園及築山等に用ひられ又薬用にも供せらる、葉は煎用して腫物、止血、利尿及び精氣を益するに用ひる外淋病等に用ふ。

44 Davallia stenolepis Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 204 (1914)

和名 タイワンシノブ

生育地 森林内の樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 シノブに酷似するも全體粗大にして葉質薄く子囊群を着くる裂片は彼に比し鈍頭狭長なり。臺灣特産なり。

45 Denstaedtia scabra Moore, Ind. 307 (1861)

和名 コバノイシカグマ

生育地 海拔六百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部以南印度迄分布す。

46 Denstaedtia scandens Moore in Parker's Cat. (1858)

和名 ツルカグマ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 葉柄の鈎により他物に攀縁する面白き蔓性羊齒にして比島、瓜哇に分布す。

47 Denstaedtia Smithii Moore, Ind. 308 (1861)

和名 タイワンタカワラビ

生育地 森林内の蔭地に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉の全長二米にも及ぶものあり、臺灣以南の亞細亞の熱帯に廣く分布す。

48 Dictyocline Griffithii Moore var. **pinnatifida** Beddome, Ferns Brit. Ind. 155 (1866)

Syn. *Aspidium Griffithii* Diels in Engl. et Prantl, Pfl.-fam. I.-4, 186 (1899)

和名 アミシダ

生育地 低地の森林の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉の全長三十糎内外にして細毛を布き一見ジャカウシダに似たり。南は印度より北は琉球、屋久島を経て土佐、伊勢の宇治山田外宮神域に迄分布す。

49 Dictyopteris Brongniarti Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLVII. 159 (1933)

Syn. *Aspidium submembranaceum* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 188 (1914)

和名 ウ斯巴ワラビ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 大形の羊齒にして葉の全長一米以上に達するものあり。臺灣北部に産す。

50 Diplaziopsis javanica C. Christ., Ind. 227 (1905)

和名 イハヤシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部より南は亞細亞の熱帯に廣く分布す。

51 Diplazium arisanense Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 212 (1914)

和名 アリサンワラビ
 生育地 ロホン山海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 一見イヌワラビ屬に似たる羊齒にして臺灣特産なり。

52 *Diplazium Doederleinii* Kodama in Matsum. Ic. Pl. Koisik. I-5, t. 70 (1913)

和名 シマシロヤマシダ
 生育地 谷間の陰濕地に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 大形の羊齒にして九州屋久島以南臺灣に分布す。

53 *Diplazium esculentum* Swartz in Schrad. Journ. 1800-2, 312 (1803)

和名 クハレシダ 臺灣名 過溝菜
 生育地 河岸等陽地の濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 大形羊齒にして葉の全長一米内外の二、三回羽狀複葉を有す。
 屋久島、奄美大島以南亞細亞の熱帯に廣く分布す。嫩葉は煮て食すと云ふ。

54 *Diplazium fraxinifolium* Presel, Rel. Haenk. I. 49 (1825)

和名 キノボリシダ
 生育地 森林内の陰地に生じ少々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 キノボリシダの名あるも決して攀縁せず、蓋し之の名オホキノボリシダに似たる所より來るならん。屋久島、奄美大島以南亞細亞の熱帯に廣く分布す。

55 *Diplazium japonicum* Bedd., Ferns. Brit. Ind. Suppl. 12 (1876)

和名 シケシダ
 生育地 森林内の陰濕地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 分布廣き羊齒にして北海道以南亞細亞の熱帶地方に廣く分布す。

56 *Diplazium lanceum* Presl, Tent. 113 (1836)

和名 ヘラシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稍々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 内地にも廣く分布する羊齒にして本州中南部以南亞細亞の熱帶に廣く分布す。

57 *Diplazium maximum* C. Christ., Ind. 235 (1905)

和名 ヒロハノコギリシダ

生育地 谷間の陰濕地に群生し極めて普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 大形の羊齒にて葉の全長一米に達する二、三回羽狀複葉を有す。熱帶亞細亞に廣く分布し本邦には屋久島、奄美大島以南に分布す。

58 *Diplazium Mettenianum* C. Christ., Ind. 236 (1905)?

和名 ミヤマノコギリシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 内地産のものに比し葉形稍々異なるが如し。本州の伊豆半島、紀州、九州以南支那に分布す。

59 *Diplazium odoratissimum* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 273 (1915)

和名 ジャカウシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稍々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 アミシダに似るも兩面共に無毛平滑にして網目遙かに粗く子囊

群は線形をなして網脈に沿着すれど概ね羽片の中肋に接近して斜に両側に單列し彼の如く全面に滿布することなし。本種は乾くときは根莖麝香の如き香を發散するを以て上記の和名あり。根莖より適當の方法にて香料を採集し得ば有用羊齒なり。臺灣特産なり。

60 *Dipteris conjugata* Reinw., Syll. Pl. II. 3 (1824)

和名 ヤブレガサウラボシ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 葉の直徑三十糎内外にして傘狀を呈する特徴ある羊齒なり。琉球、臺灣、馬來、印度、ポリネシヤに分布す。

61 *Drymoglossum obovatum* Christ in Journ. de Bot. XIX. 73 (1905)

和名 タイフンマメヅタ

生育地 森林内の樹幹又は岩面に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 内地産のマメヅタに酷似するも葉は倒卵形を呈す。臺灣特産なり。

62 *Dryopteris acuminata* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLII. 217 (1928)

和名 ホシダ

生育地 河岸等の比較的陽地に生じ少々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 日本中南部、四國、九州、琉球、臺灣に分布す。

63 *Dryopteris arida* Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 812 (1891)

和名 ミミホシダ

生育地 森林内の陰地に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 外形ホシダに酷似するも丈高く葉の全長一米にも及び且つ葉脚部に耳形の小葉あるを以て直に區別することを得。海外にありては比島、海南島、馬來半島に分布す。

64 *Dryopteris aurita* C. Christ., Ind. 253 (1905)

和名 ミミガタシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 海外にありては印度に分布す。

65 *Dryopteris decursivo-pinnata* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 812 (1891)

和名 ゲジゲジシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稍々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 内地にては普通の羊齒にして本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、南支那に分布す。

66 *Dryopteris dissecta* O. Kuntze, l. c.

和名 ウスバシダモドキ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見ミゾシダに似るも一般に大形にして殊に最下羽片大なり。馬來、印度、ポリネシヤ、マダガスカル島に分布す。

67 *Dryopteris Eatoni* O. Kuntze, l. c.

和名 ホラカグマ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 琉球、臺灣の特産なり。

- 68 *Dryopteris gracilescens* O. Kuntze var. *glanduliferum* Makino in Mak. et Nemoto, Cat. Jap. Pl. Herb. Tokyo Imp. Mus. 426 (1914)

和名 ハシゴシダ

生育地 普通森林内に生ずるも茶園等にも相等見られ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那、瓜哇、印度に分布す。

- 69 *Dryopteris hirsutisquama* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 277 (1915)

和名 タイワンハリガネワラビ、ヤハラシダモドキ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 ヤハラシダに酷似するも葉面毛茸多し。臺灣特有種なり。

- 70 *Dryopteris lepigera* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 813 (1891)

和名 キンマウキノデ

生育地 森林内の蔭地に生じ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 大形羊歯にて葉の全長一米に達するあり。北は紀州、四國、九州より南は臺灣迄分布す。

- 71 *Dryopteris leucostipes* C. Christ., Ind. 274 (1905)

和名 シログキシダ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉の全長一米に及ぶものあり。一見コバザケシダに似たるも莖白色を呈するを以て直に區別し得る。南は印度迄分布す。

- 72 *Dryopteris melanocarpa* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 163 (1914)

和名 クロミノイタチシダ

生育地 比較的乾燥せる山腹の森林内に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 ミヤマイタチシダに比し羽片は著しく鋭尖頭又ナガバノイタチシダに比し最下の羽片に於ける小羽片は著しく長し。臺灣特産なり。

73 *Dryopteris mingetsuensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 281 (1915)

和名 ミングツシダ
 生育地 海拔七百米附近の森林の蔭地に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 臺灣特産なり。

74 *Dryopteris ochtodes* C. Christ., Ind. 280 (1905)

和名 イブキシダ
 生育地 低地の森林の蔭濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 一見シログキシダ又はコバザケシダに酷似するも全株無毛なるにより區別することを得。本州中南部以南海南島、馬來、印度方面に分布す。

75 *Dryopteris oligophlebia* C. Christ., Ind. 280 (1905)

和名 ヒメワラビ
 生育地 人家附近の竹林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州中南部以南臺灣、支那並に小笠原島に分布す。

76 *Dryopteris parasitica* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 811 (1891)

和名 ケホシダ
 生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)

備考 一見ホシダに似るも毛茸密生せるを以て區別容易なり。四國、九州南部以南北半球の熱帶地方に廣く分布す。

77 *Dryopteris sparsa* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 813 (1891)

和名 ナガバノイタチシダ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 房總半島より伊豆半島を経て四國、九州以南支那南部、馬來、印度、セイロン島に分布す。

78 *Dryopteris* sp.

生育地 低地の森林の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見ナガバノイタチシダに似るも全體壯大なり。

79 *Dryopteris sublaxa* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 183 (1914)

和名 シマヤハラシダ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見ハシゴシダに酷似し又ヤハラシダにも近けれど一體に毛茸多きを以て一見區別し得る。屋久島に分布す。

80 *Dryopteris taiwanensis* C. Christ., Ind. 297 (1905)

和名 コバザケシダ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見イブキシダ、シログキシダに酷似すること前記の如し。琉球、臺灣のみに産す。

81 *Dryopteris triphylla* C. Christ., Ind. 298 (1905)

- 和名 カウモリシダ
 生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 葉は通常三枚よりなる。北は土佐、屋久島、奄美大島より南は臺灣、比島、馬來、印度に分布す。

82 *Dryopteris viridescens* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 814 (1891)

- 和名 リヤウメンシダ
 生育地 森林内の蔭湿地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 葉の両面とも一樣の色を呈す。北は北海道より南は臺灣、支那に分布す。

83 *Dryopteris Yabei* Hayata, Mater. Fl. Formos. 424 (1911)

- 和名 イタチシダモドキ
 生育地 低地の山腹に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 イタチシダに頗る酷似するも葉の全形及羽片の裂片は卵形をなし(彼は三角形にて裂片は長橢圓形)根莖上及葉柄上の鱗片は彼より廣濶にて葉柄及羽軸の鱗片は赤褐色を呈す。臺灣北部、屋久島に産す。

84 *Egenolfia appendiculata* J Smith, Ferns Brit. & Foreign 16 (1866)

Syn. *Polybotrya marginata* Blume, Enum. Jhv. 100 (1828)

- 和名 オキナハキジノヲ
 生育地 森林内の蔭地に生じ少々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 一見キジノヲシダを縮小せる形にして葉の先端は往々地に着き下根す。北は奄美大島より南は琉球、臺灣を経て熱帶亞細亞に

廣く分布す。

85 *Histiopteris incisa* J. Sm., Hist. Fil. 295 (1875)

和名 ユノミネシダ

生育地 林縁の蔭濕地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 美麗なる大形羊齒にして本邦にては紀州、九州南部、琉球、臺灣に分布するも北半球の熱帯に廣く分布する種類なり。

86 *Humata lepida* Moore, Ind. XCII (1857)

和名 シマキクシノブ

生育地 森林内の岩面に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 キクシノブに酷似するも葉面の分裂細小なると胞子の大きさを異にするを以て容易に區別することを得る。比島に分布す。

87 *Leptochilus Harlandii* C. Christ., Ind. Fil. 11 (1905)

和名 ハルランシダ、トネリコシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 實葉を有する羊齒にして琉球、臺灣、香港に分布す。

88 *Leptochilus virens* C. Christ., Ind. Fil. 20 (1905)

和名 ヘツカシダ

生育地 森林内の蔭地に生じ稍々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本種も實葉を有し大體オホヘツカシダに似るも羽片は狭少且つ數多きを以て區別することを得る。琉球、臺灣を経て遠く印度、ビルマに分布す。

89 *Lindsaya cultrata* Sw., Syn. 119 (1806)

- 和名 ホングウシダ
 生育地 河岸の岩面に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 高さ十五糎内外の小形羊歯にして紀州、九州南部、濟州島、琉球、臺灣を経て熱帯アジア、アフリカに分布す。

90 *Lindsaya davallioides* Blume, Enum. 218 (1828)

- 和名 クジャクホングウシダ
 生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 高さ二十糎内外の小形羊歯にして一見エダウチホングウシダに似たる所あるも羽片の先端は著しく尾状を呈するを以て區別するを得る。比島、馬來半島に分布す。

91 *Lindsaya orbiculata* Mett. ex Kuhn, in Miq. Ann. Lugd. Bat. IV, 279 (1868)

- 和名 エダウチホングウシダ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 葉形に變化多き多年生羊歯にして紀州、土佐、九州南部、琉球、小笠原島、南支那、馬來、印度、濠州に分布す。

92 *Microlepia hirsutissima* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 301 (1915)

- 和名 ホウライイシカグマ
 生育地 森林内の蔭地に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 葉の全長一米に及ぶものあり。臺灣特産なり。

93 *Microlepia Hookeriana* Presl, Epim. 95 (1849)

- 和名 ヤンバルフモトシダ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 フモトシダに酷似するも羽片は鎌形をなし鋸齒淺さにより區別し得る。琉球より南は香港、印度アッサム地方に迄分布す。

94 *Microlepia strigosa* Presl, l. c.

和名 イシカグマ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 紀州、四國、九州等の暖地に分布し南は南支那、馬來、印度に分布す。

95 *Monachosorum subdigitatum* Kuhn, Chaetopt. 345 (1882)

和名 ムカゴシダ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見リヤウメンシダに似るも一體に軟質にして中軸の腋間にムカゴを生ずるにより一見區別することを得。馬來半島及群島、印度ヒマラヤ、ネパアル及ブウタン二千米乃至三千米間の高地に生ず。

96 *Neottopteris rigida* Fée, V^e Mem. Foug. (Gen. Filic.) 203 (1850-2)

Syn. *Asplenium Nidus* (non Linn.) Hooker, Sp. Filic. III 77 (1860) pro parte

和名 オホタニワタリ

生育地 森林内の樹幹に着生し極めて普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 一見熱帶を思はせる羊齒にして葉の全長二米幅十五糎に達するものあり。本島人は之を以て屋根又は壁を簡單に張るに用ふ。亞細亞の熱帶地方に廣く分布し本邦にては紀州は北限をなす。

97 *Nephrolepis biserrata* Schott., Gen. Fil. ad. t. 3 (1834)

和名 ホウビクワソウ
 生育地 森林内の樹上に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 樹上に着生する少々陽性の羊歯にして土佐、奄美大島より南は北半球の熱帯に広く分布す。

98 *Nephrolepis cordifolia* Presl, Tent. 79 (1836)

和名 タマシダ
 生育地 森林内の樹幹、石垣等に着生し極めて普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 陽性の着生羊歯にて分布広く北は紀州、土佐、九州南部を南下し世界の熱帯地方に広く分布する汎熱帯性羊歯なり。塊莖を解熱劑とす。

99 *Nephrolepis exaltata* Schott., Gen. Fil. t. 3 (1834)

和名 ヤンバルタマシダ
 生育地 河岸の陽地に叢生し稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本種は外形前者に似るも一般に大形にして前種の如く樹上に着生すること稀なり。琉球、小笠原島、馬來、印度、セイロン島に分布す。

100 *Odontosoria chinensis* J. Sm. var. *tenuifolia* Makino in Bot. Mag. Tokyo X. 152 (1896)

和名 ホラシノブ
 生育地 河岸等の陽地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州中南部以南、支那、馬來、印度方面に分布す。

101 *Plagiogyria euphlebia* Mett., Plagiog. 10. n. 6 (1858)

和名 オホキジノヲ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 キジノヲシダに似て大形なり。本州各部、四國、九州、濟州島、支那、印度北部、濠州に分布す。本屬の植物はキジノヲシダ科 (Plagiogyriaceae) に入れらるることあるも此處には區別せず。

102 Plagiogyria falcata Copel. in Philip. Journ. Sci. II.-2, 133. t. I. B (1907)

和名 タイワンヤマソテツ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 ヤマソテツに酷似するも中軸の背面凸起せず且つ羽片は質稍々厚く短細にして鋸齒淺し。比島に分布す。

103 Plagiogyria japonica Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLII. 206 (1928)

和名 キジノヲシダ
 生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 オホキジノヲに似て一般に小形なり。本州中南部以南印度、爪哇迄分布す。根莖を炒りて粉となし酢にて飲み、婦人崩血、血塊の流出を防ぎ又燒きて粉にし生油にて解きて白禿に貼付す。

104 Plagiogyria stenoptera Diels in Engl. et Prantl, Ph.-fam. I.-4, 282 (1899)

和名 シマヤマソテツ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 一見タイワンヤマソテツに酷似するも葉柄の脚部は耳形の羽片を有するを以て直に區別し得る。北は屋久島より臺灣を経て支那、安南、比島に分布す。

- 105 **Polypodium Buergerianum** Miq., Prol. Fl. Jap. 334 et 339 (1866)
 和名 ヌカボシクリハラン
 生育地 森林内の蔭地の岩面等に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州中南部以南、琉球、臺灣、支那中部に分布す。
- 106 **Polypodium caudiceps** Bak. in Ann. Bot. V. 469 (1891)
 和名 ヲナガノキシノブ
 生育地 樹幹の上部に着生し稍々普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 ノキシノブに比するに葉は薄く先端尾状に尖る。臺灣の特産なり。
- 107 **Polypodium contiguum** Smith, Hook. in Journ. Bot. III. 391 (1841)
 和名 チョクミシダ
 生育地 樹幹に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 一見コシボソウラボシに酷似するも子囊群は羽片の縁邊又は先端に不齊に疎列又は單生するを以て區別容易なり。比島、瓜哇、印度マドラス、セイロン島に分布す。
- 108 **Polypodium coronans** Wall., List. n. 288 (1828)
 和名 カザリシダ
 生育地 樹上に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 オホタニワタリの如く樹上高く叢生し臺灣以南香港、馬來半島、印度ヒマラヤ、ネパアル、ブウタンに分布す。
- 109 **Polypodium decrescens** Christ var. **brechinifrons** Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 245 (1914)

和名 コシボソウラボシ
 生育地 樹上に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 前記のチョコミシダに酷似する臺灣特有種なり。

110 Polypodium ellipticum Thunb. var. **pothifolium** Makino in Bot. Mag. Tokyo XXIII. 72 (1909)

和名 オホイハヒトデ
 生育地 河岸林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 イハヒトデに似るも大形にして九州南部、小笠原島、琉球、比島、馬來半島、印度に分布す。

111 Polypodium Engleri Luer. in Engl. Jahrb. IV. 361 (1883)

和名 タカノハウラボシ
 生育地 海拔六百米附近の森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 紀州、四國、九州南部に分布する少々陽性の羊齒にして一見ミツデウラボシの葉の分裂せざるものに似るも遙かに長大なり。

112 Polypodium ensato-sessilifrons Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 312 (1915)

和名 タイワンクリハラシ
 生育地 蔭地の岩面に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 クリハラシに比するに葉質薄し。臺灣特有種なり。

113 Polypodium formosanum Bak. in Journ. Bot. 105 (1885)

和名 タイワンアヲネカヅラ
 生育地 樹上に着生し極めて普通なり。
 生活形 E (着生植物)

備考 比較的陽性の着生羊歯にして美麗なり。アヲネカヅラに比し根莖裸出無毛にして葉質薄く殆ど無毛にして裂片は鋭頭なり。九州屋久島に分布す。

114 Polypodium Hancockii Bak., l. c. 106 (1885)

和名 ホコザウラボシ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉の先端は鋒状に三列す。琉球、屋久島に分布す。

115 Polypodium hastatum Thunb., Fl. Jap. 335 (1784)

和名 ミツデウラボシ

生育地 河岸の崖地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 稍々陽性の羊歯にして葉形に變化多し。北は北海道より支那の西部及中南部迄分布し葉は治淋劑とす。

116 Polypodium pteropus Blume, Enum. addend. (1828)

和名 ミツデヘラシダ

生育地 溪流の岩石上に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 一見ミツデウラボシに似たれども裏面は白からず。北は琉球の石垣島より南は比島、南支那、馬來半島、印度、キツキム、ブウタン、セイロン島に分布す。

117 Polypodium Takedai Makino et Nemoto in Mak. et Nemoto, Fl. Jap. 95 (1931)

和名 オホクリハラン

生育地 河岸の岩面に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 稍々陽性の羊歯にして葉の全長六十浬内外に達す。琉球以南

支那南部、馬來半島、印度ヒマラヤ、ネパアル、ブウタンに分布す。

118 Polypodium Wrightii Mett. ex Diels in Engl. et Prantl, Pfl.-fam. I.-4, 316 (1899)

和名 ヤリノホクリハラン

生育地 蔭地の岩面等に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 一見ヌカボシクリハランと酷似するも孢子囊は線形にして中肋の兩側に斜に平行單列す(彼は散在狀)るを以て區別し得。九州南部より琉球、臺灣にかけて分布す。

119 Polystichum aculeatum Schott. var. **variiforme** Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 332 (1915)

和名 アリサンキノデ

生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣の特産なり。

120 Polystichum amabile J. Sm., Ferns Br. et For. 152 (1866)

和名 カナワラビ

生育地 森林内の蔭地に生じ稍々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部以南、比島、馬來、印度、セイロン島に分布す。

121 Polystichum aristatum Presl, Tent. 83 (1836)

和名 ホソバカナワラビ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州各地、四國、九州以南、支那、馬來、印度に分布す。

122 *Polystichum auriculatum* Presl, l. c.

- 和名 タイフンノコギリシダ
 生育地 森林内の岩壁等に生育し稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 印度、セイロン島に分布す。

123 *Polystichum Bissetianum* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLV. 102 (1931)?

Syn. *Polystichum pacificum* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 119 (1925)

- 和名 オホイタチシダ
 生育地 森林内の少々乾燥せる蔭地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州中南部以南、九州に分布す。

124 *Polystichum constantissimum* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 161 (1914)

- 和名 タイフンイタチシダ
 生育地 森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣以外にては屋久島に産す。本種は早田博士に従へばイタチシダに比し最下羽片頗る不等形にして最下小羽片は甚だ長く隣接小羽片の二倍ありとす。

125 *Polystichum Hancockii* Diels in Engl. et Prantl, Pfl.-fam. I.-4, 191 (1899)

- 和名 タイフンジフモンジシダ
 生育地 森林内の岩面に生じ少々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 内地産のジフモンジシダを小さくした形の羊歯にして琉球にも分布す。

126 *Pteridium aquilinum* Kuhn var. *japonicum* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 106 (1925)

和名 フラビ
 生育地 開墾地に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 陽性の羊歯にして北は樺太より南は支那南部に分布す。基種は世界各地に広く分布す。新芽及地下莖は食用に供す。

127 Pteris biaurita Linn. var. **quadriaurita** Luerss, Engl. Jahrb. IV 355 (1883)

和名 ハチヂャウシダ
 生育地 森林内の蔭湿地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州中南部、四國、九州南部を南下し、熱帯各地に広く分布す。

128 Pteris ensiformis Burm., Fl. Ind. 230 (1768)

和名 ホコシダ
 生育地 開墾地の石垣等に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 少々陽性の羊歯にてキノモトサウに酷似するも羽片の中軸は翼を有せざるにより直に區別するを得。琉球以南亞細亞の熱帯に広く分布す。

129 Pteris Glevilleana Wall., List. n. 2680 (1829)

和名 グレブレキノモトサウ
 生育地 森林内の少々乾燥せる蔭地に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 極めて葉形に變化の多き小形羊歯にして比島、シヤム、印度北部、ボルネオに分布す。

130 Pteris quadriaurita Retz., Obs. VI. 38 (1791)

和名 アマクサシダ

生育地 森林内の岩石地帯に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部以南熱帯亞細亞に廣く分布す。

131 *Pteris semipinnata* Linn., Sp. Pl. 1076 (1753)

和名 オホアマクサシダ

生育地 森林内の岩石地帯に生じ稍々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部以南熱帯亞細亞に廣く分布す。

132 *Pteris setuloso-costulata* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 241 (1914)

和名 トゲハチヂャウシダ

生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 ハチヂャウシダに酷似するも葉は狭長にして羽片の中肋上に剛毛状の刺を有す。臺灣の固有種なり。

133 *Pteris tripartita* Sw. in Schrad. Journ. 1800-2, 67 (1801)

和名 ヘリトリワラビ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 亞細亞、亞弗利加の熱帯各地並に歐州南部に分布す。

134 *Pteris Wallichiana* Ag., Rec. 69 (1839)

和名 ナチシダ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 高さ一米以上に達するものあり。本州中南部以南比島、印度ヒマラヤに分布す。

135 Sagenia pteropus Moore, Ind. Filic. V. 89 (1875)Syn. *Aspidium decurrens* Presl, Rel. Haenk. I. 28 (1825)

和名 ナナバケシダ

生育地 森林内の蔭湿地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉形種々に變化するを以て上記の和名あり。北半球の熱帯に廣く分布し本邦にては琉球、臺灣に産す。

136 Sagenia variolata Moore, Ind. Filic. II. LXXXVI (1857)Syn. *Aspidium melanocaulon* Blume in Enum. 161 (1828)

和名 クログキシダ

生育地 低地の森林の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 根莖は質硬く漆黒色を呈す。北半球の熱帯に廣く分布し本邦にては琉球、臺灣に産す。

137 Vittaria anguste-elongata Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 161 (1916)

和名 ヒメシシラン

生育地 樹幹に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 葉長二十糎内外にして線形を呈する臺灣固有種なり。

138 Vittaria arisanensis Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 243 (1914)

和名 ヒロバシシラン

生育地 樹上より下垂し稍々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 シシランに酷似するも子囊群は邊緣に抱かれず稍々内方に存するを以て一見區別することを得。臺灣の特産なり。

139 *Vittaria formosana* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 176 (1925)

和名 シマシシラン

生育地 樹幹より下垂し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 大なるは葉長一米幅一握に及ぶ、北は屋久島、奄美大島に分布し南は熱帯亞細亞、濠州、熱帯亞弗利加に分布す。

140 *Woodwardia orientalis* Swartz in Schrad. Journ. 1800-2, 76 (1801)

和名 コモチシダ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 大形の羊齒にして往々葉上に無性苗を生ずるを以て有名なり。本州中南部、四國、九州、支那、比島、馬來、印度ヒマラヤ、瓜哇、メキシコ、カルフォルニヤ、歐州西部及南部に分布す。

141 *Woodwardia Harlandii* Hooker var. *Takeoi* Masamune in Journ. Soc. Trop. Agric. II. 3, 151 (1930)

和名 ホソバオホカグマ

生育地 森林内の稍々乾燥せる蔭地に生じ稍々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 従來獨立種と考へられしが上記の如く變種と考へる方適當なるが如し。屋久島及香港に分布す。

Gleicheniaceae ウラジロ科

142 *Dicranopteris dichotoma* Bernh. in Schrad. N. Journ. I.-2, 8 et 49 (1806)

pro parte

和名 コシダ

生育地 森林内に生じ稍々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部以南、比島、支那南部、印度支那に分布す。

143 *Dicranopteris longissima* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLI. 692 (1927)

和名 オホウラジロ

生育地 森林内に生じ少々稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 ウラジロに似て一般に大形なり。 臺灣以南比島、馬來、支那南部、ヒマラヤに分布す。

Schizaeaceae カニグサ科

144 *Ligodium microstachyum* Desv. in Berl. Mag. V. 308 (1811)

和名 タイワンカニグサ、ナガバカニグサ

生育地 低地の森林の陽地に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 カニグサに酷似するも葉は少々長し。 香港、比島、印度支那、印度に分布す。

Osmundaceae ゼンマイ科

145 *Osmunda bromeliaefolia* Copel. in Philip. Journ. Sci. II. 147 (1907)

和名 シロヤマゼンマイ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 四國、九州南部、小笠原島、琉球、支那南部、比島に分布す。

Salviniaceae サンセウモ科

146 *Azolla japonica* Franch. et Sav., Enum. Pl. Jap. II. 195 (1876)

和名 オホアカウキクサ

- 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 浮游性の羊歯にして本州中南部以南、熱帯アジア、アフリカに分布す。

Equisetaceae トクサ科

147 Equisetum debile Roxb. in Vauch. Monogr. 387 (1822)

- 和名 タイワンイヌトクサ
 生育地 河原に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 イヌトクサに比するに大形にして莖の縦線多数にして顯著ならず、本邦にては臺灣のみに産す。

Lycopodiaceae ヒカゲノカヅラ科

148 Lycopodium cernuum Linn., Sp. Pl. ed. I. 1103 (1753)

- 和名 ミヅスギ
 生育地 開墾地又は造林地に生じ普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 美麗なる羊歯にして北は北海道より南は熱帯各地に廣く分布す。

149 Lycopodium cunninghamioides Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 131 (1914)

- 和名 カウヤウザンカヅラ
 生育地 樹幹より下垂し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣の特産なり。

150 *Lycopodium Phlegmaria* Linn., Sp. Pl. ed. I. 1101 (1753)

和名 ヤウラクヒバ

生育地 樹幹より下垂し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 前者に似たる着生羊歯にして北は屋久島より南は琉球、臺灣以南に分布し葱毬の如く吊して栽培せば頗る雅趣ありて 世俗往々フサランと稱す。

151 *Lycopodium serratum* Thunb. var. *javanicum* Makino in Bot. Mag. Tokyo XII. 13 (1898)

和名 タウゲシバ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 本州、四國、九州、朝鮮、支那、馬來、印度、瓜哇に分布す。

152 *Lycopodium subdistichum* Makino in Bot. Mag. Tokyo XII. 37 (1898)

和名 ナンカクラン

生育地 森林内の樹幹より下垂し稍々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 八丈島、紀州、四國、九州南部、琉球、臺灣に分布す。

153 *Lycopodium tereticaule* Hayata, Mater. Fl. Formos. 411 (1911)

和名 ホソヒモヤウラクヒバ

生育地 樹幹の上部より下垂し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 ヒモランに酷似するも一般に小形なり。臺灣の特産なり。

Selaginellaceae イハヒバ科

154 *Selaginella atroviridis* Spring; Baker Handb. Fern-allies. 77 (1887)

和名 ミドリカタヒバ
 生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 伊豆諸島、屋久島以南、支那、馬來に分布す。

155 *Selaginella canaliculata* Baker in Journ. Bot. 21 (1885)

和名 トリノハカタヒバ
 生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 本邦にては臺灣のみに産するも亞細亞の熱帯に廣く分布する羊齒なり。

156 *Selaginella caulescens* Spring; Baker Handb. Fern-allies. 94 (1887)

和名 カタヒバ
 生育地 樹幹又は岩面に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 本州中南部以南、熱帯亞細亞に廣く分布す。之を水にて煎服せば婦人通經に奇効ありと云ひ臺灣にては民間藥として賞用せらる。

Psilotaceae マツバラ科

157 *Psilotum nudum* Beauv., Prodr. Aeth. 112 (1805)

和名 マツバラ
 生育地 樹幹に着生し稍々稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 本邦にては本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣、小笠原島に分布す。汎熱帯性の多年性着生植物なり。

SPERMATOPHYTA 種子植物

Gymnospermae 裸子植物

Podocarpaceae マキ科

158 *Podocarpus Nagi* Pilger in Engl. et Prantl, Pfl.-reich, Heft.-18, 60 (1903)

- 和名 ナギ 臺灣名 百日青、山杉、竹柏
 生育地 海拔六百米附近の峯通りの稍々乾燥せる林内に相當多く生育す。
 生活形 MM (喬木)
 備考 演習林内には直徑三十糎以上の大木は稀にして恐らく既に伐採せるものなるべし。北は紀州より南は支那の海南島迄分布す。

Cephalotaxaceae イヌガヤ科

159 *Cephalotaxus Wilsoniana* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 22 (1914)

- 和名 タイワンイヌガヤ
 生育地 海拔六百米附近の森林内に只二本生育す。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 演習林内には只前記の所に二本生育し一本は直徑約三十糎に及ぶ。一見イヌガヤに酷似するも葉の先端は稍々鈍形にして基部狭きにより區別することを得。臺灣特有種なり。

Cupressaceae ヒノキ科

160 *Libocedrus formosana* Florin in Svensk Bot. Tidskrift. XXIV. 126 (1930)

- 和名 セウナンボク 臺灣名 肖楠、黃肉樹
 生育地 斷崖に生じ極めて稀なり。
 生活形 MM (喬木)

備考 演習林内にては客人寮の崖地に高さ十米位のもの只一本生育す。以前は相當多かりしも多分伐採の爲に跡を斷ち只伐採搬出困難なる所に殘存せるものなるべし。本種は從來支那産のものと同視されしも果柄は殆んど無柄なるにより區別せられたり。

Angiospermae 被子植物

Dicotyledoneae 雙子葉植物

Archichlamydeae 古生花被區

Saururaceae ハンゲシャウ科

161 *Houttuynia cordata* Thunb., Fl. Jap. 234 (1784)

和名 ドクダミ 臺灣名 臭臊草、臭敢草、狗粒米、手薬、魚臊草、
 生育地 開墾地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州各部以南、支那、比島、シヤム、印度の北部並に東部地方に分布し、古來葉及地下莖は民間薬に供せらる。

Piperaceae コセウ科

162 *Peperomia dindygulensis* Miq., Syst. Pip. 122 (1843-44)

和名 ピロウドゴセウ
 生育地 低地の森林内の樹上に着生し稍々普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 九州南部に見るサタサウに酷似するも全株有毛なり。高さ二十糎内外の稍々多肉質着生草本にして廣東、印度西部半島に分布す。

163 *Peperomia reflexa* A. Dietr., Sp. 180 (1831)

和名 ヒメゴセウ

- 生育地 海拔七百米附近の森林内の樹幹上に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 概形前者に似るも一般に小形にして南支那、比島、熱帯アジャ及
 アフリカ、濠州、熱帯アメリカ等に廣く分布す。

164 Piper Futokadsura Sieb. in Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 107 (1846)

- 和名 フウトウカヅラ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 本州中南部以南、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。

165 Piper sp. nov. ?

Caulis lignosus alte scandens v. prostratus radicans, trunco longitudine horizontalibus multis notato. Rami dichotome. Folia alterna petiolata. Lamina sarmentarum ovata v. late ovata, late lanceolata membranacea, apice obtusa v. acuta basi cordato-sagittata v. retusa, spura viridia pilosissima infra glaucescentia tantum secus costas pilosa, ramorum oblonga, elliptica, oblongo-elliptica membranacea apice attenuata v. acuminata basi oblique obtusa 7-11 cm. longa 2.7-4.5 cm. lata, supra viridia glabra infra pallida tantum secus costas pilosa nervis lateralibus utrinque 3 circa basi divisus.

Spicae feminae folia oppositae cum pedunculis pilosis 1 cm. longis 4-5 cm. longa 0.2 cm. lata. Bractae peltatae. Perigonum nullum.

Nom. Nipp. Usubafuto-kadzura (nom. nov.)

Hab. in silvis districtus Kanko alt. 300 m. leg. S. Hatusima no 1195! (♀)
 Nov. 1932.

- 和名 ウスバフウトウカヅラ (新稱)
 生育地 海拔三百米附近の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 一見フウトウカヅラに似るも葉質薄く裏面脈上には毛茸を有し
 葉脚は少々斜形を呈するを以て區別容易なり。多分新種ならん
 と考へるも本屬の植物は世界の熱帯地方に約八百種を産するを

以て斷定困難なるにより種名の設定を見合せ記載のみに止めた
り。然れども若し新種なりとせば *Piper begoniaefoliolum*
Hatusima の學名を用意す。

Chloranthaceae チャラン科

166 *Chloranthus Oldhami* Solms. in DC. Prodr. XVI.-1, 476 (1869)

和名 タイワンフタリシヅカ 臺灣名 四葉蓮
生育地 低地の河岸林内に生じ稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 全島の山地に分布す。

167 *Sarcandra glabra* Nakai, Fl. Sylv. Kor. XVIII. 17 (1930)

Syn. *Chloranthus glaber* Makino in Bot. Mag. Tokyo XXVI. 386 (1912)
form. **laterico-aurantiaca** Hatusima, form. nov.

Fructus laterico-aurantiacus.

Nom. Nipp. Hôrai-senryo. (nom. nov.)

Hab. in silvis alt. 200 m. (leg. S. Hatusima no. 52! Nov. 1932)

和名 ホウライセンリヤウ (新稱)
生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
生活形 N (灌木)
備考 本品種の果實は橙色を呈しセンリヤウとキミノセンリヤウの中
間なり。基種は本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、支
那中部及南部、比島、印度支那、馬來、ヒマラヤ、セイロンに分
布す。

Myricaceae ヤマモモ科

168 *Myrica rubra* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 230 (1846)

和名 ヤマモモ

- 生育地 森林内に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 材は鋸作用及び薪材となし樹皮は「モモカハ」又は「シブキ」と稱し魚網を染むるに用ひ實は食用となる。本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那、馬來、比島、印度に分布す。

Juglandaceae クルミ科

169 *Engelhardtia formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 91 (1916)

Syn. *Engelhardtia spicata* Bl. var. *formosana* Hayata, Fl. Mont. Formos. 199 (1908)

- 和名 フデバシデ 臺灣名 黃櫨、仁杞、黃杞
 生育地 森林内に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 本島人は梨の梨園、碌碡の碯葉、土鑿釣を製す。樹皮は魚類を捕獲するに用ふることあり。臺灣の特産なり。

Betulaceae シラカンバ科

170 *Alnus formosana* Makino in Bot. Mag. Tokyo XXVI. 390 (1912)

Syn. *Alnus maritima* Nutt. var. *formosana* Burkill in Forb. et Hemsl., Ind. Fl. Sin. II. 500 (1899)

- 和名 タイワンハンノキ 臺灣名 水柯仔、水流柯、水柳柯
 生育地 海拔四百米附近の水邊に生じ極めて稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の特産にして本島人は薪材とし又茶箱を製し山間に於て小屋掛に使用することあり。崩壊地の植栽に適當す。

Fagaceae ア ナ ノ キ 科

- 171 Lithocarpus brevicaudata** Hayata, Gen. Ind. Fl. Formos. 72 (1916)
 Syn. *Quercus brevicaudata* Skan in Journ. Linn. Soc. XXXVI. 508
 (1889-1902)
Synaedrys brevicaudata Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXX. 194 (1916)
 和名 セイヤウガシ、トガリバガシ 臺灣名 油葉杜仔、大葉仔、杜仔
 生育地 低地の森林内に生じ稍々稀なり。
 生活形 M M (喬木)
 備考 長さ十五糎内外 幅約三糎の橢圓形の葉を有する 臺灣固有種
 なり。
- 172 Lithocarpus ternaticupula** Hayata, Gen. Ind. Fl. Formos. 72 (1916)
 Syn. *Cyclobalanopsis ternaticupula* Kudo in Journ. Soc. Trop. Agr.
 Formos. III. 390 (1931)
 和名 ナンバンガシ 臺灣名 赤皮杜仔、紅肉杜
 生育地 密林内に生じ稀なり。
 生活形 M M (喬木)
 備考 臺灣全島に分布する 臺灣固有種なり。
- 173 Lithocarpus uraiana** Hayata, Gen. Ind. Fl. Formos. 72 (1916)
 Syn. *Quercus uraiana* Hayata, Mater. Fl. Formos. 299 (1911)
Synaedrys uraiana Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXX. 198 (1916)
 和名 ウライガシ 臺灣名 櫻仔、淋漓
 生育地 森林内の各地に生じ極めて普通なり。
 生活形 M M (喬木)
 備考 臺灣の北、中部に最も普通なる樹種にして一見タカサゴジヒと
 酷似するも殻斗はシヒ屬の如く果實全體を包まず。本島人は白
 蟻の害少き爲め建築材、殊に柱として賞用す。

174 *Quercus gilva* Blume in Mus. Bot. Lugd. Bat I. 306 (1850)

Syn. *Cyclobalanopsis gilva* Oerst. in Kjoeb. Vidensk. Medd. XVIII. 78 (1866)

- 和名 イチキガシ 臺灣名 赤皮、石櫨、赤柯
 生育地 海拔四百米乃至六百米の間に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 臺灣の北、中部に多く海拔約千六百米附近迄生育す。大なるは樹幹の直徑一米以上に及び本邦産カシ類中材は最も優良にして種々の用途に供せられ本邦にては主として安房、紀伊、伊勢及九州に産す。

175 *Quercus glauca* Thunb., Fl. Jap. 175 (1784)

Syn. *Cyclobalanopsis glauca* Oerst., l. c. 70

- 和名 アラカシ 臺灣名 校櫨、九櫨
 生育地 海拔三、四百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 内地にては最も普通のカシにして臺灣にては平地より海拔千五、六百米附近の間に分布す。本州、四國、九州、濟州島、支那、ヒマラヤ等に分布す。

176 *Quercus paucidentata* Franch. in Sched. Herb. Mus. Hist. Nat. Paris

Syn. *Cyclobalanopsis paucidentata* Kudo et Masamune in Journ. Trop.

Agric. II. 148 (1930)

- 和名 ツクバネガシ
 生育地 海拔八百米附近の峯通りの森林内に生じ稀なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 本州、四國、九州、臺灣、南部支那に分布す。臺灣には海拔千五、六百米の地に生育し材質良好ならず。

177 Quercus pseudomyrsinaefolia Hayata, Mater. Fl. Formos. 295 (1911)

Syn. *Cyclobalanopsis pseudomyrsinaefolia* Schottky in Engl. Bot. Jahrb.

XLVII. 657 (1912)

- 和名 ホソバシラカシ 臺灣名 稠仔、苟欖
- 生育地 海拔六百米附近の森林内に生じ普通なり。
- 生活形 MM (喬木)
- 備考 臺灣全島に分布し北部にては海拔八百米乃至千百米の間に散生す。本島にてはイチキガシに亞ぎ最も重要なるものにして種々の用途に供せらる。一見シラカシに酷似するも堅果は短く葉は狭く且つ乾燥する時は暗紫褐色に變ずるを以て區別するを得。

178 Quercus stenophylloides Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 21 (1914)

Syn. *Cyclobalanopsis stenophylloides* Kudo et Masamune, l. c. 149 (1930)

- 和名 タイワンウラジロガシ
- 生育地 海拔八百米附近の峯通りの森林内に生じ稀なり。
- 生活形 MM (喬木)
- 備考 臺灣の中央山脈に分布し、一見ウラジロガシの如きも葉は著しく大なり。

179 Shiiia stipitata Kudo et Masamune in Bot. Mag. Tokyo XLVI. 405 (1930)

Syn. *Synaedrys stipitata* Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXX. 187 (1916)

Lithocarpus stipitata Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 2 (1925)

Shiia stipitata Kanehira et Sasaki in Sasaki, Cot. Gov. Herb. 167

(Nov. 1930)

- 和名 タカサゴジヒ 臺灣名 柯仔、白椴欖、柯絲
- 生育地 海拔三百米乃至七百米の間に多し。
- 生活形 MM (喬木)
- 備考 一見ゴジヒに酷似するも樹皮はスダシヒの如く縦に深く裂くるを以て區別することを得、臺灣特産なり。

Ulmaceae ニ レ 科

180 *Trema amboinensis* Blume, Mus. Bot. Lugd. Bat. II. 61 (1852-54)

- 和名 キリエノキ、 コバフンギ
 生育地 低地の第二期森林に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 一見ウラジロエノキに似るも葉は小さく裏面に柔毛を有し枝は
 繊弱なり。北は薩摩の紫尾山、大隅の種ヶ島より南は琉球、臺灣、
 支那南部、馬來、ニューギニア、カロリン諸島、濠州北部に分布す。

181 *Trema orientalis* Blume, l.c. 62 (1852-54)

- 和名 ウラジロエノキ 臺灣名 山黃麻
 生育地 低地の第二期森林に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 臺灣各地に分布し材は下駄、農具、棺、大鼓、器具、建築、製炭等に
 使用せらるゝも材軟き爲良好ならず又パルプ用材としては良好
 なりと。北は九州屋久島、奄美大島より南は琉球、小笠原、臺
 灣、支那南部、比島、印度、濠州北部、ポリネシヤに分布す。

Moraceae ク ハ 科

182 *Cudrania cochinchinensis* (Lour.) Kudo et Masamune var. *gerontogea*

(Nak.) Kudo et Masamune in Kudo et Masamune, Plantarum
 Formosanarum I. 27 (1932)

Syn. *Vanieria cochinchinensis* Lour. var. *gerontogea* Nakai in Bot.
 Mag. Tokyo XLI. 516 (1927)

- 和名 クワクワツガユ 臺灣名 黄金桂、大丁黄、刺格仔、
 生育地 海拔四百米以下の森林内に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 四國、九州、琉球、臺灣北部、中部、支那に分布し基種は臺灣南部、

支那、印度、馬來、比島、東アフリカ、濠州に分布す。

183 *Broussonetia Kazinoki* Sieb. in Verh. Bat. Genoot. XII. 28 (1830)

和名 カウゾ 臺灣名 鹿仔樹

生育地 低地の河邊に生じ極めて稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州、四國、朝鮮、九州、臺灣、支那に分布す。

184 *Ficus Awkeotsang* Makino in Bot. Mag. Tokyo XVIII. 151 (1904)

和名 アイギョクシイタビ、カンテンイタビ

臺灣名 愛玉子、王枳、枳仔

生育地 森林内に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 果實は所謂愛玉子にして食用に供せらる。臺灣の北、中部海拔五、六百米の森林内に生ず。

185 *Ficus Beecheyana* Hook. et Arn, Bot. Beech. Voy. 271 (1841)

和名 ケイヌビハ 臺灣名 牛乳房、三麩、漿乳仔、鹿飯

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本島の山脚地方に普通なる小喬木にして奄美大島、琉球、南支那に分布す。

186 *Ficus formosana* Maxim. in Mel. Biol. XI. 331 (1881)

和名 タイワンイヌビハ

生育地 低地の森林の蔭濕地に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 小灌木にして全島に分布し又支那の海南島にも分布す。

187 *Ficus Harlandi* Benth., Fl. Hongk. 330 (1861)

和名 ハルランイヌビハ、オホバケイヌビハ

生育地 森林内に生じ稍々普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本島の北、中、東部並に香港に分布する小喬木なり。

188 Ficus nervosa Heyne ex Roth, Nov. Sp. Pl. 388 (1821)

和名 カシハバイヌビハ、ナガバアコウ 臺灣名 大葉九重吹
 生育地 低地の森林内に生じ稍々稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 全島に分布し樹幹の直徑七十糎内外に及ぶものあり。支那、ビルマ、馬來及馬來諸島、印度に分布す。印度にては材より茶箱を製し本島にては製腦用蒸槽を製す。

189 Ficus nipponica Franch. et Sav., Enum. I. 436 (1875)

和名 イタビカヅラ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、臺灣、支那に分布す。

190 Ficus pumila Linn., Sp. Pl. ed. I. 1060 (1753)

和名 オホイタビ 臺灣名 愛玉子、風不動
 生育地 低地の森林内の樹幹に着生し稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 イタビカヅラに似るも葉は鈍頭、下面毛茸あり。果實は大形、徑三糎内外に及ぶ。本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。

191 Ficus vasculosa Wall., Cat. n. 4482 (1831)

和名 ハマイヌビハ 臺灣名 白榕、白肉榕
 生育地 森林内の樹幹上部に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本島にては元來海岸、平地に生育する樹種なるも演習林にては次種と同様樹幹(多くオホバタブ)の上部に着生し根は眞直に樹幹に沿ひ下向し地面に着し十米以上にも及ぶものあり。奄美大島、琉球、臺灣、支那、馬來半島に分布す。

192 *Ficus Wightiana* Wall. Cat. n. 4540 (1831)

和名 アコウ 臺灣名 赤榕、山榕、鳥榕、鳥屎榕

生育地 河岸の陽地又は樹上に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本島にては通常海岸、平地に分布し、支那の海南島、臺灣、琉球、九州、四國、紀州南端に分布す。材は器具用又は浮子、柴架用として用ひられ又生長迅速繁殖容易なるを以て庇蔭樹としては最も適當なるも本島人は庭園樹として忌むの風あり。

193 *Morus acidosa* Griff., Not. Pl. Asia IV. 388 (1854)

和名 シマゲハ 臺灣名 桑材仔、蠶仔葉樹、桑樹

生育地 河岸の陽地に生じ極めて稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 花柱は有毛にして長きを以て他の種と區別せらる。北は九州薩摩より南は琉球、臺灣、支那に迄分布す。材は彫刻、樂器、裝飾用等に供す。

Urticaceae イラクサ科

194 *Boehmeria densiflora* Hook. et Arn., Bot. Beech. Voy. 271 (1841)

和名 ヤナギヤブマヲ 臺灣名 山水柳、粗糠賣、蝦公鬚

生育地 低地の水邊に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 通常二米以下の灌木にして小笠原、琉球、臺灣、支那に分布す。

195 Boehmeria formosana Hayata, Mater. Fl. Formos. 281 (1911)

和名 タイワントリアシ

生育地 河岸の陽地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 高さ六十糎内外の草本にして臺灣特産なり。

196 Boehmeria frutescens Thunb. in Trans. Linn. Soc. II. 330 (1794)

和名 カラムシ、マヲ 臺灣名 苧麻、苧仔

生育地 開墾地に生じ野生状を呈す。

生活形 N (灌木)

備考 熱温帯アジアの原産にして莖の皮部を採集精製して絲、織物の原料となす。

197 Chamabainia Morii Hayata, Mater. Fl. Formos. 282 (1911)

和名 ヒメモリサウ

生育地 森林の蔭湿地又は河邊の湿地に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 高さ二十糎内外の小草にして臺灣特産なり。

198 Debregeasia edulis Wedd. in Arch. Mus. Paris, IX. 462 (1856)Syn. *Debregeasia japonica* Koidz., in Fl. Symb. Orient.-Asia. 26 (1930)

和名 ヤナギイチゴ

生育地 河岸に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 通常二米以下の灌木にして本州中南部、四國、九州、臺灣、支那に分布す。

199 Elatostema edule C. B. Robinson in Philipp. Journ. Sci. 531 (1910)

和名 ヒロハノキミヅ

生育地 谷間の蔭湿地に生じ極めて普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 演習林内の谷間の水邊に最も普通の稍々液質の灌木状多年生草本にして臺灣、比島(ルソン島)、支那(海南島)に分布す。莖は食用となし得べし。

200 *Elatostema lineolatum* Wight var. *major* Thw., Enum 260 (1864)

和名 ホソバキミヅ 臺灣名 蔣草心草

生育地 谷間の蔭濕地に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 前種と混生し一見類似するも葉は著しく狭少なり。臺灣にては全島の山地に廣く分布し海外にありてはヒマラヤ、カシヤに分布す。

201 *Lecanthus Sasakii* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 52 (1916)

和名 チョクザキミヅ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 高さ十糎内外の稍々液質草本にして本島の中、南部の山地に分布する臺灣特有種なり。

202 *Memoralis hirta* Wedd. in DC. Prod. XVI.-I, 235 (1869)

和名 ツルマヲ

生育地 路傍又は開墾地に生じ普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 稍々陽性の多年生伏臥草にして本州中南部、九州、琉球、臺灣、印度(デカン半島)、セイロン島に分布す。

203 *Memoralis pentandra* Wedd. var. *hypericifolia* Wedd. in DC. Prod.

XVI.-I, 235 (1869)

和名 オトギリマヲ

- 生育地 路傍又は開墾地に生じ稍々普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 前種と同様の陽性の多年生伏臥草にして臺灣北部及紅頭嶼に分布す。

204 Oreochnide pedunculata Masamune in Journ. Trop. Agric. II. 33 (1930)

Syn. *Villebrunea pedunculata* Shirai in Bot. Mag. Tokyo IX. 158 (1895)

- 和名 ハドノキ 臺灣名 山水柳
 生育地 森林内の蔭湿地又は河岸に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 高さ三米内外に達する灌木にして紀州南端、四國、九州南部、琉球、臺灣、支那に分布す。從來臺灣産はイハガネと混同せられしも葉の裏は白からずして花梗は長く丈高くなる(後者は二米以上に達するは稀なり)を以て一見區別することを得。

205 Pilea funkikensis Hayata, Ic. Pl. Formos. VI 45 (1916)

- 和名 フンキコミヅ
 生育地 森林内の蔭湿地に生じ稍々稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 稍々液質の草本にして六十糎内外の高さに達する臺灣の固有種なり。

206 Pilea peploides Hook. et Arn., Bot. Beech. Voy. 96 (1841)

- 和名 コケミヅ
 生育地 低地の水邊に生じ極めて稀なり
 生活形 T (一年生植物)
 備考 高さ十糎内外の稍々液質の草本にして本州中南部、四國、九州、朝鮮、滿洲、琉球、臺灣、西部ヒマラヤ、ビルマ、瓜哇、サンドウツチ島に分布す。

207 *Pilea trinervia* Wight, Ic. Pl. Ind. Orient. VI. p. 9. t. 1973 (1840)

和名 ミスチミヅ、アラミヅバウシ

生育地 森林内の蔭湿地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 高さ一米内外に達し一見ミヤマミヅに酷似するも葉は肥厚し且長し、臺灣全島、馬來、セイロン島、印度に分布す。

208 *Polychroa arisanensis* (Hayata) comb. nov.

Syn. *Pellionia arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 53 (1916)

和名 アリサンサンセウヅル

生育地 水邊に生じ普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 一見オホサンセウサウに似るも葉は遙かに狭細なり。臺灣の北中部に分布す。

209 *Pouzolzia elegans* Wedd. in DC. Prod. XVI.-1, 230 (1869)

和名 コケツルマヲ、キダチマヲ 臺灣名 水鶏油

生育地 河岸の礫地に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 高さ二米内外の灌木にして臺灣固有種なり。

210 *Pouzolzia zeylanica* Benth. var. *alienata* (Wedd.) Sasaki in Sasaki, List.

Pl. Formos. 163 (1928)

Syn. *Pouzolzia indica* Gaud. var. *alienata* Wedd. in DC. Prod. XVI.-1, 221 (1869)

和名 アリエヒメマヲ

生育地 森林伐採跡地又は路傍に生じ稍々稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 一見ツルマヲに似たる稍々伏臥性草本にして印度に分布す。

211 *Procris laevigata* Blume, Bijdr. 508 (1825)

和名 ウライサウ

生育地 樹幹上に着生し少々稀なり

生活形 E (着生植物)

備考 液質氣生亞灌木にして高さ一米内外に達す。臺灣、ヒマラヤ、ボルネオ、熱帯アフリカに分布す。

Proteaceae ヤマモガシ科

212 *Helicia cochinchinensis* Lour., Fl. Cochinch. 83 (1790)

和名 ヤマモガシ

生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、交趾支那、ビルマに分布す。

213 *Helicia formosana* Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXVI. 394 (1891)

和名 タイフンヤマモガシ 臺灣名 山龍眼

生育地 森林内に生じ極めて普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 潤葉樹林内に最も普通なる樹木にして臺灣固有種なり。

Loranthaceae ヤドリギ科

214 *Korthalsella opuntia* Merr. in Bot. Mag. Tokyo XXX. 68 (1916)Syn. *Viscum opuntia* Thunb. in Fl. Jap. 64 (1784)*Viscum japonica* Thunb. in Trans. Linn. Soc. III, 329 (1794)*Bifaria japonica* Van Tieg. in Bull. Soc. Bot. France 43, 173 (1896)*Korthalsella japonica* Engl., Nat. Pflanzenfam. Nachtr. 1, 138 (1897)*Pseudodixus japonicus* Hayata in Bot. Mag. Tokyo XXIX. 166 (1915)

Korthalsella bifaria Merr. in Bot. Mag. Tokyo XXX. 68. (1916)

Bifaria opuntia Merr., Enum. Philipp. Fl. Pl. II. 113 (1923)

Pseudodixus opuntia Tanaka in Bult. Sci. Facul. Terkult. Kjusu Imp.
Univ. I.-4, 197 (1925)

和名 ヒノキバヤドリギ

生育地 海拔九百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本州南部、四國、九州、朝鮮南部、小笠原島、琉球、臺灣、支那、比
島、馬來、印度、濠州に分布す。

215 *Loranthus liquidambaricolus* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 38 (1916)

和名 オホバフウジュヤドリギ

生育地 低地の森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣固有種なり。

216 *Loranthus lonicerifolius* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 181 (1915)

和名 ニンドウバナヤドリギ

生育地 海拔五百米附近の密林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 一見オホバヤドリギに酷似す。臺灣特産なり。

217 *Loranthus Owatarii* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 39 (1916)

和名 オホワタリヤドリギ

生育地 低地の森林内の樹上に着生し普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 本島の中央山脈に廣く分布する臺灣固有種なり。

218 *Viscum multinerve* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 196 (1915)

和名 ナガバヤドリギ

- 生育地 低地の森林内の樹上に着生し稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 葉は鎌状披針形長さ六厘内外にして臺灣の北部、中部の山地に分布する臺灣固有種なり。

Balanophoraceae ツチトリモチ科

219 Baranophora mutinoides Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 168 (1913)

- 和名 フデガタツチトリモチ
 生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 一見ツチトリモチの色、形状を呈し高さ十厘内外に達する寄生植物にして臺灣の北、中部の深山に分布す。

Aristolochiaceae ウマノスズクサ科

220 Asarum macranthum Hook. f. in Bot. Mag. t. 7022 (1888)

- 和名 ヤンバルサイシン、ホウライアフヒ 臺灣名 細辛
 生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 臺灣の北、中部及び支那(厦門)? に分布す。

Polygonaceae タデ科

221 Persicaria Blumei H. Gross apud Nakai, Kōryo-Shikenrin-no-Ippan 31 (1932)

Syn. *Polygonum Blumei* Meiss. in Ann. Lugd. Bat. II. 57 (1865)

Persicaria Blumei Nakai, A New Class. Linn. Polygonum. (1926)

- 和名 イヌタデ
 生育地 路傍に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

222 *Persicaria chinensis* Nakai, A New Class. Linn. Polygonum. (1926)

Syn *Polygonum chinense* Linn., Sp. Pl. 363 (1753)

- 和名 タイワンツルソバ 臺灣名 紅骨清飯藤、清飲藤、川七
 生育地 森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 ツルソバに酷似し 臺灣、支那、比島、馬來、セイロン、印度に分布す。

223 *Persicaria Hydropiper* Spach., Hist. Veg. X. 536

Syn. *Polygonum Hydropiper* Linn., Sp. Pl. ed. 1. 361 (1753)

- 和名 ヤナギタデ
 生育地 河岸の砂礫地に生じ稍々普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 北は樺太、北海道より南は琉球、臺灣を経て比島、瓜哇、北アメリカ、西歐、オーストラリヤに分布す。

224 *Persicaria kotoshoense* Sasaki in Sasaki, List. Pl. Formos. 168 (1928)

Polygonum kotoshoense Ohki in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 261 (1925)

- 和名 コウトショウサクラタデ
 生育地 開墾地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 臺灣全島に分布す。

225 *Persicaria perfoliata* H. Gross apud Nakai, Kôryo-Shikenrin-no-Ippan

32 (1932)

Polygonum perfoliatum Linn., Sp. Pl. 521 (1753)

Persicaria perfoliata Nakai, A New Class. Linn. Polygonum (1926)

- 和名 イシミカハ
 生育地 低地の陽地に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 北は北海道より南は臺灣、馬來、印度の北部、東部に分布す。

226 Persicaria Posumbu H. Gross apud Nakai, Veg. Isl. Quelp. 41. (1914)

Syn. *Polygonum Yokusaiantum* Makino in Bot. Mag. Tokyo XXVIII. 116
(1914)

Persicaria Posumbu Nakai, A New Class. Linn. Polygonum (1926)

和名 ハナタデ

生育地 森林内の蔭湿地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 北は北海道より南は臺灣、比島、東部ヒマラヤ、瓜哇に分布す。

227 Pleuropterus hypoleucus Nakai in Rigakkai XXIV. No. 6, 6 (1926)

和名 タイワンツルドクダミ 臺灣名 何首烏、白鷄屎藤、川七、紅骨蛇

生育地 河岸の陽地に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性草本にして臺灣全島に分布す。一見ツルドクダミに酷似し
同一種となす人もあり。

Chenopodiaceae アカザ科

228 Chenopodium ambrosoides Linn., Sp. Pl. 219 (1753)

和名 アリタサウ 臺灣名 臭川芎、臭杏

生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生草本)

備考 メキシコ原産の一年生草本にして舊世界の暖地に廣く分布す。

Amarantaceae ヒユ科

229 Achyranthes Ogatai Yamamoto in Suppl. Icon. Pl. Formos. III. 23 (1927)

和名 ナンテンキノコヅチ

- 生育地 開墾地の水邊に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 一見ヤナギキノコヅチに似たる臺灣固有種なり。

230 *Achyranthes rubro-fusca* Wright. Ic. t. 1778 (1852)

- 和名 ムラサキキノコヅチ
 生育地 森林内の蔭濕地に生育し稍々普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 シロキノコヅチに比するに枝條は赤褐色、乾けば褐色に變ず。
 印度に分布す。

231 *Alternanthera sessilis* R. Br. ex R. & S. Syst. V, 554 (1819)

- 和名 ツルノゲイトウ 臺灣名 田邊草、紅田烏草、早蓮草、紅花密菜
 生育地 路傍、開墾地に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 兩半球の暖地に廣く分布し本邦にありては奄美大島以南に分布す。

232 *Amaranthus retroflexus* Linn., Sp. Pl. 991 (1753)

- 和名 アラビユ
 生育地 開墾地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 熱帯アメリカの原産にして歐州、北アフリカ、小亞細亞、シベリヤ、アメリカの北部、中部に分布し臺灣にては全島に野生狀をなす。

Aizoaceae ツルナ科

233 *Mollugo pentaphylla* Linn., Sp. Pl. ed. I, 89 (1753)

Syn. *Mollugo stricta* Linn., Sp. Pl. ed. 2. 131 (1762)

- 和名 ザクロサウ 臺灣名 鐵鉤草、朱子草
 生育地 畑地に生育し稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 舊世界の熱、暖帯に廣く分布する一年生の雑草にして本邦にては本州各部、四國、九州、朝鮮、臺灣に分布す

Portulacaceae スベリヒユ科

234 *Portulaca oleracea* Linn., Sp. Pl. ed. 1. 455 (1753)

- 和名 スベリヒユ 臺灣名 猪母乳、猪母草
 生育地 畑地に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 世界の暖地に分布する一年生雑草にして本邦にては本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。莖葉は食用となる。

Caryophyllaceae ナデシコ科

235 *Drymaria cordata* Willd. ex Roem. et Schult. Syst. V. 406 (1819)

- 和名 ネバリハコベ、ヤンバルハコベ 臺灣名 荷蘭豆草、河乳豆草、菁方草
 生育地 低地の路傍、開墾地に生じ少々稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 九州の奄美大島以南に分布する汎熱帯性の一年生草本なり。

236 *Stellaria aquatica* Scop., Fl. Carn. ed. 2. I. 319 (1760)

- 和名 ウシハコベ 臺灣名 鷄腸草
 生育地 畑地に生じ普通なり
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 北は北海道より南は印度に到り又北アフリカ、歐州にも分布す。

237 *Stellaria arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 40 (1913)

和名 アリサンハコベ

生育地 奥地の密林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 伏臥性草本にて内地産のミヤマハコベに似たる所あり、九州の屋久島、臺灣の中央山脈に分布す。

238 *Stellaria uliginosa* Murr., Prod. Stirp. Gotting. 55 (1770)

和名 ノミノフスマ

生育地 畑地に生育し稍々普通なり。

生活形 T (一年生草本)

備考 畑地に普通なる雑草にして北半球の温帯暖帯に廣く分布し本邦にては北は千島、北海道より南は臺灣迄分布す。

Trochodendraceae ヤマグルマ科

239 *Trochodendron aralioides* Sieb. et Zucc., Fl. Jap. 84. (1839)

和名 ヤマグルマ

生育地 海拔八百米附近の崖地に生じ稍々稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 本州中南部以南、四國、九州、琉球、臺灣に分布し樹皮より繭を製す。

Ranunculaceae ウマノアシガタ科

240 *Clematis Gouriana* Roxb., Hort. Beng. 43 (1814)

和名 ホウライボタンヅル

生育地 伐採跡地又は河岸の陽地に生育し普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 稍々陽性の蔓性多年生草本にして比島、西部ヒマラヤ、瓜哇に分布す。

241 Clematis Meyeniana Walp. in Nov. Act. Acad. Nat. Cur. 19 (1843)

和名 ヤンバルセンニンサウ、テリハセンニンサウ

生育地 海拔五百米附近の森林内に生育し極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 草本状蔓性灌木にして九州の屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、南部支那、比島、ビルマに分布す。

242 Clematis Morii Hayata, Fl. Mont. Formos. 42 (1908) ?

和名 モリハンショウヅル

生育地 海拔四百米附近の河岸の密林中に生育し極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣の中央山脈に多し。

243 Clematis Tashiroi Maxim. in Mel. Biol. XII. 713 (1888)

和名 ヤヘヤマセンニンサウ

生育地 河岸の陽地に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 一見センニンサウに似るも大なる托葉を有するにより區別容易なり。奄美大島、琉球、臺灣に分布す。

244 Ranunculus chinensis Bunge, Enum. Pl. Chin. Bor. 3 (1830)

Syn. *Ranunculus Vernyi* Fr. et Sav., Enum. Pl. Jap. I. 8 (1874)

Ranunculus Vernyi Fr. et Sav. var. *japonica* Nakai in Bot. Mag.

Tokyo XLII. 20 (1928)

和名 キツネノボタン

生育地 畑地附近に生じ極めて稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 内地にては極めて普通なる草本にして千島、北海道、本州、小笠原島、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

Lardizabalaceae アケビ科

245 *Stauntonia obovatifoliola* Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 4 (1919)

- 和名 ホソバアケビ (新稱)
 生育地 低地の森林内に生育し稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 一見内地産のムベに酷似するも葉は狭く倒披針形をなすを以て區別し得ると謂へども之のみにては變化多く識別困難なるも果實は黃熟にしてムベの如く紫色とならず又種子を取圍む果肉も黄色を帯ぶるを以て區別し得べし。臺灣の北、中部に分布す。

Berberidaceae メギ科

246 *Podophyllum pleianthum* Hance in Journ. Bot. XXI. 175 (1883)

- 和名 ミヤヲサウ、ハツカクレン 臺灣名 八角蓮
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 直徑二十糎内外の八角形の一枚の葉を有し形状面白きを以て近時觀賞用に栽培せらる。又本島人の貴重する毒蛇咬傷に對する藥草の一つにして地下部を酒水等量にて煎服す又痛風をも治すと云ふ。臺灣の北、中部及支那南部に分布す。

Menispermaceae アヲツヅラフチ科

247 *Cissampelos Ochiaiana* Yamamoto, Suppl. Icon. Pl. Formos. IV. 14 (1928)

Syn. *Paracyclea Ochiaiana* Kudo et Yamamoto in Bot. Mag. Tokyo. XLV. 158 (1931)

- 和名 フサザキツヅラフチ
 生育地 低地の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣特産にして全島に分布す。

248 Pericampylus glauca Merr., Interpret. Herb. Amb. 219 (1917)Syn. *Pericampylus incanus* Miers. in Ann. et Mag. Hist. Ser.-3, XIX.

88 (1867)

Pericampylus formosanus Diels in Pflanzenreich. 46 (IV. 94) 221 (1910)

和名 ホウライツツラフヂ

生育地 低地の森林内に生育し稍々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣、支那、(廣東)、馬來、瓜哇に分布す

249 Stephania japonica Miers. in Ann. Mag. Nat. Hist. Ser.-3. XVIII. 14 (1866)

和名 ハスノハカヅラ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 内地産に比し葉は稍々小さく見ゆ。本州中南部、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那、比島、馬來、セイロン島、ヒマラヤ、アフリカ、濠州、ポリネシヤに分布す。

Magnoliaceae モクレン科**250 Illicium arborescens** Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 105 (1912)

和名 アカバナシキミ 臺灣名 八角、八角仔

生育地 森林内に生じ極めて普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見シキミに似たるも花瓣は短かく紅色にして盃状を呈し實は稍々薄く蓇葖の數多し。全島の山地に分布する臺灣固有種なり。

251 Kadsura japonica Juss. in Ann. Mus. Par. XVI. 340 (1810)

和名 サネカヅラ、ビナンカヅラ 臺灣名 南五味子、紅骨蛇

生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、臺灣に分布す。

252 *Michelia compressa* Max. var. *formosana* Kanehira in Trans. Nat. Hist.

Soc. Formos. XX. 384 (1930)

和名 タイワンヲガタマノキ 臺灣名 烏心石

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 MM (喬木)

備考 ヲガタマノキに比するに葉は狭し。建築、家具、車輛、農具、器具、樂且等に使用す。臺灣特産なり。基種は本州中南部、四國、九州、琉球に分布す。

Anonaceae パンレイシ科

253 *Fissistigma Oldhami* Merr. in Philipp. Journ. Sci. XV. 134 (1919)

和名 ツルリュウガン

生育地 低地の森林に生じ稍々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にて高さ十米以上に及び臺灣、南支那に分布す。

Lauraceae クス科

254 *Actinodaphne morrisonensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 165 (1913)

和名 ニヒタカクロモジ

生育地 海拔八百米以上の山地に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣の中央山脈に産する本島固有種なり。

255 *Actinodaphne nantoensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 165 (1913)

和名 ナントウダモ 臺灣名 臭屎楠、細葉楠

生育地 海拔四、五百米附近の森林内に生育し稍々普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の北部に多き樹種にしてバリバリノキに酷似し一見區別困難なり。

256 Benzoin commune Rehder in Journ. Arn. Arb. 1. 144 (1919)

Syn. *Lindera communis* Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXVI. 387 (1889-1902)

和名 ホソバヤマカウバシ
 生育地 低地の森林の蔭地に生育し普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 全島の山地に普通なる小喬木にして支那に分布す。

257 Benzoin Cubeba (Person) Hatusima, comb. nov.

Syn. *Litsea Cubeba* Person, Syst. II. 4 (1807)

Actinodaphne citrata Hayata, Ic. Pl. Formos. III 164 (1913) non Bl.

和名 タイワンヤマクロモジ 臺灣名 山胡椒
 生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 全島の山地に分布し内地産アラモジの葉を狭くした形状、葉質を有し印度、南アジヤ、馬來半島、交趾支那、支那に分布す。

258 Benzoin Oldhami Rehder in Journ. Arn. Arb. 1, 145 (1919)

Syn. *Lindera Oldhami* Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXVI. 390 (1891)

和名 オホバカウバシ
 生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 葉長二十糎内外の長橢圓狀の葉を有し臺灣の北部、東部に多し。

259 Cinnamomum Camphora Sieb., Syn. Pl. Oec. 23 (1830)

Syn. *Cinnamomum Camphora* Nees et Eberm., Handb. der Med. Pharm.

Bot. II. 450 (1831)

- 和名 クスノキ 臺灣名 樟、本樟
 生育地 森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 演習林内には以前相當の蓄積ありしも製腦の爲め伐採せられし結果現今にては野生するもの少し。本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。

260 *Cinnamomum micranthum* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 150 (1913)

- 和名 アツバグスノキ 臺灣名 有樟
 生育地 森林内に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 臺灣の固有種にして北部の山地に多し。

261 *Cinnamomum randaiense* Hayata, Mater. Fl. Formos. 238 (1911)

- 和名 ランダイニクケイ 臺灣名 香桂、山肉桂
 生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣固有種なり。

262 *Cryptocarya chinensis* Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXVI. 370 (1889-1902)

- 和名 シナクスモドキ 臺灣名 厚殼桂、攀桂、有桂
 生育地 森林内に生じ普通なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 全島の山地に生育する大喬木にして支那に分布す。

263 *Cryptocarya Konishii* Hayata, Mater. Fl. Formos. 237 (1911)

- 和名 コニクスモドキ 臺灣名 土楠、黃肉樹、臭樟
 生育地 海拔四百米附近の密林内に生じ少々普通なり。

生活形 MM (喬木)
備考 臺灣の固有種なり。

264 Machilus Kusanoi Hayata, Mater. Fl. Formos. 241 (1911)

和名 オホバタブ 臺灣名 大葉楠、楠仔
生育地 演習林内の各地に生じ最も普通なり。
生活形 MM (喬木)
備考 葉長二十糎内外に及ぶ、大喬木にして臺灣特産なり。材は建築、車輛、器具、橋梁、家具其他に利用廣き有用材なり。

265 Machilus longipaniculata Hayata. Ic. Pl. Formos. III. 162 (1913)

和名 ニホヒタブ 臺灣名 香楠
生育地 海拔七百米以下の森林内に生じ普通なり。
生活形 MM (喬木)
備考 臺灣の北部、中部に多き固有種にしてタブに比し葉は狭く花序は長し。樹皮は線香製造原料として重要なり。

266 Machilus Thunbergii Sieb. et Zucc. in Abh. Akad. Muench. IV. III. 302 (1843)

和名 タブ
生育地 低地の森林に生じ稍々普通なり。
生活形 MM (喬木)
備考 本州中南部以南、琉球、臺灣、支那に分布す。

267 Neolitsea variabilissima Kanehira et Sasaki, Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. XX. 382 (1930)

Syn. *Tetradenia variabilissima* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 167 (1913),
和名 カハリシロダモ
生育地 海拔六百米附近の森林に生育し稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 シロダモに比し葉は短小なり。臺灣の北部、中部に分布す。

268 Phoebe formosana Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 162 (1915)

和名 タイワンイヌグス 臺灣名 楠仔、内冬子楠、火炭子楠

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣の北、中部の山地に多く、材は時として建築材に使用する。

Capparidaceae フウテウサウ科

269 Crataeva religiosa Forst. f., Prod. Fl. Ins. Austral. 35 (1786)

和名 ギョボク

生育地 人家附近に生じ極めて稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 印度、支那、比島、マレーシア、濠州、アフリカ等の熱帯に廣く分布し、本邦にては大隅、薩摩の南端、屋久島、琉球、臺灣に分布す。材は印度にては家具、太鼓、櫛、モデル、轆轤に用ふ。琉球地方にては小魚を模造して鳥賊を釣るに用ひ又履物を製す。印度にては果實のバルブ質はモルタルと混じて一種のセメントを製し又果皮は媒染劑となすことあり。種子は時として食し葉は健胃劑として用ひ、又この葉の液を古々椰子と混じリユウマチスの軟膏藥とす。

Brassicaceae (Cruciferae) アフラナ科

270 Cardamine hirsuta Linn., Sp. Pl. ed. 1. 655 (1753)

syn. *Cardamine flexuosa* With., Bot. Arr. Brit. Pl. ed.-3, III. 578 (1776)

和名 タネツケバナ

生育地 畑地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生草本)

備考 東部亞細亞に廣く分布し、本邦にては北は樺太、千島より南は臺灣迄分布する雜草にして馬來地方にも分布す。

271 *Nasturtium indicum* DC., Syst. II. 199 (1825)

syn. *Nasturtium sublyratum* Franch. et Sav., Enum. Pl. Jap. II. 281 (1879)

和名 イヌガラシ 臺灣名 白骨山葛草、山芥菜

生育地 人家内の庭に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 人家附近に普通に見らるる雜草にして本州各部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、比島、馬來半島、セイロン島、印度に分布す。

Crassulaceae ベンケイサウ科

272 *Bryophyllum pinnatum* Kurz. in Journ. As. Soc. Beng. 40, 309 (1876)

syn. *Bryophyllum calycinum* Salisb., Parad. Lond. t. 3 (1805)

和名 セイロンベンケイ、トウロウサウ

臺灣名 倒縹蓮、生刀草、生刀藥、脚目草

生育地 人家附近の陽地に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 熱帶各地に廣く分布する多肉質の草本にして本邦にありては奄美大島、琉球、臺灣に分布し、再生力極めて旺盛なり。

273 *Sedum formosanum* N. E. Br. in Gard. Chron. II. 134 (1885) ?

和名 タカサゴマンネングサ

生育地 森林内の樹幹上に生じ極めて稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 北は肥前、肥後(天草)、薩摩より南は奄美大島、琉球、臺灣に及ぶ。

Saxifragaceae ユキノシタ科

274 *Hydrangea chinensis* Maxim., Hydr. As. Or. 7 (1867)

- 和名 カラコンテリギ 臺灣名 常山、常山樹、常山尼
 生育地 海拔六百米附近の森林内に多し。
 生活形 N (灌木)
 備考 臺灣、支那に分布する小灌木なり。本種は屋久島産と同一なりとせらるるも別種なるが如し。

275 *Hydrangea integra* Hayata, Fl. Mont. Formos. 90 (1908)

- 和名 ユヅリハアヂサキ
 生育地 森林内の樹上に攀縁し稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 十數米の高さ迄上昇する蔓性灌木にして中央山脈に多き臺灣固有種なり。

276 *Hydrangea macrosepala* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 108 (1913)

- 和名 ナガバコンテリギ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 高さ二、三米の灌木にして臺灣特産なり。

277 *Itea chinensis* Hook. et Arn. var. *subserrata* Maxim. in Mel. Biol. XII. 459 (1895)

- 和名 ヒ、ラギズキナ、ノコギリズキナ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 五米内外に達する灌木にして九州の日向國より種ヶ島、奄美大島を経て琉球、臺灣、支那、印度に及ぶ。

278 *Pileostegia viburnoides* Hook. f. et Thoms. var. *parviflora* Oliv. in
Sched.-Maxim. Rev. Hydr. 18 (1867)

和名 シマユキカヅラ

生育地 低地森林内の樹幹に纏繞し普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 一見ライカカヅラに似るも全株壯大にして九州の奄美大島、徳之島より琉球、臺灣に分布す。本變種はヒマラヤ地方に分布する基種と同一なりとなす人あり。

279 *Schizophragma integrifolium* Oliv. var. *Fauriei* Hayata, Gen. Ind. Fl.
Formos. 27 (1916)

syn. *Schizophragma Fauriei* Hayata in Matsum. et Hayata, Enum. Pl.

Formos. 131 (1906)

和名 マルバイハガラミ

生育地 海拔九百米附近の森林内の樹上に纏繞し稍々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 一見イハガラミに似るも一體に毛茸多し。臺灣特産なり。

Pittosporaceae トベラ科

280 *Pittosporum daphniphylloides* Hayata, Mater. Fl. Formos. 34 (1911)

和名 ヤドリオホバトベラ

生育地 海拔六百米附近の森林内の樹上に着生し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 珍しき着生木本植物にして葉はユヅリハの如く大形なり。臺灣島以外には支那に分布す。

Hamamelidaceae マンサク科

281 *Liquidambar formosana* Hance in Ann. Sc. Nat. Ser.-5, V. 215 (1866)

- 和名 フウ 臺灣名 楓仔、楓樹
 生育地 低地の第二期森林内に生じ稀なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 多く河岸の陽地に見らるゝ喬木にして材は建築用、舟具、玩具等に使用され支那にては茶箱を作ると云ふ。又此葉にて「テグス」蠶を飼ふ。支那南部、小亞細亞に分布し一見北米産のモミヂバフウに似るも葉の先端は三裂なり。

Rosaceae イバラ科

282 *Duchesnea indica* Focke in Engl. et Prantl, Pflanzenfam. III.-3, 33 (1888)

syn. *Fragaria indica* Andr. in Bot. Rept. t. 479

- 和名 ヘビイチゴ 臺灣名 蛇婆、龍吐珠
 生育地 人家附近に生じ普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 最も普通なる種類にして本州北部以南、臺灣、ヒマラヤ、アフガニスタンに分布す。

283 *Rubus Buergeri* Miq. in Ann. Lugd. Bat. III. 36 (1867)

- 和名 フユイチゴ
 生育地 海拔九百米附近の森林内に生育し稀なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、臺灣、支那に分布し實は生食に適す。

284 *Rubus floribundo-paniculatus* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 89 (1913)

- 和名 タイヘイチゴ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)

備考 稍々蔓状をなす灌木にして臺灣の中、北部に生育する臺灣固有種なり。

285 Rubus fraxinifoliolus Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 46 (1915)

和名 ガラピンイチゴ

生育地 低地森林の稍々蔭濕なる所に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 一見オホバライチゴに似たる葉を有する臺灣固有種なり。

286 Rubus shinkoensis Hayata, Mater. Fl. Formos. 95 (1911)

和名 ヒメクマイチゴ

生育地 海拔八百米附近の森林内の蔭地に生じ稍々稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 ヒメクマイチゴの和名あるもキイチゴに似たる葉を有する臺灣固有種なり。

287 Rubus Swinhoei Hance in Ann. Sc. Nat. Ser.-5. V. 211 (1866)

和名 タイワンウラジロイチゴ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生育し稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 稍々蔓状をなす小灌木にして形状は一見ピロウドイチゴに似るも葉の裏面は白氈毛密生せるを以て區別容易なり。臺灣特産なり。

288 Rubus taiwanianus Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XVI. 3 (1902)

和名 タイワンイチゴ、タカサゴクサイイチゴ 臺灣名 虎梅刺、薊莓

生育地 低地の伐採跡地に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 莖は氈毛を密生し葉は羽状複葉をなす。臺灣の北、中部に広く分布する臺灣固有種なり。

Pomaceae ナ シ 科

289 *Eriobotrya deflexa* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXX. 18 (1918)

- 和名 タイワンビハ 臺灣名 夏粥、山枇杷
 生育地 低地の森林内又は樹上に着生し稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 以前はカナメモチ屬と考へられしも中井博士により上記の學名に變更せられたり。一見ビハに酷似するも葉は橢圓狀にして狭し。臺灣人は之の材を荷負棒又は薪材に供し實は食することあり。臺灣固有種なり。

290 *Pourthiaea Beauverdiana* (Schneider) comb. nov

var. *notabilis* (Rehd. et Wils.) comb. nov.

Syn. *Photinia Beauverdiana* Schneid. var. *notabilis* Rehd. et Wils. in
 Sarg. Pl. Wils. I. 188 (1911)

- 和名 セイバンカマツカ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の中央山脈に多き小喬木にして支那に分布す。

291 *Pourthiaea kankoensis* Hatusima, sp. nov.

Frutex usque 3 metralis altus ramosissimus. Folia alterna brevi-petiolata v. subsessilata elliptica obovata v. late oblanceolata apice acuminata, basi attenuata, minute serrulata, chartaceo-membranacea, primo puberula demum glaberrima 3-4 cm. longa 1-2 cm. lata. Poma obovata v. ovoidea 0.5 cm. longa matura rubescens. Flores nostris ignoti, sed species distincta est.

Nom. Nipp. Shima-koba-no-kamatsuka (nom. nov.)

Hab. in silvis Mt. Rohon alt. 900 m. leg. S. Hatusima no. 793 ! 1130 !

Nov. 1932.

Type specimens; in Herb. Dep. Agric. Kyushu Imp. Univ. Japan.

This bears a general resemblance to *Pourthiaea laevis* Koidz., but it is readily distinguished in having much smaller leaves.

和名 シマコバノカマツカ (新稱)

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見カマツカに酷似するも葉は更に小さく枝の分岐極めて密なり。

292 *Pourthiaea lucida* Decne. in Nouv. Archiv. Mus. Paxis X. 148 (1874)

Syn. *Photinia taiwanensis* Hayata, Mater. Fl. Formos. 104 (1911)

Photinia variabilis (non Hemsl.) Matsum. et Hayata, Enum. Pl.

Formos. 130 (1906)

和名 タイワンカナメモチ

臺灣名 蝦尾

生育地 森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 落葉の小喬木にして臺灣特産なり。

Amygdalaceae サクラ科

293 *Prunus phaeosticta* Maxim. in Mel. Biol. XI. 709 (1883)

和名 タカサゴイヌザクラ、タイワンカタザクラ (新稱)

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見リンボクに酷似するも葉は更に大形且少々廣し。

Fabaceae (*Leguminosae*) マメ科

294 *Acacia confusa* Merr. in Philip. Journ. Sci. V. 27 (1910)

和名 サウシジュ

臺灣名 思想樹

生育地 低地に植栽せらる。
 生活形 MM (喬木)
 備考 最も主要なる樹種の一つにして比島に分布す。材は薪炭用、家具、農具、建築用等に使用せられ樹皮よりは單寧を取ることあり、又庇蔭樹として植栽せらる。

295 Bauhinia Championi Benth., Fl. Hongk. 99 (1861)

和名 ヤハズカヅラ、キククワボク 臺灣名 鈎藤、菊花木
 生育地 低地森林内の樹木に纏繞し稍々稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 莖は菓子入、茶托、筆立、煙草入等を製するに用ふ。大なるは幹の直徑一尺以上に及ぶものあり。臺灣全島及支那に分布す。

296 Crotalaria Saltiana Andr., Bot. Rep. t. 648 (1811)

Syn. *Crotalaria striata* DC., Prod. II. 131 (1825)

和名 オホミツバタスキマメ 臺灣名 白馬屎、戀々草
 生育地 低地の河邊に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 高さ一米内外の一年生植物にして臺灣、馬來半島、セイロン島、ヒマラヤ、熱帯アフリカ並に熱帯アメリカに分布す。

297 Dalbergia rubiginosa Roxb., Pl. Corom. II. 9 (1798)

和名 ハネノミカヅラ、ツルサイカチ
 生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣以外にては支那、印度東部に分布す。

298 Desmodium caudatum DC., Prodr. II. 337 (1825)

和名 ミソナホシ

生育地 低地の河邊に生じ極めて稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 一米以下の小灌木にして本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、馬來、印度に分布す。

299 Desmodium heterocarpum DC., l. c.

和名 シバハギ、クサハギ 臺灣名 大本山土豆

生育地 低地の河邊に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 稍々匍匐性の多年生草本にして本州南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那南部、其他舊熱帯に廣く分布す。

300 Desmodium heterophyllum DC., Prod. II. 334 (1825)

和名 カハリバマキエハギ

生育地 低地の河岸の砂礫地に生じ極めて稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 稍々匍匐性の多年生草本にして奄美大島、徳之島、琉球、臺灣、支那南部、馬來半島、印度に分布す。

301 Desmodium laxiflorum DC. in Ann. Sc. Nat. Ser.-1, IV. 100 (1825)

和名 ホソミハギ

生育地 低地の路傍に生じ稍々普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 高さ一米内外の亞灌木にして臺灣各地に生育し南は比島、瓜哇、ボルネオ、ヒマラヤに及ぶ。

302 Desmodium laxum DC. in Ann. Sc. Nat. Ser.-1, IV. 102 (1825)

和名 リウキウヌスビトハギ

生育地 森林内の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 草本狀灌木にして 屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、海南島、馬來半島、印度に分布す。

303 *Desmodium sinuatum* Blume ex Bak. in Hook. f. Fl. Brit. Ind. II. 166 (1879)

和名 オホバマヒハギ

生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 葉形クズに酷似するも遙かに小形なり。臺灣以南馬來半島、印度に分布す。

304 *Entada phaseoloides* Merr. in Phlipp. Journ. Sci. IX. 86 (1914)

和名 モダマ 臺灣名 鴨腿藤

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 北は九州の屋久島、奄美大島より南は臺灣、比島其他の熱帶地方に廣く分布す。莖には一種のサポニンを含有し之を碎きて洗濯用となすことは熱帶地方にて廣く見らるゝ所にして Soap bark vine の名ある所以なり。種子より根付、揚子入等を造る。

305 *Euchresta Horsfieldii* Benn. var. *formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. III.

81 (1913)

和名 リウキウミヤマトベラ

生育地 海拔六百米附近の森林の蔭地に生じ稍々普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 高さ一米内外の小灌木にして臺灣の固有種なり。

306 *Millettia reticulata* Benth. in Miq. Pl. Jungh. 249 (1852)

和名 ムラサキナツフヂ

生育地 低地の森林内に生じ稍々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 常緑藤本にして琉球、臺灣、支那南部に分布す。

307 *Millettia taiwaniana* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 22 (1920)

和名 ドクフチ、ギョトウ 臺灣名 蔞藤、魚藤

生育地 畑地(栽培)に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 本種は南洋産の *Derris elliptica* Benth. に似るも葉の裏面の毛は銀白色を呈するを以て區別容易なり(後者は茶褐色柔毛密布)。尙本種は支那産の *Derris chinensis* と同一種となす人あり。根の乳白汁液は猛毒にして蕃人之をトバと稱し河流に投じて魚族を捕へ一般には農作物の驅虫劑に供す。人體にも其反應激しきが如し。

308 *Pithecolobium lucidum* Benth. in Hook. Lond. Journ. Bot. III. 199 (1844)

和名 タマザキガフクワン 臺灣名 烏鷄骨、顔垂豆、鷄眉、蕃仔灣

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 樹幹は赭褐色を呈し莢は長さ約十糎幅二糎内外にして螺旋狀に撚扭し紅褐色を呈し材は薪材となすのみ。廣東に分布す。

309 *Pueraria Thunbergiana* Benth. in Journ. Linn. Soc. London. Bot. IX. 122 (1865)

Syn. *Pueraria hirsuta* Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XVI. 91 (1902)

Pueraria hirsuta Matsum. var. *typica* Makino in Journ. Jap. Bot. VIII. 2, 12 (1932).

和名 クズ

生育地 低地の森林に生育し稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 内地にては最も普通なる藤本にして北は北海道より南は南支那、比島、馬來、印度に分布す。

Oxalidaceae カタバミ科

310 *Oxalis repens* Thunb., Diss. Oxal. 16 (1781)

Syn. *Oxalis corniculata* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 435 (1753)

和名 カタバミ

生育地 低地の路傍に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 最も普通なる雜草にして舊世界の暖地に廣く分布し本邦にては北は北海道より南は臺灣迄分布す。

Rutaceae ヘンルウダ科

311 *Evodia meliaefolia* Benth, Fl. Hongk. 58 (1861)

和名 ハマセンダン、シマクロキ 臺灣名 賊仔樹、山漆

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見キハダに酷似する喬木にして四國、九州、琉球、臺灣、支那、印度に分布し印度にては土人は家屋の柱とす。本島人は椅子、卓子を製し又建築材となし稀に下駄を製することあり。

312 *Evodia Merrilliana* Kanehira et Sasaki in Kanehira, Phytogeography of Formosan Trees 41 (1932)

Syn. *Evodia Roxburghiana* Matsum. et Hay., Enum. Pl. Formos. 70 (1909) non Benth.

和名 オホバアハダン 臺灣名 山葛菜、白馬屎、三脚鼈、三鼈比

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本種は従来上記支那産と同一の種と考へられしも金平博士よりメリル氏に鑑定を依頼せられたる處臺灣産は全然別種なること判明せるを以て上記の學名を創定せられたり。

313 *Fagara ailanthoides* Engl. in Engl. Pflanzenfam. III.-4, 118 (1897)

和名 カラスザンセウ 臺灣名 刺葱、大葉刺葱、紅刺葱、仁刺葱

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、小笠原、濟州島、臺灣、支那、南亞細亞に分布す。

314 *Fagara cuspidata* Engl. in Engl. Pflanzenfam. III.-4, 118 (1897)

和名 ツルザンセウ

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にして刺により上昇す。北は九州の奄美大島、徳之島より南は支那南部に及ぶ。

315 *Fagara nitida* Roxb., Fl. Ind. I. 419 (1832)

和名 テリバザンセウ

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 刺により上昇する蔓性灌木にして葉莖を酒水にて煎服せば腫毒下疳を治し根は咽喉の痛み及齒痛を去ると云ふ。支那南部に分布す。

Meliaceae センダン科

316 *Melia Azedarach* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 385 (1753)

- 和名 シンラン 臺灣名 苦楝
- 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
- 生活形 MM (喬木)
- 備考 原産はカンミヤ地方なりと稱するも現在は熱帯各地に植栽され琉球、臺灣には野生状をなす所あり。材は裝飾用材として机箱類、器具、履物を製し往々ケヤキの代用材とす。實は苦楝子又は金楝子と云ひ藥用となし印度にては材を家具類、家屋建築、ボート、農具、輓、煙草箱を造り根及び樹皮は驅蟲劑となす。内地産のセンダン是本種の變種なり。

Malpighiaceae キントラノヲ科

317 Hiptage Madablota Gaertn., Fruct. II. 169 (1791)

- 和名 ホザキササルノヲ
- 生育地 河岸林内に生じ稀なり。
- 生活形 L (蔓性植物)
- 備考 藤本にして亞細亞の熱帯に廣く分布す。

Polygalaceae ヒメハギ科

318 Polygala glomerata Lour., Fl. Cochinch. 426 (1790)

Syn. *Polygala japonica* Houth. var. *angustifolia* Koidz. in Fl Symb. Orient. Asia. 8 (1930)

- 和名 ホソバヒメハギ
- 生育地 河岸の陽地に生じ稀なり。
- 生活形 H (淺地下植物)
- 備考 十糎内外の高さに達する多年生草本にして南支那、馬來半島、印度に分布し、臺灣にては中、南部に多し。

Euphorbiaceae タカトウタイ科

319 *Aleurites Fordii* Hemsl. in Hook. Ic. Pl. tt. 2801-2802 (1906)

- 和名 シナアブラギリ、カントンアブラギリ 臺灣名 油桐
 生育地 低地に栽培せらる。
 生活形 MM (喬木)
 備考 支那原産にして本邦にては奄美大島、琉球、臺灣に廣く栽培し種子より油を採る。此油は主として船體を塗り又家具、木細工、上等の雨傘を塗るに用ふ。

320 *Antidesma japonicum* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 212 (1846)

- 和名 ヤマヒハツ 臺灣名 枯里珍
 生育地 低地森林内に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 北は九州 (筑後、肥前、肥後、日向、大隅) より南は臺灣、香港に及ぶ。

321 *Bischofia javanica* Blume, Bijdr. 1168 (1825)

- 和名 アカギ、カタン 臺灣名 茄苳
 生育地 低地の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 MM (喬木)
 備考 樹幹の直径二米内外にも達する喬木にして琉球、臺灣、比島、馬來、印度、ビルマ、ポリネシヤに分布す。本種は臺灣島にては有用なる樹種の一つにして建築材の外工藝用材として貴重せられ比島、印度にては杭材、枕木となし沖繩諸島にては風呂桶、水桶、樋、船底を製す。

322 *Bridelia ovata* Decne. in Nouv. Ann. Mus. Par. III. 484 (1835)

- 和名 マルヤマカンコ 臺灣名 刺杜密、刺楠
 生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 支那、馬來、ビルマ、印度、東方亞細亞、濠州に分布する亞喬木なり。

323 *Daphniphyllum glaucescens* Blume, Bijdr. 1153 (1825)

和名 ヒメユヅリハ 臺灣名 虎皮楠

生育地 海拔六百米附近以下の森林内に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 内地の暖地にも多き亞喬木にして本州中南部、四國、朝鮮南部、九州、琉球、臺灣、支那、セイロン、印度、瓜哇に分布す。

324 *Glochidion Fortunei* Hance in Ann. Sc. Nat. Ser.-4, XVIII. 225 (1862)

和名 ヒラミカンコ 臺灣名 面頭菓、細葉赤血仔

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 奄美大島、臺灣、支那南部に分布す。

325 *Glochidion hypoleucum* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 95 (1920)

和名 ウラジロカンコノキ 臺灣名 細葉面頭菓、面頭菓、文頭菓

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 奄美大島、琉球、臺灣に分布し前種に似るも葉裏白色なるを以て一見區別することを得。

326 *Mallotus japonicus* Muell. Arg. in Linnaea, XXXIV. 189 (1865)

和名 アカメガシハ 臺灣名 白肉白匏仔

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那に分布す。

327 *Mallotus paniculatus* Muell. Arg. in Linnaea XXXIV. 189 (1865)

Syn. *Mallotus cochinchinensis* Lour., Fl. Cochinch. 635 (1790)

和名 ウラジロアカメガシハ 臺灣名 白匏仔、帽頂、白葉仔

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 支那、馬來諸島及半島、印度に分布する亞喬木にして恒春地方の土人は垣根の横木とし稀に建築材となし北部にては往々柴架を製することあり。

328 *Mallotus philippensis* Muell. Arg., l. c. 196 (1865)

和名 クスノハガシハ 臺灣名 柿糊木、六椴仔、嘜哩仔、六椴仔

生育地 低地の森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 奄美大島、琉球、比島、印度、南亞細亞、濠州に分布し葉の形状は樟の葉の如く實は赤色にして美麗なり。本種の蒴に附着せる鮮紅色の蜜腺は加麻刺と稱し印度にては絹絲を鮮橙色又は紅色に染むるに用ふと謂へども現今は人造染料との競争上利益少し。

329 *Phyllanthus Niruri* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 981 (1753)

和名 キダチミカンサウ

臺灣名 鴨土樹、椶土珠、小翻魂、葉下珠、細本乳仔草

生育地 低地の茶園又は畑地に生じ稍々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 兩半球の熱帶各地に廣く分布する雜草にして本邦にありては本州中南部以南に分布す。

330 *Sapium discolor* Muell. Arg. in Linnaea, XXXII. 121 (1863)

和名 ナガバナキンハゼ 臺灣名 山柏、有柏、白柏、柏仔

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 MM (喬木)

備考 本種は相當の大木となるも材は輕軟にして保存期甚だ短かき故
用材となるは稀なるも薪材に供し又茶箱、丸物木地を製するこ
とあり。印度、南亞細亞に分布す。

331 Sapium sebiferum Roxb., Fl. Ind. ed.-2, III. 693 (1832)

和名 ナンキンハゼ 臺灣名 柏木、瓊仔、柏仔樹

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 元來支那の原産なるも東印度、日本の南部には自生状をなす所
あり。材は印度にては玩具、家具類を造り、此種子を包む白色
の蠟は支那蠟にして印度にては石鹼、蠟燭に用ひ又布の仕上げ
に使用す、又子核より凡五〇 プロセントの黄褐色の油を採集し
得可くこのものは藥用とし又雨傘の塗料となる、又本種は荒廢
地の造林又は庇蔭樹、庭園樹となすことを得べし。

Callitrichaceae アハゴケ科

332 Callitriche japonica Engelm. in Verh. Bot. Ver. Brandenb. X. 113 (1868)

和名 アハゴケ

生育地 低地の畑地に生じ極めて稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 匍匐性の小草本にして本州中南部、四國、琉球、臺灣に分布す。

Anacardiaceae ウルシ科

333 Rhus succedanea Linn., Mant. II. 221 (1771)

和名 ハゼノキ 臺灣名 山賊仔、漆、山漆、漆七樹

生育地 低地に生じ稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 元來支那の原産ならんも往々野生状をなす所あり。材は黄色なるを以て寄木、木象嵌其他小なる器具類を造り又實より木蠟を採る。印度、ヒマラヤ、瓜哇、支那中部に分布す。

Aquifoliaceae モチノキ科

334 Ilex asprella Champ. ex Benth. in Hook. Kew Journ. IV. 329 (1852)

和名 タイワンウメモドキ、シマウメモドキ

臺灣名 燈秤仔、萬點金、燈稱花

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 支那、比島に分布する落葉性灌木にして臺灣人は枝にて タワシ を製す。

335 Ilex formosana Maxim. in Mem. Acad. Petersb. Ser.-7, XXIX, 28 et 46 (1881)

和名 タイワンナ、メノキ

臺灣名 糊樗、苦株

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 樹高十米内外に達し樹皮は灰白色を呈する臺灣固有種なり。

336 Ilex Hanceana Maxim., l. c. 33. (1881)

和名 ツゲモチ、オキナハソヨゴ

生育地 海拔八百米附近迄見られ稍々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 北は紀州、四國より九州南部を経て南は臺灣迄分布する亞喬木にして葉は橢圓形を呈し三稜内外なり。

337 Ilex micrococca Maxim. var. **longifolia** Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 55 (1913)

和名 タイワンタマミヅキ、ナガバミミヅク

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見タマミツキと變る所なけれど只葉は稍々幅狭し。

338 Ilex Mutchagara Makino in Bot. Mag. Tokyo XXVII. 75 (1913)

和名 シマイヌツゲ、ムツチャガラ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 大隅半島の南半、屋久島より奄美大島を経て琉球、臺灣迄分布す。

339 Ilex pubescens Hook. et Arn., Bot. Beech. Voy. 176 (1841)

和名 ケイヌツゲ

生育地 低地の森林に生じ稍々普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 支那にも分布し葉は長さ三糎内外にして長橢圓形を呈し裏面中肋に沿ひて毛茸密生す。

340 Ilex rotunda Thunb., Fl. Jap. 77 (1784)

和名 クロガネモチ 臺灣名 糊楞、白銀、馬口樹

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 樹幹の直徑一米に達する喬木にして赤色の美麗なる實を着生するを以て内地にては多く庭園樹として植栽せらる。本州中南部、九州、濟州島、琉球、臺灣、支那に分布す。

Celastraceae ツルウメモドキ科

341 Euonymus pellucidifolia Hayata, Ic. Pl. Formos. III 57 (1913)

和名 タイワンアツサ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

- 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣特産にして材は黄白色緻密、稍々ツゲに似たり。近時洋杖として盛んに伐採せられ又箬、擔棒、煙管等を造るに用ふる外根は本島人の醫藥として有名なるものなり。演習林内には以前相當多かりし由なるも上記の用途に濫伐せる結果現在にては稀なり。

342 *Perrottetia arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 26 (1915)

- 和名 ミチンコザクラ
 生育地 谷間の密林内に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 本屬は世界に約十一種を有する珍奇なる屬にして本種は臺灣特産なり。

Staphyleaceae ミツバウツギ科

343 *Euscaphis japonica* Dippel, Handb. Laubholz. II. fig. 229, 480 (1892)

Syn. *Euscaphis japonica* Pax in Engl. et Prantl, Pflanz.-fam. III.-5, 262 (1896)

- 和名 ゴンズキ 臺灣名 鳥躑花
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那に分布す。

344 *Turpinia formosana* Nakai in Journ. Arn. Arb. V. 80 (1924)

- 和名 タイワンセウベンノキ
 生育地 低地の森林に生じ極めて普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 一見セウベンノキに酷似するも中井博士に依れば花著しく小形なるを以て區別容易なりと。臺灣特産なり。

Aceraceae カヘデ科

345 *Acer Oliverianum* Pax var. *Nakaharai* Hayata subvar. *formosanum* Koidz.,

Rev. Acer. Jap. 33 (1911)

和名 イトマキシマモミヂ 臺灣名 鷄柔

生育地 谷間の密林内に生じ稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 臺灣特産なり。

Sapinadaceae ムクロジ科

346 *Eurycorymbus austrosinensis* Handel-Maz. in Anz. Akad. Wiss. Wien,

Math.-Nat. IIX. 104 (1922)

和名 モクゲンジダマシ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見タイワンモクゲンジに酷似するも葉は一回羽状複葉をなし葉質厚く光澤少し。臺灣と支那南部に分布する珍樹なり。

347 *Sapindus Mukorossi* Gaertn., Fruct. I. 342 (1788)

和名 ムクロジ 臺灣名 欒樹、黄日子、木羅、目浪樹

生育地 低地の人家附近に生じ極めて稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 恐らく支那の原産ならんも現在は暖地にては野生状をなし本邦にては本州中南部、小笠原島、九州、琉球、臺灣に産し印度にも分布す。材は器具、箱、家具類を造るに使用され實は印度にては洗濯用に使用し又念珠となし燕子の珠とす。

Sabiaceae アラカヅラ科

348 *Meliosma rigida* Sieb. et Zucc., Fl. Jap. Fam. Nat. I. 152 (1845)

- 和名 ヤマビハ 臺灣名 筆羅子、繆蠶翼
 生育地 低地の森林内に生じ極めて普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、ヒマラヤに分布し材は硬く木刀を造るに用ふ。

349 *Meliosma squamulata* Hance in Journ. Bot. XIV. 364 (1876)

- 和名 ナンバンアハブキ 臺灣名 綠樟
 生育地 海拔四、五百米の森林内に多く生じ最も普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 九州の奄美大島以南臺灣、香港に分布す。

350 *Sabia Swinhoei* Hemsl. ex Forb. et Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXIII.

14 (1886)

- 和名 シマアヲカヅラ、タイワンアヲカヅラ
 生育地 低地の森林内に生じ稍々普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 一見アヲカヅラに酷似するも葉裏は有毛なり。

Rhamnaceae クロウメモドキ科

351 *Berchemia racemosa* Sieb. et Zucc., Fl. Jap. Fam. Nat. I. 147 (1845)

- 和名 クマヤナギ
 生育地 海拔七百米附近の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 本種は分布廣く北は北海道より南は臺灣、支那に及ぶ。

352 *Ventilago leiocarpa* Benth. in Journ. Linn. Soc. V. 77 (1861)

- 和名 テリミノカザナビキ
 生育地 低地の森林内の樹幹に纏繞し稍々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にして支那、ビルマ、印度に分布す。

Vitaceae フタウ科

353 *Ampelopsis cantoniensis* Planch. in DC. Monogr. Phan. V. 460 (1887)

Syn. *Vitis cantoniensis* Seem., Bot. Voy. Herald. 370

和名 タイワンウドカヅラ

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にして臺灣の北、中部並に支那南部、印度に分布す。
ウドカヅラに酷似するも全體壯大にして小葉は卵狀披針形
(彼は卵狀長橢圓形又は卵形)を呈し鋸齒粗なり。

354 *Ampelopsis brevipedunculata* Maxim. in Prim. Fl. Amur. 68 (1859)

Syn. *Ampelopsis heterophylla* Sieb. et Zucc., Fl. Jap. Fam. Nat. I. 197 (1845)

和名 ノブダウ 臺灣名 大葡萄、大本山葡萄、糞管藤、冷飯藤

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 分布廣き植物にして北海道、本州各地、朝鮮、四國、九州、琉球、臺灣、支那、比島に分布し根は煎汁を洗眼劑とし又雞卵を加へ水にて煎服せば耳疾を治すと但し果實は毒分を含むと云ふ。

355 *Columella japonica* Merr. in Philipp. Journ. Sc. Bot. XIII. 145 (1918)

Syn. *Cissus japonica* Willd., Sp. I. 695 (1797)

和名 ビンボフカヅラ 臺灣名 五爪龍、五爪絨

生育地 低地の伐採跡地に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 北は北海道より南は臺灣、支那、ヒマラヤ、アッサム地方に分布し本種の根は藥用に供す。

356 Parthenocissus Thunbergii Nakai in Journ. Jap. Bot. VI.-8, 56 (1930)Syn. *Cissus Thunbergii* Sieb. et Zucc. in Abh. Münch. Akad. IV.-2, 195 (1846)*Parthenocissus tricuspidata* Planchon in DC. Monogr. V. 452 (1887)

和名 ツタ、ナツツタ 臺灣名 紅骨蛇

生育地 低地の河岸に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 北海道、本州、四國、朝鮮、九州、臺灣、支那に分布し秋の紅葉を賞する爲に庭園に植栽せらる。

357 Tetrastigma formosana Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXVI. 68 (1922)Syn. *Vitis formosana* Hemsl. in Ann. Bot. IX. 151 (1895)

和名 ミツバビンボフヅル、ドクブダウ

生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 琉球、臺灣に分布する蔓性の多年生草本にして葉は三個の小葉よりなり瘰癧、皮膚病及癩麻質斯には葉を搗碎て酢にて煎じ患部に塗布せば効ありと云ふ。

358 Tetrastigma umbellata Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXVI. 69 (1922)Syn. *Vitis arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 30 (1915)*Vitis umbellata* Hemsl. var. *arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 63 (1913)

和名 アリサンヤブガラシ

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の多年生草本にして五個の小葉よりなる。臺灣特産なり。

359 Vitis lanata Roxb., Hort. Beng. 18 (1814)

和名 リウキウガネブ、ワタエビ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 九州の薩摩、肥後の南部より南は奄美大島を経て琉球、臺灣、香港、印度、ビルマ等に分布し一見エビヅルに酷似するも葉の裂片の先端は尖る。

360 *Vitis pteroclada* Hayata in Gen. Ind. Fl. Formos. 15 (1917)

Syn. *Cissus pteroclada* Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 107 (1912)

和名 ヒレブダウ

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 莖には翼あるを以て一見他の種類と區別することを得。臺灣特産なり。

Elaeocarpaceae ホルトノキ科

361 *Elaeocarpus japonicus* Sieb. et Zucc., Fl. Jap. Fam. Nat. I (1845) p. 57

和名 コバンモチ 臺灣名 薯豆、薯斗

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。

362 *Elaeocarpus Makinoi* Kanehira nom. nov. MSS.

Syn. *Prunus elliptica* Thunb., Fl. Jap. (1784) p. 179

Elaeocarpus japonica Sieb., Syn. Pl. Oecon. Jap. (1830) p. 63,
non Sieb. et Zucc.

Elaeocarpus photiniaefolia Sieb. et Zucc. in Abh. Münch. Akad.
IV.-2 (1845) p. 164, non Hook. et Arn.

Elaeocarpus ellipticus Makino in Bot. Mag. Tokyo XVIII (1904) p. 67,
non Sm.

Elaeocarpus decipiens Matsum., Ind. Pl. Jap. II.-2 (1912) p. 344, non Hemsl.

Elaeocarpus elliptica Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXII. (1918) p. 221

和名 ホルトノキ

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 M M (喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、濟州島、臺灣に分布す。

363 *Sloanea dasycarpa* Hemsl. in Hook. Ic. Pl. t. 2628 (1901)

Syn. *Echinocarpus dasycarpus* Benth. in Prod. Linn. Soc. V. Suppl. II. 72 (1861)

和名 ハリミコバンモチ 臺灣名 猴觀喜

生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。

生活形 M M (喬木)

備考 樹幹の直径一米に及ぶ喬木にして支那、印度、ヒマラヤに分布し印度にては外氣に曝らされざる所の板、梁に用ひ又茶箱を造る。この樹は樹姿優美にして黄白色の美花を開くが故に觀賞用として適當なり。又恒春半島の蕃人は此材にて銃床を製す。

Malvaceae ゼニアフヒ科

364 *Hibiscus mutabilis* Linn., Sp. Pl. ed.-2, 977 (1763)

和名 フヨウ 臺灣名 山芙蓉、狗頭、芙蓉

生育地 河岸の岩石上に野生状を呈し少々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 元來支那の原産と稱せらるゝも暖地にては野生状をなす所多く、亞細亞の熱帶地方に廣く分布す。

365 *Hibiscus syriacus* Linn., Sp. Pl. 695 (1753)

和名 ムクゲ 臺灣名 水錦花、白水錦水
 生育地 前種と同様に河岸の岩石上に野生状をなし普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 本種も支那原産と稱せらるゝも現今東亞の暖地に廣く栽培せらる。

366 *Sida rhombifolia* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 684 (1753)

和名 キンゴジクワ 臺灣名 大號嗽血仔草、鬼柳根、賜米草
 生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 北は九州の種子島、屋久島迄分布する汎熱帯性の草本状灌木にして小笠原島にも分布す。

367 *Urena lobata* Linn. var. *tomentosa* Miq., Fl. Ind. Bat. I.-2, 148 (1859)

和名 オホバボンテンクワ 臺灣名 虱母子草、虱母子
 生育地 低地の陽地に生じ稍々普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 北は九州大隅の内之浦村、佐多岬、屋久島、種子島より南は琉球、臺灣、支那南部等に及ぶ汎熱帯性の草本状灌木なり。

368 *Urena sinuata* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 692 (1753)

和名 ボンテンクワ
 生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 北は九州の大隅、薩摩迄分布する汎熱帯性の草本状灌木なり。

Sterculiaceae アラギリ科

369 *Melochia concatenata* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 675 (1753)

Syn. *Melochia corchorifolia* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 675 (1753)

- 和名 ノヂアフヒ 臺灣名 燈仔草
 生育地 低地の畑地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 本邦にては四國、九州、琉球、臺灣に分布する汎熱帯性の一年生植物なり。

Actinidiaceae マタタビ科

370 *Actinidia formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 12 (1919)

- 和名 タイワンサルナシ
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 サルナシに比するに葉は小形にして質稍々厚く葉柄は短かし。臺灣特産なり。

371 *Actinidia latifolia* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XLI. 521 (1927)

Syn. *Actinidia Championi* Benth., Fl. Hongk. 26 (1861)

Actinidia Miqueli King in Journ. Asiat. Soc. Bengal. LIX. 196 (1890)

- 和名 ピロウドサルナシ、タカサゴサルナシ
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 サルナシに似るも葉裏は密毛を有す。支那、印度支那、馬來、スマトラに分布す。

372 *Saurauja Oldhami* Hemsl. ex Forb. et Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXIII. 79 (1886)

Syn. *Saurauja tristyla* DC. var. *Oldhami* Finet et Gagn. in Bull. Bot. Fr. 14 (1905)

- 和名 タカサゴシラタマ 臺灣名 水冬瓜、花筒槿
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 本種の果實は甜味あれば食すべく根を煎服せば腹痛感冒及熱病を治し刀傷又は打撲傷には嫩芽を搗碎て患部に貼ると云ふ。
臺灣特産なり。

Ternstroemiaceae ツバキ科

373 *Adinandra formosana* Hayata in Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos.
45 (1906)

和名 ナガエサカキ 臺灣名 紅淡

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 琉球、臺灣に分布し、一見サカキに似るも芽は黄金色の毛茸を密生するを以て一見區別することを得。

374 *Camellia gnaphalocarpa* Makino in Journ. Jap. Bot. I.-12, 41 (1918)

和名 サザンクワモドキ

生育地 河岸の岩面又は海拔八百米附近の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 一見サザンクワに酷似するも葉、花共に小形なり。臺灣の北、中部の山地に自生する臺灣固有種なり。

375 *Camellia shinkoensis* Makino, l.c.

和名 シンカウツバキ 臺灣名 烏皮茶、牛屎茶

生育地 低地の森林に生じ極めて普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 常緑の亞喬木にして臺灣の固有種なり。材は建築用として良好なり又材質堅重なるを以て水對の車心を製することあり。

376 *Eurya acuminata* A. DC. in Mem. Soc. Phys. Geneve I. 418 (1822)

和名 トガリバヒサカキ、 ナンゴクヒサカキ

生育地 森林の各所に生じ極めて普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見ヒサカキに似るも枝は稍々細く葉質薄く先端尖る。九州の屋久島以南琉球、臺灣、支那、印度、東部亞細亞に分布す。

377 *Eurya leptophylla* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 5 (1920)

和名 ニヒタカヒサカキ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稍々普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 前種に似るも葉は短く小枝は有毛なり。臺灣全島の山地に分布する臺灣固有種なり。

378 *Gordonia anomala* Spreng.-Benth. Fl. Hongk. 29 (1861)

和名 タイワンツバキ

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 常緑の亞喬木なるも直径三十糎以上に達するものあり。葉は長さ十糎内外にして長楕圓形を呈し材は建築材とし又薪材とす。香港に分布す。

379 *Ternstroemia gymnanthera* Sprague in Journ. Bot. LXI 18 (1923)

Syn. *Ternstroemia japonica* Thunb. in Trans. Linn. Soc. II. 335 (1797)
pro parte

Ternstroemia Mokof Nakai, Fl. Sylv. Kor. XVII. 86 (1928)

和名 モクコク 臺灣名 紅紫

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稍々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 東部亞細亞に廣く分布する亞喬木にして本邦にては本州、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。印度にては建築材とし沖繩にては白蟻の害少しとして建築材に賞用せらる。樹皮は染料とし八丈、三宅、御倉の諸島にては布帛を茶褐色に染むることあり。

380 *Tristylidium ochracea* Merr. in Philipp. Journ. Sci. Bot, IXXXIX. 572 (1918)

Syn. *Cleyera japonica* Thunb. in Nov. Gen. III. (1783) 69. pro parte

Cleyera ochracea DC., Prod, I. 524 (1824)

Eurya ochracea Szysz. in Engl. et Prantl, Pflanzenfam. III.-6, 189 (1895)

Freziera ochracea Nakai, Veg. Isl. Quelpaert, no. 893, 64 (1914)

Sakakia ochracea Nakai in Fl. Sylv. Kor. XVII. 77 (1928)

和名 サカキ

臺灣名 紅淡比

生育地 森林の各所に生じ稍々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州、四國、朝鮮南部、九州、琉球、臺灣、支那、東部亞細亞、印度に分布す。

var. **Morii** Sasaki in Sasaki, List. Pl. Formos. 294 (1928)

Syn. *Eurya ochracea* Szysz. var. *Morii* Yamamoto in Suppl. Ic. Pl. Formos. III. 40 (1927)

Sakakia Morii Masamune in Journ. Soc. Trop. Agric. 2, 34 (1930)

和名 マルバノサカキ

生育地 森林内に生じ稍々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 基種に比するに葉は圓く大形にして實も稍々大なり一般に大木となるもの多し。

Hypericaceae オトギリサウ科

381 *Hypericum formosanum* Maxim. in Mel. Biol. XI. 160 (1881)

- 和名 タイワンキンシバイ
 生育地 河岸岩石上に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 一見キンシバイに似るも葉は更に大形なり。

382 *Hypericum japonicum* Thunb., Fl. Jap. 295 (1784)

- 和名 ヒメオトギリ 臺灣名 鐵釣竿、黃花仔、一枝香、出生老
 生育地 低地の畑地又は茶園内に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 分布廣き多年生草本にして本州各部、朝鮮南部、九州、琉球、臺灣、支那、比島、ヒマラヤ、セイロン、ニュージーランド、濠州に分布す。

Violaceae スミレ科

383 *Viola Kawakamii* Hayata, Fl. Mont. Formos. 52 (1908)

- 和名 カハカミスミレ、ナンバンスミレ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 臺灣の固有種にして一見フモトスミレに似るも葉裏は粉白堊色を呈す。本島人は薬用として珍重す。

384 *Viola Nagasawai* Makino et Hayata, Matsum. et Hay., Enum. Pl. Formos. 30 (1906)

- 和名 ナガサハスミレ、タカサゴスミレ
 生育地 低地の森林又は茶園に生じ稍々普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 一見ツクシスミレに似るも葉脚は心臟状をなす。臺灣特産なり。

385 *Viola stenocentra* Hayata ex Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXVI. 38 (1922)

和名 タイワンコスミレ

生育地 低地の森林又は茶園、畑地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 臺灣の固有種にして一見スミレに似るも葉は短く卵状を呈し裏面帯紫色を呈す。全草は搗碎きて腫物に貼付せば膿を吸出し熱を除くと云ひ又葉を鹽にて揉み汁を疥癬に塗布すべしと云ふ。

Flacourtiaceae イヒギリ科

386 *Casearia Merrilli* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 30 (1913)

和名 イヌカンコノキ

生育地 低地の森林に生じ少々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣特産の亞喬木にして全島に分布す。

Passifloraceae トケイサウ科

387 *Passiflora edulis* Sims., Bot. Mag. t. 1989

和名 クダモノトケイサウ

生育地 低地森林に野生状を呈し少々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 伯國原産の蔓性灌木にして現今は熱帯各地に廣く分布し果實は食用となる。

Begoniaceae シウカイダウ科

388 *Begonia Hayatae* Gagnep. in Bull. Mus. Hist. Nat. Paris, XXV. 282 (1919)

Syn. *Begonia aptera* Hayata, Mater. Fl. Formos. 122 (1911)

和名 マルミシウカイダウ

生育地 低地森林内の蔭湿地に生じ普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 本種は早田博士により上記の學名を附せられたるも既に小スンダ島中のチモル島に産する秋海棠に Roxburgh 氏により同一學名附せられゐるを以て不可なり。臺灣の固有種なり。

389 Begonia laciniata Roxb. var. **formosana** Hayata, Mater. Fl. Formos. 124 (1911)

和名 マルヤマシウカイダウ

生育地 低地森林の蔭湿地に生じ少々普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 臺灣全島に分布する臺灣固有種にして基種は南支那、印度に分布す。

390 Begonia randaiensis Sasaki, List. Pl. Formos. 301 (1928)

Syn. *Begonia ferruginea* Hayata, Mater. Fl. Formos. 123 (1911)

和名 タイワンミヤマシウカイダウ

生育地 低地森林の蔭湿地に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 本種も小リンネにより既に 1781 年ニユーグラナツトの植物に同一學名設定せられ居るを以て佐々木氏により上記の學名創設せられたり。本種は一見 マルヤマシウカイダウに似るも葉裏の葉脈に沿ひ銹色の毛茸を有す。臺灣固有種なり。

Elaeagnaceae **グミ科**

391 Elaeagnus glabra Thunb., Fl. Jap. 67 (1784)

和名 ツルグミ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にして本州中南部、四國、九州、朝鮮南部、琉球、臺灣、支那に分布す。

392 *Elaeagnus Thunbergii* Serv. in Bull. Herb. Boiss. Ser.-2, VIII. 384 (1908)

和名 タイワンアキグミ

生育地 森林内に生じ少々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 葉の裏面は銀白色を呈し特徴あり。臺灣特産なり。

Lythraceae ミソハギ科

393 *Lagerstroemia subcostata* Koehne var. *hirtella* Koehne in Engl. Bot. Jahrb. IV. 21 (1883)

和名 シマサルスベリ

臺灣名 九 芎

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 MM (喬木)

備考 樹幹は平滑茶褐色を呈し特徴あり。屋久島、種子島、奄美大島、徳之島、臺灣、支那中部に分布す。材は甚だ堅重、緻密なるを以て器具、洋杖、農具、建築、薪炭、枕木等に使用す。

394 *Rotala densiflora* Koehne var. *formosana* Hayata, Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos. 149 (1906)

和名 ホソバキカシグサ

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 莖の高さ二十糎内外の一年生植物にして臺灣の特産なり。

395 *Rotala rotundifolia* Koehne in Engl. Bot. Jahrb. I. 175 (1881)

和名 マルバキカシグサ

臺灣名 水猪母乳

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 一年生植物にして前者より葉圓く九州南部、臺灣、南支那、印度に分布す。

Myrtaceae テンニクワ科

396 *Eugenia formosana* Hayata, Mater. Fl. Formos. 113. (1911)

和名 タイワンアデク、ヤマツゲモドキ 臺灣名 赤蘭、蕃仔掃箒

生育地 森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣の固有種にして一見 アデク に酷似するも葉は 少々大形なり。恒春地方にては建築材となし又農具の柄に使用し、實は食することを得べし。

397 *Eugenia microphylla* Abel., Narr. Journ. Chin. 181, 364 (1818)

Syn. *Syzygium buxifolium* Hook. et Arn. in Bot. Beech. Voy. 187 (1841)

和名 アデク

生育地 森林内に生じ前種より稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 北は日向の双石山、大隅の高隈山より南は琉球、臺灣、香港、小笠原島等に分布す。

398 *Psidium Guajava* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 471 (1753)

和名 バンジロウ 臺灣名 拔仔、那拔、藍拔、蔴拔、扒仔

生育地 低地に栽培せらる。

生活形 M (亞喬木)

備考 メキシコ及び熱帯アメリカの原産にして現今は熱帯到る所に繁殖し果實は生食し得べし。

Melastomataceae ノボタン科

399 *Blastus cochinchinensis* Lour., Fl. Cochinch. 527 (1790)

和名 ミヤマハシカンボク

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、支那、交趾支那、印度東部に分布す。

400 *Bredia Oldhami* Hook. f., Ic. Pl. XI. 68 (1867-71)

和名 ヒナノボタン 臺灣名 金樹榴、地丁

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣特産の灌木なり。

401 *Melastoma septemnerium* Lour. in Fl. Cochinch. 273 (1790)Syn. *Melastoma candidium* D. Don in Mem. Wern. Soc. IV. 288 (1823)

和名 ノボタン 臺灣名 九螺仔花、埔筆仔、不留行、金石留

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 北は九州屋久島、奄美大島より南は琉球、臺灣、香港、交趾支那に分布し又小笠原島にも生ずる灌木にして果實は食し得べし。

402 *Pachycentria formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 109 (1912)

和名 アカミノボタン、コノボタン

生育地 樹上に生じ普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 樹上に着生する一米以下の灌木にして莖、實共に紅し。臺灣の固有種なり。

- 403** *Sarcopyramis delicata* C. B. Robinson in Bull. Torr. Bot. Club, XXXV.
72 (1908)

和名 タカサゴイナモリ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 高さ六糎内外の多年生草本にして桃色の美しき花を開く、比島と臺灣にのみ産し分布上面白し。

Oenotheraceae アカバナ科

- 404** *Jussiaea erecta* Linn., Sp. Pl. 388 (1753)

Syn. *Jussiaea suffruticosa* Linn., Sp. Pl. 388 (1753)

和名 キダチキンバイ

臺灣名 水丁香

生育地 低地の水邊に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 九州南部、奄美大島、琉球、臺灣等に分布する 汎熱帯性の草本状灌木なり。

- 405** *Ludwigia prostrata* Roxb., Hort. Beng. II (1814)

和名 チャウジタデ、タゴボウ

生育地 水邊又は水田に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州各部、朝鮮、九州、琉球、臺灣、支那、馬來、比島、印度其他の舊熱帯に廣く分布する多年生草本なり。

Araliaceae ウコギ科

- 406** *Aralia bipinnata* Blanco, Fl. Filip. 222 (1837)

Syn. *Aralia hypoleuca* Presl, Epim. Bot. 250 (1849)

和名 ウラジロタラノキ

生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 一見メダラに似るも葉裏は白色にして毛茸少し。琉球、臺灣、比島に分布す。

407 *Aralia Decaisneana* Hance in Journ. Bot. IV. 172 (1866)

和名 タイワンタラノキ 臺灣名 刺葱樹、刺葱、細號刺葱
 生育地 森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 一見タラノキに似るも大木となり葉軸は褐色鬚毛を布き、小葉は長大にして粗齒牙縁なり。支那に分布す。

408 *Schefflera arboricola* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 23 (1916) in syn.

Syn. *Heptapleurum arboricola* Hayata, l.c. 23 (1916)

和名 ヤドリフカノキ 臺灣名 狗脚蹄
 生育地 森林内の樹上に着生し普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 支那の海南島に分布す。

409 *Schefflera octophylla* Harms, in Engl. et Prantl, Nat. Pfl.-fam. III. 8, 36 (1894)

Syn. *Heptapleurum octophyllum* Forb. et Hemsl. in Journ. Linn. Soc.

XXIII. 342 (1888)

Agalma lutchuense Nakai in Journ. Arn. Arb. V. 20. (1924)

和名 フカノキ 臺灣名 江某、江姆、鴨母樹、鴨麻瓜
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 九州薩摩の甑島を北限とし大隅半島の南端、屋久島、種子島、琉球、臺灣、香港、廣東、海南島に分布す。材は履物、器具、刀鞘、浮子、農具、箱等を造るに用ひらる。

410 *Textoria pellucidopunctata* Kanehira et Sasaki, List. Pl. Formos. 315 (1928)Syn. *Gilibertia pellucidopunctata* Hayta, Ic. Pl. Formos. II. 62 (1912)

和名 タイワンカクレミノ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣の固有種にして全島の山地に分布しカクレミノに比するに葉は小にして枝は分岐多し。

Apiaceae (*Umbelliferae*) セリ科**411 *Centella asiatica* Urb. in Mart. Fl. Bras. XI.-1, 287 (1879)**

和名 ツボクサ 臺灣名 蚶壳草、含殼草、蚶仔草、蚶壳仔草

生育地 人家附近に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本邦にては本州中南部、四國、九州、朝鮮、小笠原、琉球、臺灣に分布する汎熱帯性草本にして葉は切創血止めに利き全草を水にて煎服せば疔を治し解熱及毒蛇咬傷藥となり小兒の下毒劑に用ふ。莖は微紅を帯ぶるものと然らざるものとありて前者の方効多しと云ふ。

412 *Hydrocotyle javanica* Thunb., Diss. Hydrocot. n. 17 (1798)

和名 オホバチトメグサ

臺灣名 金錢薄荷、乞食碗、紅骨含殼草、變地忽

生育地 低地森林の蔭地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、南部支那、比島、馬來、其他の亞細亞の熱帯に廣く分布す。

413 *Hydrocotyle sibthorpioides* Lam., Encycl. III. 153 (1789)

和名 チドメグサ

生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本邦にては本州各部、九州、朝鮮、臺灣に分布すれど其他、亞細亞及アフリカの熱帯に廣く分布す。

414 *Oenanthe stolonifera* DC., Prod. IV. 138 (1830)

和名 セリ 臺灣名 細本山芹菜、水芹菜
 生育地 水邊に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、支那、琉球、臺灣、印度、瓜哇に分布し食用とす。

415 *Sanicula satsumana* Maxim. in Mel. Biol. XII. 465 (1887)

和名 ヒメウマノミツバ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 高さ十糎内外の多年生草本にして九州屋久島、奄美大島、琉球、臺灣に分布す。

Metachlamydeae 後生花被區

Diapensiaceae イハウメ科

416 *Shortia exappendiculata* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 146 (1913)

和名 ランダイイハウメ
 生育地 海拔八百米附近の森林内又は低地の斷崖地に生じ稍々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 中央山脈に分布する臺灣の固有種にして一見イハカガミに酷似し葉のみにては區別困難なり。

Rhodoraceae (*Ericaceae*) シヤクナゲ科417 *Pieris taiwanensis* Hayata, Mater. Fl. Formos. 169 (1911)

和名 タイワンアセビ、ホザキアセビ

生育地 低地森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣の固有種にして一見アセビに酷似するも葉柄は短く葉身狭く花冠は壺状(彼は卵形)を呈し密集して花序は直立す(彼は下垂)るを以て區別し得べし。有毒なること同じ。

418 *Rhododendron indicum* Sweet var. *formosanum* Hayata, Ic. Pl. Formos.

III. 134 (1913)

和名 タイワンツツジ

生育地 海拔九百米附近の森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣の東部並に恒春半島に分布する臺灣固有種なり。

419 *Rhododendron Kanehirai* Wils. in Wils. et Rehd. Monogr. Azal. 28 (1921)

和名 ウライツツジ 臺灣名 満山紅

生育地 河岸の岩地に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 一見サツキに似たる葉を有する臺灣固有種なり。

420 *Rhododendron leiopodum* Hayata, Ic. Pl. Formos. III (1913) p. 136

和名 セイシクワ

生育地 低地森林に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 北は奄美大島より南は八重山島を経て臺灣迄分布す。

421 *Rhododendron Mariesii* Hemsl. ex Wils. in Kew Bull. 244 (1907)Syn. *Rhododendron shojoense* Hayata, Mater. Fl. Formos. 174 (1911)

- 和名 シュジョウツツジ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 一見ミツバツツジ様の葉を有し臺灣と支那(湖北省、四州省)に産し分布上面白い。

422 *Rhododendron Oldhami* Maxim., Rhod. As. Or. 34 (1870)

- 和名 キンマウツツジ
 生育地 海拔八百米附近の崖地に生じ少々稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 葉に黄金色の毛茸を有し特徴あり。臺灣特産なり。

423 *Vaccinium emarginatum* Hayata, Fl. Mont. Formos. 149 (1908)

- 和名 オホバコケモモ
 生育地 高地森林内の樹上に着生し少々稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 莖の高さ一米以下の灌木にして石南科の着生植物の一例として面白い。臺灣の固有種なり。

424 *Vaccinium randaiense* Hayata, Mater. Fl. Formos. 168 (1911)

- 和名 ランダイシヤシヤンポ
 生育地 森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 シヤシヤンポに比するに葉は鋭尖頭をなし萼は更に大にして無毛なり。臺灣特産なり。

Ardisiaceae (*Myrsinaceae*) ヤブカウジ科

425 *Bladhia chinensis* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXV. 98 (1921)

Syn. *Ardisia chinensis* Benth., Fl. Hongk. 207 (1861)

- 和名 シナヤブカウジ、シナタチバナ
 生育地 低地の森林内に生じ極めて普通なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 高さ三十糎内外の灌木にして臺灣の北部、中部並に支那に分布す。

426 *Bladhia citrifolia* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXV. 98 (1921)

Syn. *Ardisia citrifolia* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 88 (1915)

- 和名 トンロクヤブカウジ
 生育地 海拔五、六百米の森林内に生じ稀なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 高さ二十糎内外の灌木にして臺灣の特産なり。

427 *Bladhia lentiginosa* Nakai in Nak. et Koidz. Tree. & Shrub. Jap. ed. I. 283 (1927)

Syn. *Ardisia crispa* DC. in Trans. Linn. Soc. XVII. 124 (1837)

- 和名 マンリヤウ 臺灣名 鐵雨傘、短脚涼傘樹、雨傘子
 生育地 海拔九百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 本州中部以南、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣、支那、瓜哇に分布す。

var. *Taquetii* Nakai, l.c. 284 (1927)

Syn. *Ardisia crispa* DC. var. *Taquetii* Lev. et Vnt. in Fedde, Repert. X. 374 (1911-12)

- 和名 オホマンリヤウ
 生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 莖の高さ二米に及ぶものあり本州(安房)、濟州島、臺灣に分布す。

428 *Bladhia morrisonensis* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXXV. 99 (1921)Syn. *Ardisia morrisonensis* Hayata, Mater. Fl. Formos. 181 (1911)

和名 ニヒタカマンリヤウ

生育地 森林の蔭地に生じ少々普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣特産なり。

429 *Bladhia quinquegona* Nakai, l. c. 99 (1921)Syn. *Ardisia quinquegona* Blume, Bijdr. 699 (1825)

和名 シシアクチ

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 モクタチバナに似るも大木とならず普通三米以下にして葉は薄し北は屋久島、種子島より南は琉球、臺灣、支那、東京に分布す。

430 *Bladhia Sieboldii* Nakai, l. c. 99 (1921)Syn. *Ardisia Sieboldii* Miq. in Ann. Lugd. Bat. III. 190 (1867)

和名 モクタチバナ 臺灣名 樹 杞

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 九州(日向、豊後、肥前、大隅、薩摩)、琉球、臺灣、小笠原島に分布し観賞用として栽培せらる。

431 *Bladhia villosa* Thunb., Fl. Jap. 19, 96 (1784)Syn. *Ardisia villosa* Mez. in Engl. Pfl.-reich, Heft.-9, 152 (1902)

和名 ツルカウジ

生育地 海拔五百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 臺灣には從來リウキウツルカウジのみ産すると稱せらるゝも演習林産のものは寸分内地産のツルカウジと變る所なし。本州中南部、四國、九州、濟州島、臺灣に分布す。

432 *Maesa japonica* Mor. et Zoll., Syst. Verz. Ind. Archip. 61 (1854)

和名 イヅセンリヤウ

生育地 低地の河岸林に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 本州中南部、四國、九州、臺灣、支那に分布す。

433 *Maesa sinensis* A. DC. in DC. Prod. VIII. 82 (1844)

和名 シマイヅセンリヤウ 臺灣名 六角草、山桂花

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 タイワンセンリヤウは本種に酷似し只葉は幅稍々狭きも變化多く筆者區別するを得ず或ひは同一物ならんか。九州(大隅、薩摩)、琉球、臺灣、支那に分布す。

434 *Rapanea neriifolia* Mez. in Engl. Pfl.-reich, Heft-9, 361 (1902)

和名 タイミンタチバナ、ヒチノキ 臺灣名 竹杞、鐵仔

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。

Primulaceae サクラサウ科

435 *Lysimachia ardisoides* Masamune in Journ. Sci. Trop. Agric. IV. 3, 302 (1932)

和名 コウジモロコシサウ

生育地 密林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 従来モロコシサウと考へられしが莖には翼なく果實は大形なるを以て正宗氏により別種なりと考定せられたり。

Ebenaceae カキノキ科

436 *Diospyros eriantha* Champ. ex Benth. in Hook. Kew Journ. IV 302 (1852)

和名 ヤハラケガキ 臺灣名 烏材仔、烏材柿

生育地 海拔四、五百米附近の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 臺灣全島、支那、ボルネオ、スマトラに分布し材は主として薪材となす。

437 *Diospyros Morrisiana* Hance in Journ. Bot. 210 (1880)

和名 タイワンマメガキ 臺灣名 山柿、烏材柿

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見トキハガキに酷似し外見のみにては筆者區別することを得ず。臺灣以外にては支那に産す。

Symplocaceae ハヒノキ科

438 *Bobua ferruginifolia* (Kanehira) comb.nov.

Syn. *Symplocos ferruginifolia* Kanehira in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos.

XX. III. 383 (1930)

和名 サビバカンザブラウノキ (新稱)

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見アラバノキに似るも葉並に花序に銹色の毛茸を密布するを以て區別容易なり。

- 439 Bobua glauca** Nakai, Nak. et Koidz. Trees & Shrubs Jap. ed.-2, I. 322 (1927)
 Syn. *Symplocos glauca* Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 313 (1925)
 和名 ミミズバヒ 臺灣名 山羊耳
 生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本州中南部、九州、琉球、臺灣、南支那、南亞細亞に分布す。
- 440 Bobua japonica** Miers in Journ. Linn. Soc. XVII. 306 (1879)
 Syn. *Symplocos lucida* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 55 (1846)
Bobua lucida Miers in Journ. Linn. Soc. Bot. XVII. 305 (1879)
 non DC.
Bobua lucida Kanehira et Sasaki, List. Pl. Formos. 331 (1928)
 和名 クロキ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本州中部以南、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。
- 441 Bobua Konishii** Kanehira et Sasaki, List Pl. Formos. 331 (1928)
 Syn. *Symplocos Konishii* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 105 (1915)
 和名 コニシカンザブラウノキ
 生育地 密林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の北部、中部の山地に生ずる亞喬木にして葉長二十浬幅六
 浬内外に達す。
- 442 Bobua prunifolia** Sieb. et Zucc.; Miers in Journ. Linn. Soc. XVII. 306 (1879)
 Syn. *Symplocos prunifolia* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 133 (1846)
Bobua heishanensis (Hayata), l.c. 331 (1928)

Bobua risekiensis (Hayata), l.c. 332 (1928)

- 和名 クロバヒ
 生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 早田博士に依れば後二者はクロバヒに酷似するも葉は狭く披針形を呈し先端尖り全縁にして花殆んど無柄なるにより區別出來ると稱せらるゝも筆者は臺北の林業試験場の腊葉並に九州産クロバヒを比較せしに區別不可能なりき。殊に三者共一年枝の紫色を帯びる點はクロバヒと同一なり。本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。

443 *Bobua sozanensis* Kanehira et Sasaki, List. Pl. Formos. 332 (1928)

Syn. *Symplocos sozanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 70 (1920)

- 和名 サウザンハヒノキ
 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の北部並に恒春半島に分布する臺灣固有種なり。

444 *Bobua theophrastaefolia* Sieb. et Zucc. apud Miers in Journ. Linn. Soc.

XVII. 306 (1879)

Syn. *Symplocos theophrastaefolia* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II 134 (1846)

- 和名 カンザブラウノキ 臺灣名 大葉白門、白門
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 本州中南部、四國、九州、臺灣に分布し薪材として利用せらる。

Halesiaceae (*Styracaceae*) エゴノキ科

445 *Alniphyllum Fortunei* Makino in Bot. Mag. Tokyo XX. 93 (1906)

- 和名 ハンノハエゴノギ 臺灣名 有刑、有檜、打招

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 MM (喬木)

備考 落葉の喬木にして支那に分布し材は茶箱を製し又薪材とす。

446 *Styrax formosanum* Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XV. 75 (1901)

和名 タイワンエゴノキ 臺灣名 烏皮九芎、白樹、烏鷄母、葉下白

生育地 河岸林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 エゴノキに比し葉長く基脚は楔形を呈し薪炭材とし又は輓轡材として良好なり。エゴノキと同様其果實を搗碎て河流に投ずれば魚族痲酔して浮上る。九州の奄美大島にも分布すと云ふ。

447 *Styrax suberifolium* Hook. et Arn., Bot. Beech. Voy. 196 (1841)

和名 ウラジロエゴノキ 臺灣名 赤血仔、紅皮、葉下白

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 葉裏には褐色絨毛を布き支那の香港に分布す。薪材として良好なり。

Oleaceae モクセイ科

448 *Ligustrum Pricei* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 123 (1915)

和名 アリサンイボタ

生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣の固有種にして中央山脈に分布す。

449 *Osmanthus Matsumuranus* Hayata, Mater. Fl. Formos. 192 (1911)

和名 ナガバモクセイ、オホバモクセイ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

- 生活形 M (亞喬木)
備考 臺灣固有種なり。

Loganiaceae フチウツギ科

450 *Buddleia asiatica* Lour., Fl. Cochinch. 72 (1790)

- 和名 タイワンフチウツギ 臺灣名 揚波、海洋波、白埔姜
生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
生活形 N (灌木)
備考 コフチウツギに似るも花は紫色ならず白色なり。莖葉を水にて煎服せば 癩麻質斯及神經痛を治し 又皮膚病には之にて洗滌すと。莖葉共に毒あるが如し。比島、支那、交趾支那、馬來、印度に分布す。

Gentianaceae リンダウ科

451 *Crawfordia japonica* Sieb. et Zucc., Fam. Nat. II. 160 (1846)

- 和名 ツルリンダウ
生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
生活形 L (蔓性植物)
備考 千島、北海道、本州、四國、九州、濟州島、臺灣、支那、印度の東部並に北部に分布す。

452 *Swertia shintensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 31 (1916)

- 和名 シンテンアケボノサウ
生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ少々稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 一見ヘツカリンダウに酷似する臺灣の固有種なり。

Apocynaceae ケフチクタウ科

453 *Anodendron affine* Nakai, Trees & Shrubs Jap. ed. 2. I. 416 (1927)Syn. *Anodendron laeve* Maxim. ex Franch. et Sav., Enum. I. 315 (1875)

和名 サカキカヅラ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の灌木にして本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、香港に分布す。

454 *Anodendron Benthamianum* Hemsl. in Journ. Linn. Soc. XXVI. 98 (1889)

和名 オホサカキカヅラ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 サカキカヅラに似るも花、葉共に遙かに大形なり。臺灣特産なり。

455 *Ecdysanthera rosea* Hook. et Arn., Bot. Beech. Voy. 198 (1841)

和名 ゴムカヅラモドキ 臺灣名 乳 藤

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 ゴムカヅラに似るも葉小さく形異なり質薄く花色異なり且つ香氣なし、葉に酸味(鞣酸)を含むが故に高地に住む蕃人には葉を搗きて其汁を食鹽に代用するものありと云ふ。臺灣、支那、馬來諸島に分布す。

456 *Ecdysanthera utilis* Hayata et Kawakami in Bot. Mag. Tokyo XX. 51 (1906)

和名 ゴムカヅラ 臺灣名 乳 藤

生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 莖を傷くる時は白色の乳液を分泌す、是れを放置すれば凝固して弾力護謨となる。本種より採集したる護謨は弾力性に富むも缺點としては甚だ粘着性あり且色澤暗色なるにありて本島にては未だ利用するに至らず。臺灣固有種なり。

457 *Trachelospermum asiaticum* Nakai var. *intermedium* Nakai, Nak. et Koidz. Trees & Shrubs Jap. ed.-2. I. 419 (1927)

和名 テイカカツラ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 常緑の藤本にして本州、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。

Asclepiadaceae ガガイモ科

458 *Dischidia foamosana* Maxim, in Mel. Biol. IX. 822 (1876)

和名 マメヅタカツラ

生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣特産の多年生匍匐草なり。

459 *Heterostemma Browni* Hayata, Mater. Fl. Formos. 199 (1911)

和名 ブラオンカツラ、 ホソバキジヨラン

生育地 河岸林に生じ稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣特産の多年生蔓性植物なり。

460 *Hoya carnosa* R. Br. in Mem. Wern. Soc. I. 27 (1809)

和名 サクララン

臺灣名 毬蘭

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 九州(大隅、薩摩)、琉球、臺灣、支那に分布し印度、瓜哇にては栽培せらると云ふ。觀賞用として屢々栽植せらる。

461 *Marsdenia formosana* Masamune in Journ. Soc. Trop. Agric. II. 3, 241 (1930)

和名 タイワンキジヨラン

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 一見キジヨランに似るも葉は卵形又は長卵形を呈するを以て一見區別することを得。臺灣特産なり。

Convolvulaceae ヒルガホ科

462 *Erycibe* Henry iPrain in Journ. As. Soc. Beng. LXXIII. 15 (1905)

Syn. *Erycibe acutifolia* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 76 (1920)

和名 ホルトカツラ

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 大隅の佐多村、屋久島、徳之島、奄美大島、琉球、臺灣、支那に分布す。

Ehretiaceae (*Borraginaceae*) ムラサキ科

463 *Bothriospermum tenellum* Fisch. et Mey., Ind. Sem. Hort. Petrop. I. 24 (1835)

和名 タカサゴハナイバナ

生育地 畑地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 一年生の雑草にしてハナイバナに酷似するも全株多毛にして葉は彼の如く匙形ならず且花は稍々密に生ずるを以て區別し得。臺灣以外にては支那中部、印度北部に分布す。

464 *Ehretia resinosa* Hance in Journ. Bot. XVIII. 299 (1880)

- 和名 ヤニチシヤノキ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 臺灣の特産にして南部に多し。

Verbenaceae クマツツラ科

465 *Callicarpa formosana* Rolfe in Journ. Bot. XX. 358 (1882)

- 和名 ホウライムラサキ 臺灣名 粗糠仔、白粗糠仔、大丁黃、毛將軍
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 比島に分布す。切傷には嫩芽を搗碎て其儘或ひは氷砂糖を加へて患部に貼用し齒痛、眼病、淋病及月經不順には根を酒水等量に豚の肝臓を加へ煎服すと。

466 *Callicarpa longifolia* Lam., Encycl. 1, 563 (1785)

- 和名 ナガバムラサキ
 生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 比島に分布す。

467 *Callicarpa longiloba* Merr. in Philip. Journ. Sci. XIII. 156 (1918)

- 和名 オニヤブムラサキ、 タイワンシロシキブ
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 支那、比島に分布す。

468 *Callicarpa randaiensis* Hayata, Mater. Fl. Formos. 222 (1911)

- 和名 ランダイムラサキ

- 生育地 海拔八百米附近の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 臺灣の固有種にして臺灣の北、中、東部に分布す。

469 Clerodendron canescens Wall, Cat. n. 1800 (1829)

- 和名 シラゲクサギ
 生育地 海拔六百米附近の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 支那に分布す。クサギに似るも葉縁に鋸齒ありて長さ十糎幅八糎内外にして葉脚截形をなす。

470 Clerodendron cyrtophyllum Turcz. in Bull. Soc. Nat. Mosc. XXXVI.
 222 (1863)

- 和名 マキバクサギ 臺灣名 埔草様
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 支那に分布す。根を刻み卵を加へて煎服せば麻刺利亞を治すと云ふ。

Lamiaceae (Labiatae) ラドリコサウ科

471 Clinopodium gracile O. Kuntze, Rev. Gen. 514 (1891)

- 和名 タフバナ
 生育地 人家附近に生じ少々普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、東部アジャに分布す。

472 Lamium longepetiolata Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 92 (1919)

- 和名 クラルオドリコサウ

生育地 谷間の蔭濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 高さ六十糎内外に達する多年生草本にして臺灣の北部並に恒春半島に産す。

473 *Mesona procumbens* Hemsl. in Ann. Bot. IX. 155 (1895)

和名 センサウ 臺灣名 仙草
 生育地 低地の開墾地に生じ稍々稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 支那、亞細亞の東部、並に南部に分布す。莖葉の煎汁に米と小麥粉を合せたる粘液物(粉裝と云ふ)を加へ煉油少量を混じて冷せば黒褐色寒天状のものとなる之を適宜に切り砂糖を加へて夏季の清涼食物となす外其煎汁を茶の代用として兼て腎臟病に効ありと云ふ。

474 *Mosla formosana* Maxim. in Mel. Biol. IX. 434 (1875)

和名 タイワンヒメジソ 臺灣名 土牛七、鐵木棍、一枝香、香符
 生育地 畑地附近に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 ヒメジソに比するに毛少く葉柄短く苞は花梗と同長(彼は長し)にて花は淡紫色(彼は白色紅暈)を呈す。全草を乾して湯に投じて飲用せば茶の代用となり毒蛇咬傷には莖葉を搗碎きて患部に貼る。臺灣特産なり。

475 *Mosla lanceolata* Maxim., l. c.

和名 シロバナイヌカウジユ
 生育地 畑地附近に生じ稍々稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 支那及東部アジャに分布す。

476 Nepeta Glechoma Benth., Lab. Gen. et Sp. 485 (1832-36)Syn. *Glechoma herbacea* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 578 (1753)

和名 カキドホシ、カントリサウ 臺灣名 黄白仔草、茶匙黄、相思草

生育地 人家附近に生じ稍々稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本邦にては北は北海道より南は臺灣迄分布するも其他歐州東部、中央亞細亞、シベリヤに分布す。莖葉は精油を含有し、俗に小兒の疳を治すと云ふ。其他強壯劑、感冒、咯血等に其煎劑を用ふ。

477 Perilla frutescens Brit. var. *typica* Makino in Journ. Jap. Bot. III.-2, 7 (1926)

和名 エゴマ 臺灣名 山紫蘇、白紫蘇

生育地 河岸の平地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 印度の原産なるも現在は東亞各地に廣く分布し野生狀を呈す。

478 Plectranthus daitonensis Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 107 (1919)

和名 ダイトンヤマハツカ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣の北部に産する臺灣特有種なり。

479 Prunella asiatica Nakai, Kamikochi-Tennenkinenbutsu-Chôshôkoku 29 (1928)

和名 ウツボグサ 臺灣名 夏枯草

生育地 人家附近に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 莖葉は利尿劑として用ひらる。北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、濠州に分布す。

480 *Salvia scapiformis* Hance in Journ. Bot. XXIII. 368 (1885)

和名 タカサゴタムラサウ

生育地 河岸の岩石地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部、臺灣、支那、ルソン島に分布す。

481 *Scutellaria Playfairi* Kudo, Labiat. Sino-Jap. Prod. 254 (1929)

和名 ヒメタツナミサウ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 琉球、臺灣、東部亞細亞に廣く分布す。

482 *Teucrium stoloniferum* Roxb. var. ***Miquelianum*** Maxim. in Mel. Biol. IX. 826 (1876)

和名 ツルニガクサ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 東部亞細亞に廣く分布し我國にては北海道、本州、九州、臺灣に分布す。

Solanaceae ナスビ科

483 *Physalis angulata* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 183 (1753)

和名 センナリホホヅキ

臺灣名 登郎草、炮仔草、甘仔密、白厚朴、蝶仔草

生育地 森林内に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 葉と赤糖と共に飯にて捏ね咽喉に貼付す。全草を煎じて解毒、感冒、腸の病、眼病等に用ふ。熱帯アメリカの原産と稱せられ現今は熱帯各地に廣く分布す。

484 Solanum biflorum Lour., Fl. Cochinch. 129 (1790)

和名 メジロホホヅキ 臺灣名 金縷鈕、耳鈎草

生育地 低地の森林内に生じ稍々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 根を煎じて毒腫に用ふ。四國、九州、小笠原島、琉球、臺灣、支那南部、比島、馬來半島及諸島に分布す。

485 Solanum lysimachioides Wall. in Roxb. Fl. Ind. ed Carey, II. 257 (1824)?

和名 ツルコンロンサウ

生育地 密林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 蔓性の多年生草本にして支那、印度に分布す。

486 Solanum nigrum Linn. Sp. Pl. ed. 1, 186 (1753)

和名 イヌホホヅキ 臺灣名 烏刺茄、烏子仔菜、烏子仔草、烏子茄

生育地 低地の森林に生じ稍々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 全草を解熱及び利尿劑として用ひるもソラニン等を含有するが故有毒なり。果實には毒ありて之を喰へば胃痛、昏醉、瞳孔散大の諸病を發すと云ふも適量に用ふれば催眠又は鎮痛に効ありと云ふ。又葉は煮て食用に供す。熱帯、溫帯に廣く分布し本邦にては樺太、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、小笠原島、琉球、臺灣に分布す。

487 Tubocapsicum anomalum Makino. in Bot. Mag. Tokyo XXII. 19 (1908)

和名 ハダカホホヅキ

- 生育地 森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本種の果實は有毒なり。葉及び果實は髪を黒くし、睡を少くし、
 熱毒、炊熱を去り種子は文疔腫を治す。本州中南部、四國、九州、
 濟州島、琉球、臺灣に分布す。

Rhinanthaceae (*Scrophulariaceae*) **ゴマノハグサ科**

488 *Bonnaya aristato-serrata* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 79 (1920)

- 和名 スズメノタウガラシモドキ
 生育地 水田、畑地に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 臺灣の固有種なり。スズメノタウガラシに比し葉は大形にして
 葉縁には鋭き細鋸齒あり。

489 *Dopatrium junceum* Ham. ex Benth. Scroph. Ind. 31 (1835)

- 和名 アブノメ、バチバチグサ
 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、比島、馬來、印度、
 セイロン島、濠州に分布す。

490 *Ilysanthes serrata* Urb. in Berl. Deutsch. Bot. Ges. II. 436 (1884)

- 和名 クチバシグサ 臺灣名 鴨舌黄、鴨母草、定經草、水丁黄
 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 臺灣、南支那、比島、馬來、印度、瓜哇に分布す。葉莖を家鴨卵と
 共に煮て食すれば通經劑となり腫物には搗碎きて貼用す。

491 *Limnophila aromatica* Merr., Interpret. Herb. Amb. 466 (1917)Syn. *Limnophila gratissima* Blume. Bijdr. 749 (1825)

和名 シソクサ

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州中南部、九州、臺灣、比島、南支那、印度、濠州に分布す。莖葉を生姜と酒と共に煎服し、婦人經風症及下腹痛、眩暈、酔倒等に用ふ。

492 *Lindernia cordifolia* Merr., Enum. Philip. Fl. Pl. III. 437 (1923)Syn. *Lindernia pedunculata* Wettst. in Engl. et Prantl, Pfl.-fam. IV.-3b, 73 (1891)

和名 タイワンウリクサ

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣、比島、南支那、馬來諸島、印度に分布す。

493 *Lindernia viscosa* Merr., Enum. Philip. Fl. Pl. III. 439 (1923)Syn. *Lindernia hirsuta* Wettst. in Engl. et Prantl, Pfl.-fam. IV.-3b, 73 (1891)

和名 ケウリクサ

生育地 茶園に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 一見ウリクサに酷似するも全株粗毛を散生す。臺灣、支那、比島、印度に分布す。

494 *Mazus stolonifer* Makino in Cat. Sem. Hort. Bot. Univ. Tokyo 17 (1896)

和名 サギゴケ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州各部、四國、九州、臺灣に分布す。

495 *Mazus tenuiracemus* (Hayata) comb. nov.

Syn. *Mazus japonicus* O. Kuntze var. *tenuiracemus* Hayata ex T. Ito in
Taiwanshokubutsu-Zusetu f. 311, 313 (1927)

和名 セイタカサギゴケ

生育地 低地の河岸の岩石上に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣特産なり。

496 *Torenia concolor* Lindl., Bot. Reg. t. 62 (1846)

和名 ツルウリクサ 臺灣名 倒地蜈蚣、釘地蜈蚣

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣、支那に分布す。

497 *Veronica arvensis* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 13 (1753)

和名 タチイヌノフグリ

生育地 畑地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 歐洲原産の雑草にして現在は東亞各地に廣く分布す。

Bignoniaceae ノウゼンカツラ科

498 *Stereospermum sinicum* Hance in Journ. Bot. XX. 16 (1882)

和名 センダンキササゲ 臺灣名 山菜豆、山苦棟、苦荬舅

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 MM (喬木)

備考 恒春地方にては建築材とし又板にも使用する。支那(香港)に分布す。

Orobanchaceae ハマウツボ科

499 *Aeginetia indica* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 632 (1753)

和名 タイワンギセル 臺灣名 金鎖匙、茶匙黃、芋菰草

生育地 低地に生じススキの根に寄生す。

生活形 G(深地下植物)

備考 臺灣、支那、交趾支那、馬來、印度に分布し全草を酒又は水にて煎服せば強壯劑と成り又解熱劑、小兒の疳藥にもなると云ふ。

Cyrtandraceae (*Gesneraceae*) イハタバコ科

500 *Chirita bicornuta* Hayata, Ic. Pl. Formos. III. 154 (1913)

和名 ツノギリサウ

生育地 谷間の蔭濕地に生じ少々稀なり。

生活形 H(淺地下植物)

備考 臺灣全島に分布する臺灣固有種なり。

501 *Isanthera discolor* Maxim. in Mel. Biol. IX. 372 (1874)

和名 ヤマビハサウ

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 N(灌木)

備考 亞灌木にしてビハの如き大形の葉を有し裏面には淡褐色の柔毛を密布す。九州の屋久島、奄美大島、徳之島、臺灣、比島、馬來、に分布す。

502 *Lysionotus warleyensis* Willm. in Gard. Chron. LIV. 125 (1913)

和名 タイワンシンラン

生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 支那に分布し シシンランに酷似するも 莖高く花梗長三糎餘あり、花冠長四糎半に達す。

503 Rhynhoglossum Sasakii Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 34 (1916)

和名 コルリブクロ

生育地 森林内の蔭濕地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣特産にして北部の山地に多し。

504 Titanotrichum Oldhami Solered. in Berich. Deutsch. Bot. Gesell. V.-27, 400 (1909)

和名 マツムラサウ

生育地 低地の河岸の岩石地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

* 備考 本屬は臺灣、支那(フオキン)に分布し學術上興味あり。

505 Trichosporum acuminatum O.Kuntze, Rev. Gen. 477 (1891)

和名 ナガミカヅラ

生育地 森林内の樹幹に纏繞着生し普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 概形 サクラランに似るも葉は遙かに狭小なり。臺灣全島に分布し海外にありては支那(香港)、ビルマ、ヒマラヤに分布す。

Lentibulariaceae タヌキモ科

506 Utricularia bifida Linn., Sp. Pl. ed. 1, 18 (1753)

和名 ミミカキグサ

生育地 水田に生じ普通なり。

* 18頁に於て本屬は臺灣特産と記せども支那(フオキン)にも分布すること判明せり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州各部、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、馬來、比島、印度東部、カロリン、マリアン諸島、濠州に分布す。

Acanthaceae キツネノマゴ科

507 *Codonacanthus pauciflorus* Nees in DC. Prod. XI. 103 (1847)

和名 アリモリサウ、ツノツクバナ

生育地 河岸の岩石上に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 高さ三十糎内外の多年生草本にして奄美大島、臺灣、支那、印度東部に分布す。

508 *Dicliptera uraiensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 85 (1920)

和名 ウライハグロサウ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 ハグロサウに比するに葉は狭小にして苞は披針形をなす。臺灣の北部に産す。

509 *Justicia procumbens* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 15 (1753)

和名 キツネノマゴ 臺灣名 鼠尾紅、小鼠尾、麥穗黃、鳳尾黃

生育地 低地の開墾地に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州各部、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那南部、馬來、印度、セイロン島、濠州に分布す。液汁をリウマチスに塗て効ありと云ふ又全草を搗碎きて腫物に貼り又其煎汁にて眼病を洗ひ又解熱劑とす。

510 *Lepidagathis formosensis* Clarke ex Hayata, Mater. Fl. Formos. 213 (1911)

和名 ウロコマリ
 生育地 河岸の岩石地に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣全島に生育す。

511 *Staurogyne concinnula* Matsum., Ind. Pl. Jap. ii. II, 581 (1912)

Syn. *Ebermaiera concinnula* Hance in Journ. Bot. 300 (1868)

和名 タイワンサギゴケ、シマサギゴケ
 生育地 低地の林縁等に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 廣東にも分布す。

512 *Strobilanthes flaccidifolius* Nees in DC. Prod. XI. 194 (1847)

和名 リウキウアキ、ヤマアキ 臺灣名 山菁、大菁
 生育地 森林内の湿地に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 本種は元來香港、廣東、ビルマ、東部印度に分布するも臺灣には探藍の爲支那より輸入栽培せしが現在は殆んど全島に野生状をなす。

513 *Strobilanthes flexicaulis* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 135. (1915)

和名 アリサンアキ
 生育地 奥地の密林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣の特産なり。

514 *Strobilanthes formosanus* S. Moore in Journ. Bot. XV. 294 (1877)

和名 ヤマアキモドキ
 生育地 谷間の蔭湿地に生じ少々普通なり。

- 生活形 H (淺地下植物)
 備考 一見リュウキウアキに似るも全體粗毛あり葉の鋸齒粗く花筒稍々短し。臺灣全島に分布す。

Plantaginaceae オホバコ科

515 *Plantago major* Linn. var. *asiatica* Decne. in DC. Prod. XII-1, 694 (1852)

- 和名 オホバコ 臺灣名 車前草、五根草
 生育地 低地の路傍に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 亞細亞の北部、中部、東部に分布し本邦にては北は樺太、千島より南は臺灣迄分布す。莖葉は陰干とし煎服せば胃病、疝氣、解熱、利尿、眼病、淋疾に宜しく強壯劑ともなり又葉の揉汁は腫物の吸出に用ひ又果實を酒又は水にて煎服せば難産に即効ありと云ひ、小兒の蟲下しにも賞用せらるゝ等藥効甚だ多し。

Rubiaceae アカネ科

516 *Damnacanthus indicus* Gaertn. f. var. *formosanus* Nakai, Trees & Shrubs Jap. ed. 1, I. 407 (1922)

Syn. *Damanacanthus indicus* Gaertn. f. var. *parvifolius* (Koidz.) Nakai, Trees & Shrubs Jap. ed. 2, I. 545 (1927), syn. nov.

- 和名 タイワンアリドウシ、コバノジュズネノキ 臺灣名 虎刺
 生育地 海拔六百米附近の森林内に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 葉形はジュズネノキとアリドウシの中間にあり本州中南部、九州、臺灣に分布す。

517 *Diplospora viridiflora* DC., Prod. IV. 477 (1830)

- 和名 シロミミヅ 臺灣名 狗骨仔

生育地 森林内に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、支那南部に分布す。材は硬くツゲの代用とし彫刻、寄木細工、象嵌に用ふるの外實は珈琲の如く煎じて飲用すること得。

518 *Gardenia angusta* Merr. var. *angustifolia* (Nakai) Sasaki, List. Pl. Formos. 380 (1928)

Syn. *Gardenia jasminoides* Ellis var. *angustifolia* Nakai, Trees. & Shrubs Jap. ed. 2, -I. 521 (1927)

和名 タイワンクチナシ 臺灣名 山黄枝、山黄梔

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 クチナシに比し葉は倒披針形にして花徑三糎内外に及び、支那(香港)に分布す。果實は解熱、淨血の効あり。又頭痛、感冒等にも用ひらる。

519 *Geophila herbacea* Kuntze, Rev. Gen. 300 (1891)

Syn. *Geophila reniformis* D. Don, Prod. Fl. Nep. 136 (1802-3)

和名 アフヒモドキ

生育地 森林内の蔭地に生じ少々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 汎熱帯性の多年生匍匐小草にして臺灣、南支那、比島、印度等に分布す。

520 *Mephitidia formosensis* Nakai, Trees & Shrubs Jap. I. 394 (1922)

Syn. *Lasianthus formosensis* Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XV. 17 (1901)

和名 シンテナルリミノキ

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣特産なり。

var. **hirsuta** Nakai, Trees & Shrubs Jap. ed.-1, I. 394 (1922)

Syn. *Lasianthus formosensis* Matsum. var. *hirsutus* Matsum., l. c.

和名 ケルリミノキ

生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 基種に比し全株多毛なり。毛はマルバルリミノキの程度にして核果に剛毛を有す。

521 Mephitidia microstachys Nakai, l. c. 395 (1922)

Syn. *Lasianthus microstachys* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 63 (1920)

和名 ウスバルリミノキ

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 シンテンルリミノキに比するに葉は殆んど無毛なり。臺灣の固有種なり。

522 Mephitidia nigrocarpa Masamune in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos.

XXII. 461 (1932)

Syn. *Lasianthus chinensis* Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos.

195 (1906)

Lasianthus nigrocarpus Masamune, l. c. p. 222

和名 オホバルリミノキ

生育地 低地の森林に生じ少々稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 屋久島? 琉球、臺灣、支那、印度に分布す。

523 Mephitidia parvifolia (Hayata) comb. nov. ?

Syn. *Lasianthus parvifolius* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX, 63 (1920)

- 和名 ホソバルリミノキ (新稱)
 生育地 海拔八百米附近に生じ稍々普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 一見タシロルリミノキに似るも葉は狭小にして特徴あり。
 臺灣特産なり。

524 Mephitidia plagiophylla Nakai, Trees & Shrubs Jap. I. 395 (1922)

Syn. *Lasianthus plagiophyllus* Hance in Journ. Bot. N. Ser. V. 196 (1875)

- 和名 マルバルリミノキ
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 ケルリミノキに似るも葉は幅廣く基脚は截形又は稍々心臟状をなすを以て區別容易なり。奄美大島、琉球、臺灣、比島に分布す。

525 Mephitidia Tashiroi Nakai, l.c. 396 (1922)

Syn. *Lasianthus Tashiroi* Matsum. in Bot. Mag. Tokyo XV. 37 (1901)

- 和名 タシロルリミノキ
 生育地 森林内に生じ稍々稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、比島に分布す。

526 Morinda umbellata Linn., Sp. Pl. ed. 1, 176 (1753)

- 和名 ハナガサノキ、アカダマカツラ
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)

備考 常緑の藤本にして屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、南支那、比島、馬來諸島、東印度に分布す。

527 *Mussaenda parvifolia* Miq. in Ann. Lugd. Bat. II. 110 (1867)

和名 コンロンクワ

生育地 低地の森林内に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 北は薩摩の紫尾山より屋久島、奄美大島を経て琉球、臺灣迄分布す。

528 *Oldenlandia corymbosa* Linn., Sp. Pl. ed. I, 119 (1753)

和名 タマザキフタバムグラ 臺灣名 龍吐珠、珠仔草、定經草

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 汎熱帯性の雑草にして全草を水にて煎服せば解熱劑となり眼病には根を鶏卵及酒水にて煎服するか單に水に浸して其水にて洗ふ。フタバムグラに似るも全株硬直なり。

529 *Oldenlandia diffusa* Roxb., Hort. Beng. II (1814)

和名 フタバムグラ

生育地 畑地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州中南部、九州、濟州島、臺灣に分布し海外にありては比島、馬來諸島、印度等の舊熱帯に廣く分布す。

530 *Oldenlandia hirsuta* Linn. f., Suppl. 127 (1781)

和名 ハシカグサ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州各部、濟州島、九州、臺灣、支那、ヒマラヤ、瓜哇に分布す。

531 *Ophiorrhiza monticola* Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 89 (1912)

和名 ヤマイナモリ

生育地 低地森林の蔭濕地に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣特産なり。

532 *Ouroparia formosana* Hayata, Enum. Pl. Formos. VI. 183 (1906)

Syn. *Uncaria Kawakamii* Hayata, Mater. Fl. Formos. 140 (1911)

和名 タイワンカギカヅラ、ハナダマノキ

生育地 谷間の森林に生じ稍々普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣の固有種にしてカギカヅラに似るも葉並に花梗は有毛にして花、果實共に大形なり。莖は麻刺利亞に根は儂麻質斯に効あり水にて煎服す。

533 *Paederia chinensis* Hance in Journ. Bot. VII. 228 (1878)

Syn. *Paederia tomentosa* Maxim. in Bull. Acad. Imp. Sci. St. Pétersb.

XXIX. 173 (1888)

和名 ヘクソカヅラ 臺灣名 烏屎藤、鷄香藤、白鷄屎藤

生育地 低地の開墾地に生じ極めて稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 若葉は小兒の毒を去り積食を治し莖根は下痢を止め感冒、腎臓の疾患を治す脚氣疼痛、中風鎮咳、睾丸炎に効ありと云ふ。北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、比島、支那、馬來、ヒマラヤに分布す。

534 *Paederia villosa* Hayata, Ic. Pl. Formos IX. 64 (1920)

和名 サメハダヘクソカヅラ

生育地 低地の森林に生じ稍々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 ヘクソカヅラに比し葉は頗る糙澁にして裏面に絨毛を密布し少々紫色を呈す。臺灣の北、中部に分布す。

535 Psychotria Reevesii Wall. in Roxb. Fl. Ind. II. 104 (1824)

和名 ボチャウジ、リウキウアラキ

生育地 低地森林の蔭地に生じ普通なり。

生活形 N (灌木)

備考 種子島、屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、支那南部に分布す。

536 Psychotria serpens Linn., Mant. Pl. II. 204 (1771)

和名 シラタマカヅラ、イハヅタヒ

生育地 低地森林内の樹幹に着生上昇し普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 紀州南端、四國、九州南部、琉球、臺灣、南支那に分布す。根莖を酒及び水各等量を以て煎服して風を去り、手足柔軟、血行不順を治す。

537 Randia canthioides Champ. ex Benth. in Hook. Kew Journ. IV. 194 (1852)

和名 タイワンミサヲノキ、シマミサヲノキ

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 ミサヲノキに比し花梗は少々長し。奄美大島、琉球、臺灣、支那に分布す。

538 Serissa japonica Thunb., Nov. Gen. Pl. IX. 132 (1798)

和名 ハクテヨウゲ 臺灣名 噴雪

生育地 開墾地附近の森林に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 内地にては庭園に栽培するも臺灣、支那、交趾支那に野生す。

539 *Thysanosperrum diffusum* Champ. ex Benth. in Hook. Kew Journ. Bot.

IV 168 (1852)

- 和名 ヘウタンカヅラ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 奄美大島、琉球、臺灣、香港に分布す。

540 *Wendlandia formosana* Cowan in Notes Roy. Bot. Gard. Edinb. XVI.

(1932)

Syn. *Wendlandia glabrata* Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos. 184
 (1906) non DC.

Wendlandia Heyneana Nakai in Journ. Arn. Arb. V. 83 (1924) non Wall.

- 和名 アカミツキ、キナモドキ 臺灣名 水金京、水金驚、水魂仔、
 水金定
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 新材として最も優良なり、又材は農具を製す。臺灣特産なり。

Caprifoliaceae スヒカヅラ科

541 *Ebulus formosana* Nakai, Tent. Syst. Capr. Jap. 14 (1921)

- 和名 タイワンソクヅ 臺灣名 有骨消、七葉蓮
 生育地 低地の林縁に生じ極めて稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 一見ソクヅに酷似せるも葉及花序共に無毛にして葉縁は内曲せる
 齒牙状の鋸齒を有し密槽は圓筒状(彼は杯形)なり。嫩莖葉は
 綠肥となし葉は搗碎きて重湯に浸し、臭脚腫毒に貼用し淋疾
 にはトクサ類の根と共に煎服すと云ふ。臺灣の北部、東部に
 分布す。

542 *Lonicera hypoglauca* Miq. in Ann. Lugd. Bat. II. 270 (1866)

- 和名 キダチニンドウ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。ハマニンドウに比し葉は有毛なり。

543 *Viburnum luzonicum* Rolfe in Journ. Linn. Soc. Bot. 21, 310 (1884)

- 和名 ルゾンガマズミ 臺灣名 紅子仔
 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 海外にありては比島に産す。

544 *Viburnum morrisonense* Hayata, Mater. Fl. Formos. 133 (1911)

- 和名 ニヒタカガマズミ
 生育地 普通高地森林内の崖地に生じ稀なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 臺灣の北、中部の山地に生ず。

Valerianaceae ラミナヘシ科**545 *Patrinia villosa* Juss. in Ann. Mus. Par. X. 311 (1807)**

- 和名 フトコヘシ
 生育地 低地の路傍に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、支那中部、北部、琉球、臺灣に分布す。

Cucurbitaceae ウリ科**546 *Gynostemma pentaphyllum* Makino in Bot. Mag. Tokyo XVI. 179 (1902)**

和名 アマチャヅル 臺灣名 金絲五爪龍、龍鬚藤、五爪粉藤
 生育地 森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 本邦にありては北海道、本州、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣、
 に分布す。

547 *Melothria mucronata* Congn. in DC. Monogr. Phan. III. 622 (1881)

和名 クロミノスズメウリ、クロミノオキナハスズメウリ
 臺灣名 山刺瓜
 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 奄美大島、琉球、臺灣、支那(海南島)、比島、馬來、印度に分布す。

548 *Thladiantha formosana* Hayata, Fl. Mont. Formos. 100 (1908)

和名 ミヤマノウリ 臺灣名 臭瓜
 生育地 低地の森林に生じ極めて稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣の北、中部に産す。

549 *Trichosanthes formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. X. 7 (1921)

和名 タイワンカラスウリ
 生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 カラスウリに比するに葉は卵狀鋭尖形にして分裂せず。臺灣の
 北部に多し。

550 *Trichosanthes homophylla* Hayata, l. c. 8 (1921)

和名 イモノハカラスウリ
 生育地 谷間の密林内に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)

備考 カラスウリに比し葉は長く裏面の葉脈上に褐色の絨毛を密生す。臺灣全島に分布す。

551 *Trichosanthes multiloba* Miq. in Ann. Lugd. Bat. II. 82 (1865)

和名 モミヂカラスウリ

生育地 低地の森林に生じ少々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、東部ヒマラヤに分布す。

Campanulaceae キキヤウ科

552 *Campanumoea lancifolia* Merr., Enum. Philip. Fl. Pl. III. 587 (1923)

Syn. *Campanumoea axillaris* Oliv. in Hook. Ic. Pl. XVIII. t. 1775 (1887)

和名 タイワンツルギキヤウ

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣、支那、比島、シヤム、アッサムに分布す。

553 *Lobelia affinis* Wall., Cat. n. 1311 (1829)

和名 マルバミゾカクシ

生育地 低地の濕地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣、馬來、セイロン島に分布す。

554 *Lobelia radicans* Thunb. in Trans. Linn. Soc. II. 330 (1793)

和名 ミゾカクシ、アゼムシロ 臺灣名 水仙花草、拈力仔草

生育地 低地の開墾地に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、印度東部に分布す。

莖を搗碎きて腐敗せる飯と混合し糊となし切傷に貼付す。

555 **Pratia nummularia** Kurz in Journ. As. Soc. Beng. 46² (1877)

Syn. *Pratia begonifolia* Lindl. in Bot. Reg. t. 1373

和名 サクラダサウ

生育地 低地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 臺灣、支那中部及南部、比島、馬來、印度東部に分布す。

Asteraceae (*Compositae*) キク科

556 **Adenostemma lavenia** O. Kuntze. Rev. Gen. Pl. 304 (1891)

和名 ヌマダイコン 臺灣名 四葉紫蘇、竹節黄

生育地 低地森林の濕地に生じ少々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣、支那、比島、印度支那、印度、アフリカに分布す。

557 **Ageratum conyzoides** Linn., Sp. Pl. ed. 1, 839 (1753)

和名 クワクカウアザミ 臺灣名 南風草、蝶仔草、一枝香、柳仔黄

生育地 低地の開墾地に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 熱帯アメリカの原産にして現在は熱帯各地に廣く分布す。

558 **Ageratum Houstonianum** Mill., Gard. Dict. ed.-8, n. 2 (1768)

和名 ムラサキクワクカウアザミ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 クワクカウアザミに比するに全形大にして葉は廣心形、花序亦大にして花は淡紫色なり。メキシコの原産なるも現在は熱帯各地に廣く分布す。

559 *Artemisia vulgaris* Linn. var. *indica* Maxim. in Mel. Biol. VIII. 536 (1872)

- 和名 ヨモギ 臺灣名 艾、祈艾
 生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州各部、四國、九州、臺灣、其他東亞の暖地に分布し葉は強壯藥、通經藥、解熱藥等に用ふ。

560 *Aster Lautureanus* Franch. in Mem. Soc. Sc. Nat. Cherb. XXIV. 222 (1884)

- 和名 ヨメナ 臺灣名 傷食草、開脾草
 生育地 低地の路傍に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、滿洲、支那に分布す。莖葉を乾かし水煎服用せば風熱を去り尿を通じ腫物及淋病を治す又葉の揉汁は毒蟲の螫したるに擦付けて効ありと云ひ嫩葉は浸し物にして食ふことは良く人の知る所なり。

561 *Bidens albiflora* Makino in Journ. Jap. Bot. V.-4, 18 (1928)

- 和名 シロバナセンダングサ 臺灣名 咸豐草、同治草
 生育地 低地の開墾地に生じ稍々普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 根は解熱劑として煎服す。印度其他の熱帶地方の原産にして我國にては九州南部、琉球、臺灣等の暖地に分布す。

562 *Blumea lacera* DC. in Wright. Contr. Bot. Ind. 14 (1834)

- 和名 ヤハヤマカウヅリナ 臺灣名 生毛將軍、山白菜
 生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 琉球、臺灣、比島、印度、ヒマラヤ、セイロン島、馬來半島、支那、熱帶アフリカに分布す。全草を搗碎き鶏卵と混じ皮膚の患部に塗布す。

563 *Blumea pubigera* Merr. in Philip. Journ. Sci. 14, 250 (1919)

Syn. *Blumea chinensis* DC., Prod. V. 444 (1836)

和名 ツルハグマ

生育地 低地の森林に生じ少々稀なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 蔓性の多年生草本にして樹上に纏繞す。臺灣、支那、比島、ビルマ、印度、瓜哇、ニウギニヤに分布す。

564 *Blumea sericans* Hook. f., Fl. Brit. Ind. III. 262 (1882)

和名 タイワンヂワウギク、シマヂワウギク 臺灣名 毛將軍、兔耳草

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉莖を水にて煎服せば腫毒を下すと云ふ。葉莖銀毛あるに依り他種との區別容易なり。臺灣、支那南部、比島、ビルマに分布す。

565 *Centipeda minima* A. Br. & Aschers., Ind. Sem. Hort. Berol. App. 6 (1867)

和名 トキンサウ 臺灣名 珠子草、満天星、蝶仔草

生育地 低地の人家附近に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 莖葉を水にて煎服せば健胃整腸の効あり又打撲傷を治し小兒の五疳には枇杷葉を加へ米の洗水にて煎服す又毒蛇咬傷には搗碎きて液汁を塗布す。吐血には液汁を酒にて煎服すべしと。

北海道、本州、四國、九州、朝鮮、滿洲、アムール、支那、琉球、臺灣、比島、馬來、熱帯アフリカ、ポリネシヤに分布す。

566 *Conyza japonica* Less., Syn. Comp. 204 (1832)

和名 ヤマヂワウギク、イヅハハコ

生育地 伐採跡地に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、支那、比島、ヒマラヤ、アフガニスタンに分布す。

567 *Crepis japonica* Benth., Fl. Hongk. 194 (1861)

和名 オニタビラコ 臺灣名 山艾菜、山根龍、山瓜菜、
山菠薐、單壁黃

生育地 低地の傍路に生じ稍々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 莖葉を搗碎きて汁液を毒蛇咬傷部に塗布し又水にて煎服すれば解熱劑となると云ふ。 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、琉球、臺灣、比島、馬來、印度、セイロン島、アフガニスタン、濠州に分布す。

568 *Dichrocephala latifolia* DC. in Wright. Contrib. Bot. Ind. II (1834)

和名 ブクリヤウサイ 臺灣名 猪菜草

生育地 低地の開墾地に生じ稍々稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州(八丈島)、屋久島、奄美大島、琉球、臺灣、支那南部、比島、ビルマ、ヒマラヤ、瓜哇、熱帯アフリカに分布す。

569 *Eclipta alba* Hassk., Pl. Jav. Rar. 528 (1848)

和名 タカサブラウ 臺灣名 細號拈力仔、田烏草、烏田烏

生育地 低地の路傍、人家附近に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 北半球の暖、熱帯に廣く分布し本邦にては本州各部、四國、九州、琉球、臺灣、朝鮮に分布す。 莖葉を水にて煎服せば強壯劑となり又肺病、胃病に効ありと云ひ又黒燒とし胡麻油に混じて塗れば毛生藥と爲ると云ふ。

570 *Elephantopus mollis* H. B. K., Nov. Gen. Sp. Pl. 4, 26 (1820)

- 和名 シロバナイガカウゾリナ 臺灣名 白登豎朽、咸豊草
 生育地 低地の開墾地に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 根を水煎服用せば解熱健胃に宜しく又癩麻質斯を治すと云ふ。
 メキシコ原産なるも現今は熱帯各地に廣くに分布す。

571 *Elephantopus scaber* Linn., Sp., Pl. ed. 1, 814 (1753)

- 和名 ミスミグサ、イガカウゾリナ 臺灣名 登豎朽、紅登豎朽、
 細本登豎朽
 生育地 人家附近の開墾地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 効用前種と同一にして熱帯各地に廣く分布す。

572 *Emilia sonchifolia* DC., Prod. VI. 302 (1837)

Syn. *Senecio sonchifolius* Moench., Mith Suppl. 231 (1802)

- 和名 ウスベニニガナ
 生育地 低地の茶園に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 葉を搗碎して得た汁は火傷及び諸腫毒を治し、打撲傷に用ふる
 外淋病等に用ふ。アジャ、アフリカの熱帯に廣く分布し本邦に
 ては四國、九州南部、琉球、臺灣に分布す。

573 *Erigeron canadensis* Linn., Sp. Pl. 863 (1753)

- 和名 ヒメムカシヨモギ
 生育地 河岸の砂礫地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 北米原産にして現今は世界各地に廣く分布す。

574 *Eupatorium formosanum* Hayata var. *quasitripartitum* Kitamura in Acta

Phytotax. et Geobot. I, 284 (1932)

Syn. *Eupatorium quasitripartitum* Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 44 (1919)

和名 タイワンヒョドリバナモドキ 臺灣名 大本白花仔草、六月雪、
尖尾風、澤蘭草

生育地 低地の河岸に生じ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 臺灣の固有種にしてタイワンヒョドリバナに比するに葉は三淺裂、裂片は鈍頭なり。

575 *Eupatorium Tashiroi* Hayata, Comp. Formos. 9 (1904)

和名 タシロヒョドリ 臺灣名 澤 蘭

生育地 低地の森林に生じ稀なり

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣全島に分布し莖葉を水にて煎服せば血行を良くし水腫を治し吐血及産前産後に効ありと云ふ。

576 *Gnaphalium japonicum* Thunb., Fl. Jap. 311 (1784)

和名 チチゴグサ

生育地 畑地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 北海道、本州、朝鮮、九州、琉球、臺灣、支那、比島、ニューカレドニヤ、濠州、ニュージーランドに分布す。

577 *Gnaphalium multiceps* Wall., Cat. n. 2949 (1831)

和名 ハハコグサ 臺灣名 清明草、鼠麴草

生育地 低地の路傍に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 花は煙草の代用とすれば喘息を發する事なしと云ひ又祛痰藥

とす。北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、比島、印度に分布す。

578 *Lactuca indica* Linn., Mant. II. 278 (1771)

Syn. *Lactuca laciniata* Makino in Bot. Mag. Tokyo XVII. 88 (1903)

- 和名 アキノノゲシ 臺灣名 鷺仔草、蒲公英、滿天星、英仔草
 生育地 低地の路傍に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、比島、印度、スマトラ、ビルマ、瓜哇に分布し莖葉を燒酎にて煎服せば毒蛇の咬傷を治し解熱には水にて煎服し腫物には之を粉末となして患部に塗布す。

579 *Lactuca lacerrima* Hayata var. **flavissima** Kitamura in Acta Phytotax. et Geobot. I. 2, 152 (1932)

Syn. *Lactuca flavissima* Hayata, Ic. Pl. Formos. VIII. 78 (1919)

- 和名 ウサギサウ、タイワンタカサゴサウ 臺灣名 鷺仔草、兔仔菜、
 蒲公英
 生育地 茶園に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 臺灣の固有種にしてタカサゴサウに比するに花は黄色なり。葉を水煎飲用せば皮膚病、麻刺利亞を治し打撲傷にはウスベニニガナ等の葉を加へ砂糖を混じて局部に貼付す。

580 *Lactuca Oldhami* Maxim. in Mel. Biol. IX. 363 (1874)

- 和名 アツバニガナ 臺灣名 刀傷草
 生育地 低地の茶園、造林地に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 莖葉を豚の赤肉と共に半酒半水にて二重燻となして煎服せば血行を良くし中風を治し打傷を治すと云ふ。臺灣特有種なり。

581 Ligularia tussilaginea Makino var. **formosana** Hayata, Ic. Pl. Formos.

VIII. 69 (1919)

- 和名 タイワンツハブキ 臺灣名山菊
 生育地 低地の森林内又は河岸に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 ツハブキに比するに葉は多角なり。臺灣北部に生ず。

582 Mikania scandens Willd., Sp. Pl. III. 1743 (1800)

- 和名 ツルギク、ツルヒヨドリ
 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣、比島、シヤム、馬來、印度に分布する多年生蔓草なり。

583 Sonchus arvensis Linn., Sp. Pl. 793 (1753)

- 和名 タイワンハチヂャウナ
 生育地 低地の開墾地又は森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 印度其他の熱帯に廣く分布し我國にては琉球、臺灣に分布す。
 家兔及家鴨の好飼料にて又腫毒には葉を搗碎きて局部に貼付す。

584 Vernonia cinerea Less. in Linnaea IV. 291 et 673 (1829)

- 和名 ムラサキムカシヨモギ 臺灣名 生支香、一枝香
 生育地 低地の茶園に生じ普通なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 莖葉を搗碎きて汁液を嚥下し更に創口に塗抹せば毒蛇の咬傷に
 利くと云ふ。薩摩、種子島、奄美大島、琉球、臺灣、比島、南支那、
 印度、アフリカ、濠州に分布す。

585 Vernonia gratiosa Hance in Journ. Bot. XX. 290 (1882)

- 和名 シャウジャウハグマ

生育地 低地の森林に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 臺灣特産なり。

586 *Wedelia calendulacea* Less., Syn. Comp. 222 (1832)

和名 クマノギク 臺灣名 拈力仔、田鳥草、黃花田路草、蛇舌黃

生育地 河岸の叢林に生じ稍々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、臺灣、比島、支那、馬來、印度に分布す。

Monocotyledoneae 單子葉植物

Alismataceae オモダカ科

587 *Sagittaria trifolia* Linn. var. *typica* Makino form. *longiloba* Makino in Journ. Jap. Bot. I-11, 36 (1918)

和名 ホソバオモダカ 臺灣名 水芋

生育地 水田に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 本州各部、朝鮮、九州、臺灣其他アジャ、アメリカの北部、歐州に分布し葉を煎服せば解毒の効ありと云ふ。

Poaceae (*Gramineae*) イネ科

588 *Andropogon integer* Honda in Bot. Mag. Tokyo XXXIX. 278 (1925)

和名 ヒメウシクグ

生育地 低地の茶園に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣特産にしてウシクサに比するに關節は有毛、穎は四數、小穂は無梗全縁、無芒なり。

589 Arthraxon hispidus Makino var. **typicus** Honda in Monog. Poac. Jap. 326 (1930)

- 和名 シロコブナグサ
 生育地 路傍、開墾跡地に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、琉球、臺灣、支那に分布す。

590 Arundo formosana Hack. in Bull. Herb, Boiss. 724 (1899)

- 和名 ヒナヨシ
 生育地 河岸の岩石上に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 琉球、臺灣に生ず。

591 Bambusa multiplex Roensch. ed. III. 108 (1797)

Syn. *Bambusa nana* Matsum. et Hayta Enum. Pl. Formos. 549 (1906)
 non Roxb.

- 和名 ホウワウチク 臺灣名 観音竹、鳳尾竹
 生育地 人家附近に栽培せらる。
 生活形 N (灌木)
 備考 恐らく支那の原産ならんも現在は各地の暖地に植栽せらる。

592 Bambusa Oldhami Munro in Trans. Linn. Soc. XXVI. 109 (1868)

- 和名 リョクチク 臺灣名 緑竹
 生育地 人家附近に栽培せられ少々稀なり。
 生活形 M (亞喬木)
 備考 筍は食用の外之を搗碎きて纖維を採り水にて煎服して胃熱を除き嘔吐を止むるに用ふ。臺灣、支那に分布し挿枝により繁殖容易なり。

593 Bambusa sp.

- 和名 パーハマチク (新稱) 臺灣名 パーハマ
 生育地 人家附近に生じ稀なり。
 生活形 M (亞喬木)

備考 葉は前種より狭く稈は直徑三糎以下なり。佐々木舜一氏に依れば學名未詳の竹なりと。

594 Coix Lachryma-Jobi Linn. var. *frumentacea* Makino in Bot. Mag. Takyō
XX. 11 (1906)

和名 ハトムギ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 通常栽培せられ野生稀なり。

var. **Susutama** Honda in Monogr. Poac. Jap. 416 (1930)

和名 ジュズダマ

臺灣名 鴨母珠

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 前種に酷似するも葉長く果實は球形 (彼は橢圓形) にして白色 (彼は淡綠) なり。果皮を碎きて水にて煎服せば健胃及利尿の効あり又脚氣に良く根は又咳を止め月經を通ずといふ小兒果實を糸に貫き珠數 (念珠) を模して弄ぶが故に此名あり。
本州、四國、九州、琉球、朝鮮、臺灣に分布す。

595 Dendrocalamus latifolius Munro, Monogr. Bamb. 152 (1868)

和名 マチク

臺灣名 蔴竹

生育地 低地の人家附近に生じ稍々普通なり。

生活形 MM (喬木)

備考 印度、支那、臺灣に分布し稈は竹筏を製し蕃人は水筒に使用し葉はチマキ (粽) に用ひ筍は煮て後ち乾かし即ち干筍を製して盛に輸出す。

596 Dimeria ornithopoda Trin. var. *tenera* Hack. form. *typica* Hack., Monogr. Androp. 82 (1889)

和名 コカリマタガヤ
 生育地 開墾跡地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 北海道、本州、九州、朝鮮、琉球、臺灣、印度東部、濠州、瓜哇、比島に分布す。

597 *Echinochloa Crusgalli* Beauv. subsp. *genuina* Honda var. *typica* Honda
 in Bot. Mag. Tokyo XXXVII. 120 (1923)

和名 コミヅピエ
 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 暖地に廣く分布し本邦にては臺灣、小笠原島に分布す。莖葉を酒にて煎服せば血行を良くし又脚氣を治すと云ふ。

598 *Eleusine indica* Gaertn., Fruct. I. 8 (1788)

和名 フヒジハ 臺灣名 魚鱗草、牛頓草、萬斤草
 生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 本州、四國、九州、琉球、朝鮮、臺灣、小笠原島、印度東部、アフリカ、コウカサス、濠州に分布し莖葉を水にて煎じ外瘡の洗滌劑とす。

599 *Eragrostis Niwahokori* Honda in Bot. Mag. Tokyo XLI. 387 (1927)

和名 ニハホコリ
 生育地 低地の人家附近に生じ少々普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 本邦にては北海道、本州、四國、九州、琉球、朝鮮、臺灣に分布し海外に於ける分布は不明なり。

600 Eragrostis unioloides Nees ex Steud. Syn. Gram. 264 (1855)

- 和名 ベニスズメガヤ
 生育地 低地の開墾地に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 臺灣、印度東部、瓜哇、セイロン島、比島、支那に分布しスズメガヤに比するに丈低く小穂は稍々大にして紅色を帯ぶ。

601 Ichnanthus pallens Munro ex Benth. Fl. Hongk. 414 (1861)

- 和名 タイワンササキビ
 生育地 森林内の蔭地に生じ稍々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣、支那、濠州、アメリカ北部、中部、南部に分布す。

602 Imperata cylindrica Beauv. var. **Koenigii** Durand et Schinz ex A. Camus
 in Rev. Bot. appli. Agric. colon. V. 42, 110 (1925)

- 和名 チガヤ、フシゲチガヤ
 生育地 低地の開墾地に生じ稍々普通なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 本邦にては本州、九州、朝鮮、臺灣、小笠原島に生ずるも其他アジア、アフリカ、アメリカの暖地に廣く分布す。葉にて屋根を葺き苫を製し嫩穂は食すべく根莖は煎服して熱を解き尿を利し淋疾、喘息、黃疸、水腫、消渴を治し衄血を止むと云ひ白毛はホクチ(火口)となる。

603 Isachne debilis Rendl. in Journ. Linn. Soc. XXXVI. 322 (1904)

- 和名 ヒメチゴザサ、ミヤマチゴザサ
 生育地 森林内の路傍に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣、比島に分布す。

604 *Isachne dispar* Trin., Sp. Gram. Ic. I. t. 86 (1828)

和名 メンテンチゴザサ

生育地 密林内の湿地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉は廣く外殻に毛なし。臺灣北部、ネパールに分布す。

605 *Isachne firmula* Buese in Miq. Pl. Jungh. I. 379 (1851-55)

和名 タイワンハヒチゴザサ、アツバハヒチゴザサ

生育地 森林内の路傍に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 ハヒチゴザサに比し葉は厚く無毛なり。臺灣、支那、瓜哇、ボルネオに分布す。

606 *Isachne globosa* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 778 (1891)

和名 チゴザサ

生育地 路傍の湿地に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 北海道、本州、四國、九州、琉球、朝鮮、臺灣、滿洲、支那、馬來、印度東部、濠州に分布す。

607 *Leersia hexandra* Swartz, Prod. Veg. Ind. Occ. 21 (1788)

和名 タイワンアシカキ

生育地 湿地、水田に生じ少々稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 熱帯各地に廣く分布し本邦にては琉球、臺灣に分布す。牛馬の好飼料にて比島にては水田に栽培すると云ふ。アシカキに酷似するも莖、小穂は有毛なり。

608 *Lophatherum gracile* Brong. in Duperrey Voy. Coq. Bot. 50 (1828)

和名 コササクサ

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、比島、馬來、ヒマラヤ、印度東部に分布す。葉を水にて煎服せば解熱利尿の効あり根は吐瀉及下痢を止め不眠神經衰弱を治す。されど妊婦用ふれば胎兒を墮すと云ふ。

609 *Microstegium geniculatum* Honda, Monogr. Poac. Jap. 410 (1930)

Syn. *Pollinia geniculata* Hayata, Ic. Pl. Formos. VII. 73 (1918)

和名 ススキササガヤ

生育地 森林内の路傍に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 葉長二十糎内外に達す。臺灣特産なり。

610 *Microstegium vimineum* A. Camus var. *imberbe* Honda, Monogr. Poac Jap. 408 (1930)

Syn. *Pollinia imberbis* Nees ex Steud., Nom. Bot. ed. 2. II. 144 (1841)

和名 アシボン

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、滿洲、支那中部、瓜哇、印度東部に分布す。

611 *Miscanthus japonicus* Anders. in Oefvers. Vet. Akad. Stock. 166 (1855)

和名 トキハススキ

生育地 低地の水邊に生じ普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州、四國、九州、臺灣、支那、馬來、比島、カレドニヤ、タヒチ島、サモア諸島に分布す。ススキに比し葉は冬期にても枯死せず花穂も大なり。

612 Miscanthus sinensis Anders., l. c.

和名 ススキ、ヲバナ、カヤ

生育地 低地の陽地に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那、比島、ボルネオ、アツサム、馬來に分布す。

613 Oplismenus compositus Beauv., Ess. Agrost. 54 (1812)

和名 エダウチチヂミザサ

生育地 森林内の路傍に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 九州南部、琉球、臺灣、小笠原島、濠州、印度東部、セイロン島、支那、アメリカに分布す。

614 Oplismenus formosanus Honda in Fedde Repert. XX. 361 (1924)

和名 オホエダウチチヂミザサ

生育地 森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 前者に比し全株大形なり。臺灣特産なり。

615 Oplismenus imbecillis Roem. et Schult. var. **morrisonensis** Honda in Bot.

Mag. Tokyo XXXVIII. 190 (1924)

和名 ホソバチヂミザサ

生育地 森林内の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 チヂミザサに比し葉は狭長なり。臺灣特産なり。

616 Oplismenus japonicus Honda, l. c. 189 (1924)

和名 コチヂミザサ

臺灣名 稜米草

生育地 森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 チヂミザサに比し無毛なり。本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

617 *Oplismenus polliniaefolius* Honda in Fedde, Repert. XX. 362 (1924)

和名 コバノチヂミザサ

生育地 森林内に生じ極めて稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 葉は長さ二穂内外なり。臺灣特産なり。

618 *Panicum bisulcatum* Thunb. in Nov. Act. Soc. Sc. Upsal. VII. 141 (1815)

和名 スカキビ

生育地 低地の畑地、茶園に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度東部に分布す。

619 *Panicum montanum* Roxb. Hort. Beng. 82 (1814)

和名 ヤマキビ、シマキビ

生育地 森林内の路傍に生じ少々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣、支那、馬來、比島に分布す。

620 *Panicum patens* Linn. var. *latifolius* Honda, Monogr. Poac. Jap. 252 (1930)

和名 ヒロハノヒメチゴザサ

生育地 低地森林内の路傍に生じ少々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣の特産にして北、中部に分布す。

621 *Panicum plicatum* La Mark, Illus. 171 (1791)

和名 ササキビ

臺名 大風草、風颯草

生育地 低地森林の各所に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 高さ 二米餘に達する多年生草本にして九州南部、琉球、臺灣、馬來、印度、熱帯アフリカに分布す。

622 *Panicum repens* Linn., Sp. Pl. ed. II, 87 (1762)

和名 ハヒキビ
 生育地 低地の茶園に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 九州(肥前、日向、薩摩、大隅)、琉球、臺灣、馬來、印度東部、アフリカ、歐州に分布す。

623 *Paspalum conjugatum* Berg. in Act. Helv. VII. 129 (1772)

和名 スズメノナガビエ
 生育地 低地の開墾地に生じ最も普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣、小笠原島、其他の熱帯に廣く分布す。

624 *Paspalum scrobiculatum* Linn., Mant. 29 (1767)

syn. *Paspalum scrobiculatum* Linn. var. *orbiculare* Makino in Bot. Mag. Tokyo X. 60 (1896)

和名 スズメノコビエ
 生育地 低地の茶園に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州、九州、琉球、臺灣、支那、印度東部、濠州に分布し一見スズメノヒエに酷似するも無毛なり。

625 *Phragmites Karka* Trin. ex Steud. Nom. ed. 2. II. 324 (1841)

和名 セイコノヨシ
 生育地 低地の水邊に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 本州中南部、四國、九州、琉球、朝鮮南部、印度東部、濠州に分布しヨシに似るも全株壯大なり。

626 Phyllostachys Makinoi Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 250 (1915)

和名 ケイチク、タイワンマダケ 臺灣名 桂竹、桂竹仔

生育地 人家附近に生じ稀なり。

生活形 M (亞喬木)

備考 一見マダケに酷似するも籜上の紫斑は濃厚ならず、臘粉を被る。臘粉は稈にも亦顯著なり。稈は通直にして肉薄く周圍三十浬を超えず。臺灣の北、中部に産す。

627 Pleioblastus Usawai Ohki in Bot. Mag. Tokyo XLII. 520 (1928)

Syn. *Arundinaria Usawai* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 138, f. 49 (1916)

和名 カハカムリヤダケ

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 N (灌木)

備考 臺灣の特産にして北、中部に産す。

628 Pogonatherum crinitum Kunth, Enum. Pl. I. 478 (1833)

和名 イタチガヤ 臺灣名 筆仔草、紅毛草

生育地 茶園又は造林地内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州、四國、九州、琉球、臺灣、支那、馬來、印度に分布す。

629 Rhaphis aciculatus Honda in Bot. Mag. Tokyo XL. 103 (1926)

和名 オキナハマチシバ、リウキウミチシバ 臺灣名 地路蜈蚣

生育地 演習林事務所附近に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 亞細亞の熱帶、濠州、ポリネシヤに分布し本邦にては琉球、臺灣に分布す。

630 *Rottboellia compressa* Linn. f., Suppl. Pl. 114 (1781)

和名 コバノウシノシツペイ

生育地 低地の茶園に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 九州、臺灣、支那、印度に分布す。

631 *Saccharum spontaneum* Linn. subsp. *indicum* Hack. var. *genuinum* Hack.,
Monogr. Andrp. 114 (1889)

和名 フセヲバナ

生育地 低地の河岸の砂礫地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州(相模)、臺灣、馬來、印度東部に分布す。

632 *Sacciolepis oryzetora* Honda in Bot. Mag. Tokyo XXXVII. 118 (1923)

和名 ヌメリグサ

生育地 茶園に生じ少々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 ハヒヌメリに比し圓錐花序は暗紫色(彼は綠色)なり。本州、九州、琉球、朝鮮、臺灣に分布す。

633 *Setaria lutescens* Hubbard var. *genuina* Honda, Monogr. Poac. Jap. 237
(1930)

Syn. *Chaetochloa lutescens* Stuntz. var. *genuina* Honda in Bot. Mag. Tokyo
XXXVIII. 194 (1924)

和名 キンエノコロ

臺灣名 金狗仔毛

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州、九州、琉球、朝鮮、臺灣、アジアの北部、アフリカ北部、歐州に分布す。

var. **longispica** Honda, l. c. 238 (1930)

Syn. *Chaetochloa lutescens* Stuntz. var. *longispica* Honda, l. c. 195 (1924)

和名 ナガホノキンエノコロ、キツネノヲ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本州、九州、朝鮮、臺灣に分布し穂の長さ十糎以上に及ぶ。

634 **Sporobolus elongatus** R. Br., Prod. Fl. Nov. Holl. 170 (1810)

Syn *Sporobolus indicus* (non R. Br.) Benth., Fl. Hongk. 426 (1861) pro parte

和名 ネズミノヲ

生育地 低地の開墾地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、印度東部に分布す。

635 **Syntherisma Ischaemum** Nash, N. Amer. Fl. XVII. 151 (1912)

和名 アキメヒジハ、ムラサキメヒジハ

生育地 低地の茶園に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 本邦にては北海道、本州、九州、琉球、朝鮮、臺灣、小笠原島に分布するも其他北半球の暖地に廣く分布す。

636 **Syntherisma sanguinalis** Dulac var **ciliaris** Honda in Bot. Mag. Tokyo

XXXVIII. 120 (1924)

和名 メヒジハ

生育地 低地の茶園に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、小笠原島、其他亞細亞、アフリカ、
歐洲、濠州の暖地に廣く分布す。

637 *Thysanolaena latifolia* Honda, Monogr. Poac. Jap. 312 (1930)

syn. *Thysanolaena maxima* O. Kuntze, Rev. Gen. Pl. II. 794 (1891)

和名 ヤダケガヤ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣、支那 印度に分布し高さ三米に達するものあり。

Cyperaceae カヤツリゲサ科

638 *Carex Dunni* Hayata, Mater. Fl. Formos. 382 (1911)

和名 ダンスゲ

生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ稍々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣特産なり。

639 *Carex Nakaharai* Hayata, Mater. Fl. Formos. 387 (1911)

和名 ナカハラスゲ

生育地 低地の河岸林内に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 ナキリスゲに酷似するも瘦果は倒卵狀長橢圓形又は長橢圓形に
して臺灣特産なり。

640 *Carex Sasakii* Hayata, Mater. Fl. Formos. 395 (1911)

和名 ムシヤナルコスゲ

生育地 森林内の濕地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣の北、中部に生ず。

641 Carex sp. nov. ?

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 大井次三郎氏に依れば *Carex gracilispica* Hayata (ナゴスゲ) と *Carex lutchuensis* Ohwi に最も近く恐らく新種ならんと。

642 Cyperus difformis Linn., Cent. Pl. II. 6 (1756)

和名 タマガヤツリ

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 舊世界の熱帯に広く分布し本邦にては北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣に分布す。

643 Cyperus distans Linn. f., Suppl. 103 (1781)

和名 ハハキガヤツリ

生育地 低地の水邊に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 熱帯各地に普通なる草本にして本邦にては奄美大島、琉球、臺灣に分布す。

644 Cyperus flavidus Retz. Obs. V. 13 (1789)

和名 ミヅハナビ

生育地 水田、濕地に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 コアビガヤツリに酷似するも全株大形にして根莖は横走せず。熱帯の各地に広く分布し本邦にては本州中南部、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

645 Cyperus Iria Linn., Sp. Pl. ed. 1, 45 (1753)

和名 コゴメガヤツリ

生育地 水田、其他の陽地に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 世界の暖地に廣く分布し本邦にては本州各部、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

646 *Cyperus mediorubescens* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 106 (1916)

和名 オホガヤツリ
 生育地 低地の水邊に生じ稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 オニガヤツリに比するに花穂は密生し小穂は著しく短かし。
 臺灣の南部に多し。

647 *Cyperus rotundus* Linn., Sp. Pl. ed. 1, 45 (1753)

和名 ハマスゲ、カウブシ 臺灣名 土香
 生育地 低地の人家附近に生じ稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 本邦にては本州南部、九州、琉球、臺灣に分布するも世界各地の暖地に分布し根は精油を含有し通經劑となる。

648 *Eleocharis acicularis* R. Br., Prod. 224 (1810)

和名 マツバキ
 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 北半球各地に分布し本邦にては北海道、本州各部、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

649 *Eleocharis Shimadai* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 107 (1916)

和名 ホクトキ
 生育地 水田に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 ミヅヒキキに比するに鬚髓遙かに長くして穎より超出す。
臺灣特産なり。

650 *Fimbristylis annua* Roem. et Schult., Syst. Veg. II. 95 (1817)

和名 テンツキ

生育地 路傍の水邊に生じ少々普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 世界の熱帯より温帯に亘り廣く分布する草本にして本邦にては
本州中部以南、九州、朝鮮、臺灣に分布す。

651 *Fimbristylis miliacea* Vahl, Enum. II. 287 (1806)

和名 ヒデリコ 臺灣名 虱籠島

生育地 水田に生じ稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 世界の熱帯より暖帯に亘り廣く分布する草本にして本邦にて本
州各地、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。莖葉を煎じて毒蛇咬傷
に用ふ。

652 *Hypolytrum latifolium* Rich. ex Pers. Syn. I. 70 (1805)

和名 スゲガヤ

生育地 低地の森林に生じ少々普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 臺灣、亞細亞、濠州の熱帯に分布す。

653 *Kyllinga brevifolia* Rottb., Desc. et Ic. 13 (1773)

和名 ヒメクグ 臺灣名 白香附、無頭香、無頭土香

生育地 水田に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 熱帯より温帯に亘り廣く分布し本邦にては北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。根を煎じて感冒又は腹痛に用ふ。

654 Mariscus Sieberianus Nees in Linnaea IX. 286 (1834)

和名 クグ

生育地 低地の河岸の陽地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 世界の暖地に廣く分布し本邦にては本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布す。

655 Pycnus eragrostis (Vahl) Merr., Fl. Manila 108 (1912)

Syn. *Pycnus sanguinolentus* Nees in Linnaea 9, 283 (1834)

Cyperus sanguinolentus Vahl, Enum. II. 351 (1806)

和名 カハラスガナ

生育地 水田に生じ普通なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 支那、印度、濠州、アビシニヤ 其他の熱帯地方に廣く分布し本邦にては北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣に分布す。

656 Scirpus erectus Poir., Encycl. VI. 761 (1804)

和名 ホタルキ

生育地 水田に生じ少々普通なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 舊世界の熱帯より温帯に亘り分布し本邦にては北海道、本州各部、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣に分布す。

657 Scirpus ternatanus Reinw. ex Miq. Fl. Ind. Bat. III. 307 (1856)

Syn. *Scirpus chinensis* Munro in Seem. Bot. Voy. Herald 423 (1856)

和名 オホアブラガヤ

生育地 河邊の卑濕地に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 九州南部、琉球、臺灣、比島、支那、印度に分布す。

658 Scleria scrobiculata Nees et Mey. in Wright. Contrib. 117 (1834)

和名 オホシンジユガヤ

生育地 低地の卑濕地に生じ稍々稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 九州(屋久島、種子島)、琉球、臺灣、支那、比島、馬來、ニューギニヤに分布す。

Areaceae (*Palmae*) シユロ科

659 Arenga Engleri Becc., Malesia, III. 184 (1889)

和名 クロツグ 臺灣名山棕

生育地 低地の河岸林内に生じ稍々普通なり。

生活形 Ch (近地表植物)

備考 奄美大島、琉球、臺灣に分布す。纖維を採り繩を製す。

660 Calamus Margaritae Hance in Journ. Bot. XII. 266 (1874)

和名 トウ 臺灣名 籐、黄籐

生育地 森林内に生じ普通なり。

生活形 L (蔓性植物)

備考 莖は洋杖、椅子、籠等を製するに用ひらる。臺灣全島、支那に分布す。

Araceae テンナンシャウ科

661 Acorus gramineus Soland. in Ait. Hort. Kew. I. 474 (1789)

和名 セキシヤウ 臺灣名 石菖蒲

生育地 山間の溪流に栽培せられ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 本州中南部、九州、濟州島、臺灣、比島、支那(海南島)、ヒマラヤに分布す。盆石に植えて觀賞する外根莖を煎服せば血行を旺にして眼を明にし耳を聴くし又之を酒に浸し服用せば癩を治し又莖、葉の煎汁にて患部を洗へば皮膚病を治し手足の骨挫けたるを癒し根莖を削りて聽道に挿入せば耳聾を去らしめ早朝葉の露を採り點眼せば目藥となると。

662 *Alocasia macrorrhiza* Schott in Schott et Endl. Melet. 18 (1832)

和名 クハズイモ 臺灣名 姑婆芋
 生育地 森林の陰濕地に生じ普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 四國、九州南部、琉球、臺灣、馬來、比島、印度に分布す。根莖に毒ありと云はるゝも嫩苗は煮て豚の飼料とす。印度、比島にては裝飾用に栽培すると云ふ又根を搗碎して腫毒を癒する目的に貼用す。

663 *Arisaema ringens* Schott, l.c. 17 (1832)

和名 ムサシアブミ
 生育地 密林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 本州中南部、四國、九州、濟州島、琉球、臺灣に分布する有毒植物なり。

664 *Epipremnum mirabile* Schott, Gen. Aroid. t. 79 (1858)

和名 ハブカヅラ
 生育地 森林内の樹幹に着生し普通なり。

- 生活形 L (蔓性植物)
 備考 琉球、臺灣、馬來半島、印度、濠州、ポリネシヤに分布す。庭園に栽植して風致を添ふるに供す。

665 Pothos Seemanni Schott in Bompl. V. 45 (1857)

- 和名 ユズノハカヅラ
 生育地 森林内の樹上に纏繞し普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣全島、支那南部に分布する藤本なり。

Eriocaulaceae ホシクサ科

666 Eriocaulon Merrillii Ruhl. in Perk., Frag. Fl. Philip. I. 136 (1904)

- 和名 ルゾンホシクサ
 生育地 水田に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 高さ三糎内外の小草にして比島に分布す。

Commelinaceae ツユクサ科

667 Aneilema angustifolium N. E. Br. in Journ. Linn. Soc. XXXVI. 151 (1903-5)

- 和名 ナガバイボクサ
 生育地 開墾地に生じ普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 支那に分布す。

668 Aneilema sinicum Lindl. in Bot. Reg. t. 659

- 和名 シナイボクサ
 生育地 水田に生じ稍々稀なり。
 生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣北部に産し支那にも分布す。

669 *Commelina undulata* R. Br., Prod. 270 (1810)

和名 ナミツユクサ 臺灣名 竹仔菜、紅竹仔菜

生育地 低地の開墾地、路傍に生じ普通なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 一見ツユクサに酷似するも花は遙かに小形なり。莖葉を碎きて腫物に貼る。竹仔菜は類似種の共通名なり。琉球、臺灣、南支那、熱帯濠州、印度、モロッカ諸島等に分布する汎熱帯性草本なり。

670 *Cyanotis arachnoidea* Clarke in DC. Monogr. Phan. III. 260 (1881)

和名 アラゲツユクサ

生育地 低地の路傍に生じ極く稀なり。

生活形 T (一年生植物)

備考 臺灣、印度、セイロン島に分布す。

671 *Forrestia chinensis* N. E. Br. in Journ. Linn. Soc. XXXVI. 158 (1903-5)

和名 ヤンバルメウガ

生育地 低地の森林の蔭地に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 臺灣、支那南部に分布す。

672 *Pollia minor* Honda in Bot. Mag. Tokyo XLV. 2 (1931)

和名 コヤブメウガ

生育地 森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 一見ヤブメウガに似るも遙かに小形にして匍枝を出す。本州、琉球、臺灣に分布す。

Pontederiaceae ミヅアフヒ科

673 *Monochoria vaginalis* Presl. var. *pauciflora* Merr. in Enum. Philip. Fl.
Pl. I. 201 (1922)

Syn. *Monochoria vaginalis* Presl. var. *plantaginea* Solms-Laub., in DC.
Monogr. Phan. IV. 524 (1883)

- 和名 コナギ 臺灣名 甜菜、鴨舌草
 生育地 水田に生じ稍々普通なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 莖葉に米を加へて煮食せば中暑、霍亂、腹痛並に小兒の丹毒及喘息を治すと云ふ。本州各部、九州、琉球、臺灣、支那、馬來、比島、瓜哇に分布す。

Juncaceae 牛 科

674 *Juncus prismatocarpus* R. Br. var. *Leschenaultii* Buch. subv.
pluritubulosus Buch. in Engl. Bot. Jahrb. 311 (1890)

- 和名 カウガイゼキシヤウ
 生育地 水田に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 北海道、本州、四國、九州、琉球、臺灣、印度、セイロン島に分布す。

Liliaceae ユ リ 科

675 *Allium Bakeri* Regel, All. Monogr. 141 (1875)

- 和名 ラツキヤウ 臺灣名 蔴 蔴
 生育地 茶園に生じ普通なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 支那の原産にして現在は廣く各地に分布し鱗莖は食用とす。

676 *Dianella ensifolia* DC., Red. Lil. I, t. 1 (1802)

- 和名 キキヤウラン 臺灣名 山菅蘭
 生育地 森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 本州(紀州)、九州南部、琉球、臺灣、小笠原島、支那南部、比島、馬來、印度、濠州、ポリネシヤに分布し觀賞用に適するも根莖には毒あるが如く豚之を食へば斃ると云ふ。

677 *Heterosmilax japonica* Kunth, Enum. V. 270 (1850)

- 和名 カラスギバサンキライ 臺灣名 白葎蕨、土茯
 生育地 低地の森林内に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 琉球、臺灣に分布す。

678 *Lilium philippinense* Bak. var. *formosanum* Wils., Lilies. East. Asia 21 (1925)

- 和名 タカサゴユリ
 生育地 海拔四百米附近の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 臺灣の特産にして鱗莖を水にて煎服して解熱又は咳止め用ひ又酢に煎じて搗碎き毒蛇の咬傷部に貼用し或は鍋炭を混じ搗きて腫物に塗布す。花は觀賞用に適す。

679 *Mondo graminifolia* Koidz. in Bot. Mag. Tokyo XL. 333 (1926)

- 和名 ヤブラン
 生育地 低地森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 根を煎服せば緩和滋養及祛痰の効あり又熱を去り眼を明かにし腎を暖め婦人の乳の出でざるに宜し。本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、支那、印度に分布す。

680 Paris formosana Hayata, Mater, Fl. Formos. 367 (1911)

- 和名 タイワンツクバネ 臺灣名 七葉蓮、青木香、七厚蓮
 生育地 密林内に生じ稀なり。
 生活形 G (深地下植物)
 備考 根皮を酒水等量にて煎服せば腹痛、横痃を治し健胃の効あり毒蛇咬傷には根を搗碎きて前と同様にして煎服し残滓を患部に塗るべしと云ふ。臺灣全島に分布す。

681 Smilax glabra Roxb., Hort. Beng. 72 (1814)

- 和名 ナメラサンキライ
 生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 臺灣の固有種にして葉は卵狀披針形を呈す。

682 Smilax randaiensis Hayata, Mater. Fl. Formos. 362 (1911)

- 和名 ランダイサンキライ
 生育地 海拔七百米附近の森林内に生じ普通なり。
 生活形 N (灌木)
 備考 高さ一米以下の灌木にして葉の裏面は白色なり。中央山脈に多き臺灣の固有種なり。

683 Smilax stenopetala A. Gray, Bot. Jap. 412 (1859)

- 和名 サツマサンキライ
 生育地 低地の森林に生じ普通なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 九州南部(肥前、日向、薩摩、大隅)、琉球、臺灣に分布す。

684 Tricyrtis formosana Bak. in Journ. Linn. Soc. XVII. 465 (1879)

- 和名 タイワンホトトギス

- 生育地 河岸の岩壁に生じ稍々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣全島に分布す。

Amaryllidaceae ヒガンバナ科

685 *Curculigo capitulata* Kuntze, Rev. Gen. 703 (1891)

- 和名 オホセンボウ 臺灣名 仙茅
 生育地 低地の密林内に生じ稍々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 南アフリカの原産と稱するも 現在は臺灣、南支那、馬來、比島、濠州に分布す。

Dioscoreaceae ヤマノイモ科

686 *Dioscorea alata* Linn., Sp. Pl. 1033 (1753)

- 和名 ダイジョウ、ゲンバイドコロ 臺灣名 田薯
 生育地 低地の人家附近に栽培せられ稀に野生状をなす。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 舊熱帯原産の蔓草にして莖には翼を有す。比島、印度等にては廣く食用の爲に栽培せらるゝ云ふ。

687 *Dioscorea bulbifera* Linn. form. *spontanea* Makino et Nemoto, Fl. Jap. ed. 2, 1585 (1931)

- 和名 ニガガシユウ
 生育地 密林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 L (蔓性植物)
 備考 本州中南部、九州、琉球、臺灣に分布し根莖は苦味多く食用に適せず基種は支那、比島、馬來、印度に分布す。

688 *Dioscorea rhipogonoides* Oliv. in Hook. Ic. Pl. t. 1868 (1889)

- 和名 ソメモノイモ 臺灣名 薯榔
- 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
- 生活形 L (蔓性植物)
- 備考 根莖は薯榔と稱し單寧を含み八重山島には古來先島上布の染料
又は八重山飛白等に用ひ 又漁網、漁夫の衣服染料に廣く用ふ。
臺灣の蕃人は衣服を染るに使用す。清國時代に濫掘の結果現今
は高地にあらざれば少しと云ふ。小笠原島、琉球、臺灣、支那、
交趾支那に分布す。

Musaceae **バセウ科**

689 *Musa formosana* Hayata, Gen. Ind. Formos. 83 (1916)

- 和名 タイワンバセウ 臺灣名 山苧蕉
- 生育地 低地の森林に生じ稀なり。
- 生活形 M (灌木)
- 備考 臺灣全島に分布し臺灣特産なり。漿果は小形にして種子多く食用に適せず。

Zingiberaceae **シヤウガ科**

690 *Languas intermedia* Gagn. in Bull. Soc. Bot. France XLII. 83

Syn. *Alpinia hokutoensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 120 (1920)

- 和名 ホクトクマタケラン
- 生育地 低地の森林に生じ稍々普通なり。
- 生活形 H (淺地下植物)
- 備考 臺灣の北部に多し。

691 *Languas japonica* Sasaki, in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. XIV. 84 (1924)Syn. *Alpinia japonica* Miq. in Ann. Lugd. Bat. III. 140 (1867)

和名 ハナメウガ

生育地 低地森林に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 本州中南部、四國、九州、臺灣に分布す。

692 *Languas Shimadai* Sasaki, l. c. 86 (1924)Say *Alpinia Shimadai* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 219 (1915)

和名 シチセイハナメウガ

生育地 密林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 臺灣全島に分布す。

693 *Languas speciosa* Merr., Enum. Philip. Fl. Pl. I. 234 (1922)Syn. *Alpinia speciosa* K. Schum., Engl. Bot. Jahrb. 27, 284, t. 3 (1899)

和名 ゲツタウ 臺灣名 月桃

生育地 低地の森林に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 琉球、臺灣、南支那、印度支那、比島、印度に分布す。葉鞘にて索繩及行李を造り又ボール紙を製す。

694 *Languas uraiensis* Sasaki in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. XIV. 86 (1924)Syn. *Alpinia uraiensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 224 (1915)

和名 タイリングゲツタウ

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 莖は高さ二米に達し臺灣北部に産す。

695 *Zingiber Kawagooi* Hayata, Ic. Pl. Formos. X. 35 (1921)

- 和名 タイワンメウガ
 生育地 低地森林の蔭濕地に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 臺灣の特産なり。

Burmanniaceae ヒナノシヤクチャウ科

696 *Burmannia Takeoi* Hayata, Ic. Pl. Formos. V. 212 (1915)

- 和名 タイワンシヤクチャウバナ
 生育地 海拔六百米附近の森林内に生じ稀なり。
 生活形 T (一年生植物)
 備考 ルリシヤクチャウに比するに花翅は不齊半長楕圓形にして截頭ならず。シロシヤクチャウに比するに花は遙かに大、花筒は廣くして不齊の翅を有す。臺灣特産なり。

Orchidaceae ラ ン 科

697 *Anoectochilus formosanus* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 99 (1914)

- 和名 キバナシユスラン 臺灣名 金線蓮、樹草蓮
 生育地 低地の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 Ch (近地表植物)
 備考 臺灣特産にして臺灣人の最も貴重する藥草にして莖葉を水にて煎服せば即ち補血滋養と成り其他肺患解熱、肝、脾諸臟一切の疾患に奇効ありとし毒蛇咬傷にも利くと云ふ。觀賞栽培に價す。

698 *Bulbophyllum Somai* Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 109 (1920)

- 和名 サウマラン

生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 一見マメヅタランに酷似するも萼片は著しく狭長なり。臺灣北部に分布す。

699 Calanthe Fauriei Schltr., Orch. Sino-Jap. Prod. 66 (1919)

和名 シマエビネ

生育地 森林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 九州の屋久島に分布す。

700 Calanthe gracilis Lindl. in Wall. Cat. n. 734f (1831)

和名 トクサラン、クサイロエビネ

生育地 海拔九百米附近の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 九州南部、奄美大島、琉球、臺灣、支那、ヒマラヤに分布す。

701 Calanthe sp.

生育地 海拔三、四百米の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 一見クサイロエビネに酷似するも花は白色後少々黄白色に變ず。

702 Calanthe Takeoi Hayata, Ic. Pl. Formos. IX. 111 (1920)

和名 イトウエビネ

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 H (浅地下植物)

備考 花は黄色にして美麗なり。臺灣の北部に多し。

703 *Cirrhopetalum melanoglossum* Hayata, Gen. Ind. Fl. Formos. 76 (1917)?

- 和名 タシロクシノムラン
 生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣の中部山地に多し。

704 *Cirrhopetalum Saruwatarii* Hayata, l. c.

- 和名 ケイタオクシノハラシ
 生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣中部の山地に多し。

705 *Cirrhopetalum uraiense* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 51 (1914)

- 和名 ウライラン
 生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣全島の山地に生ず。

706 *Cremastra triloba* Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 135 (1912)

- 和名 タイワンサイハイラン
 生育地 低地の森林内に生じ極めて稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣の中央山脈に多し。

707 *Cryptostylis erythroglossa* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 117 (1914)

- 和名 オホスズムシラン
 生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣の中央山脈に多し。

708 Cymbidium illiberale Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 78 (1914)

和名 タイワンキンリョウヘン

生育地 低地森林内の樹上に生じ少々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣の中部、北部の山地に分布し観賞用として雅趣あり。

709 Cymbidium Nagifolium Masamune in Bot. Mag. Tokyo XLIV. 220 (1930)

和名 ナギラン

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 H (淺地下植物)

備考 本州(新島)、四國、九州南部、琉球、臺灣に分布す。

710 Cymbidium rubrigemmum Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 81 (1916)

和名 アカメソシン

生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 観賞用として栽培し雅致あり。臺灣北部の山地に多し。

711 Cymbidium Simonsianum King. et Pantl. in Journ. As. Soc. Beng.

LXIV.-2, 239 (1895)

和名 ホウラン、カンボウラン

生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 熱帯亞細亞に廣く分布し観賞用として栽培せらる。臺灣の北部中部の山中に多し。

712 Dendrobium leptocladum Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 43 (1914)

和名 イトウセキコク

生育地 低地森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 高さ五十糎内外に達し葉は線状なり。臺灣の中部北部に多し。

713 *Dendrobium Linawianum* Reichb. f. in Walp. Ann. VI. 284 (1861)

和名 サクラセキコク

生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣、支那に分布し、花は美麗なるを以て栽培せらる。

714 *Dendrobium longicalcaratum* Hayata, Ic. Pl. Formos, IV. 43 (1914)

和名 ナガツメセキコク

生育地 森林内の樹上に生じ少々普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣北部の山地に多し。

715 *Dendrobium moniliforme* Swartz in Nov. Act Upsal. VI. 85 (1799)

和名 セキコク 臺灣名 接骨草

生育地 低地森林内の樹上に生じ少々稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣の北、中部に多く 又本州中南部、四國、九州、濟州島に分布す。

716 *Diploprora uraiensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 86 (1914)

和名 サガリラン

生育地 低地森林内の樹上に生じ少々普通なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣の中、北部に多く、栽培して雅致あらん。

717 *Eria arisanensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 54 (1914) ?

和名 アリサンオサラン
 生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣中部の山地に多し。

718 Eria Corneri Reichb. f. in Gard. Chron. II. 106 (1878)

和名 ホザキオサラン
 生育地 低地森林内の樹上に生じ少々普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣全島に分布す。

719 Eria nudicaulis Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 138 (1912)

和名 フシナシオサラン
 生育地 低地森林内の樹上に生じ少々普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣北部の山地に多し。

720 Eria tomentosiflora Hayata, Ic. Pl. Formos. II. 137 (1912)

和名 チャイロオサラン
 生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣全島に分布す。

721 Goodyera nantoensis Hayata, Mater. Fl. Formos. 343 (1911)

和名 ホウライウヅラ
 生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 ミヤマウヅラに比するに花序は密花、花亦遙かに小形なり。
 臺灣の北、中部の森林内に多し。

722 *Goodyera Ogatai* Yamamoto, Suppl. Icon. Pl. Formos. III. 9 (1927)

- 和名 シマシユスラン
 生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 九州の屋久島、臺灣北部に分布す。

723 *Goodyera procera* Hook., Exot. Fl. t. 39 (1823)

- 和名 キンギンサウ
 生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 奄美大島、琉球、臺灣、支那(海南島)、馬來、印度に分布す。

724 *Habenaria longitentaculata* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 127 (1914)

- 和名 ナメラサギサウ
 生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣中部の山地に生ず。

725 *Liparis dolichopoda* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 27 (1914)

- 和名 ラツキヨウラン、ホザキノキノヘラン
 生育地 密林中の樹上に生じ少々稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣の中、北部及び東部に分布す。

726 *Liparis Henryi* Rolfe in Kew Bull. 193 (1896)

- 和名 ヘンリーコ克蘭
 生育地 低地の森林内に生じ少々普通なり。
 生活形 H (浅地下植物)
 備考 臺灣全島に分布す。

727 *Liparis keitaoensis* Hayata, Ic. Pl. Formos. VII. 40 (1918)

- 和名 ミドリズムシ、アリサンスズムシ
 生育地 密林内の樹上又は岩面に着生し少々稀なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣中部の山地に多し。

728 *Liparis* sp.

- 生育地 低地森林内に生じ稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 ヘンリーコクランに比するに葉は大形なり。

729 *Liparis taiwaniana* Hayata, Mater. Fl. Formos. 311 (1911)

Syn. *Cestichis taiwaniana* Nakai in Bot. Mag. Tokyo XXX. 148 (1916)

- 和名 タイワンキノヘラン
 生育地 森林内の樹上に生じ少々普通なり。
 生活形 E (着生植物)
 備考 臺灣の中央山脈に多し。

730 *Microstylis congesta* Reichb. f. in Walp. Ann. VI. 206 (1861)

- 和名 ホザキヒメラン
 生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
 生活形 H (淺地下植物)
 備考 熱帯亞細亞、濠州に廣く分布す。

731 *Nervilia Aragoana* Gaud. in Freyc. Voy. Bot. 422 (1829)

- 和名 アフヒボクロ、ヤヘヤマクマガエサウ
 生育地 低地の開墾地附近に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 琉球、臺灣、比島、馬來、ビルマ、印度、スマトラ、ニューギニア、
サアモア島? に分布す。葉は圓形にして地面に接し特徴あり。

732 *Oberonia formosana* Hayata, Mater. Fl. Formos. 309 (1911)

和名 タイワンヤウラクラン

生育地 海拔五百米附近の森林内の樹上に着生し稀なり。

生活形 E (着生植物)

備考 臺灣全島の山地に分布す。

733 *Platanthera longibracteata* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 122 (1914)

和名 ナガバチドリ

生育地 低地の森林内に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 臺灣中部の山地に分布す。

734 *Platanthera* sp. in Ic. Pl. Formos. IV. 125, f. 66 (1914) ?

生育地 低地の草生地に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

備考 臺灣特産?

735 *Platanthera* sp.

生育地 海拔九百米附近に生じ稀なり。

生活形 G (深地下植物)

736 *Sarcanthus fuscomaculatus* Hayata, Ic. Pl. Formos. IV. 94 (1914)

和名 オホムカデラン

生育地 森林内の樹上に生じ稀なり。

生活形 E (着生植物)
備考 臺灣の北部に多き氣生蘭なり。

737 *Tainia cordifolia* Hook. f. in Hook. Ic. Pl. XIX. t. 1861 (1889)

和名 アフヒラン
生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 臺灣全島に分布す。

738 *Tainia Shimadai* Hayata. Ic. Pl. Formos. VI. 75 (1916)

和名 ナガバアフヒラン
生育地 低地の森林内に生じ少々稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 臺灣全島に分布す。

739 *Tainia* sp.

和名 ウスバアフヒラン (新稱)
生育地 海拔四百米附近の森林内に生じ稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 一見アフヒランに酷以するも葉質はネツタイランの如し。
未だ花を見ざるを以て確定固難なるも臺灣島には初見の種類なるは確なり。

740 *Tropidia angulosa* Blume, Orch. Archip. Ind. 122 (1858)

和名 ネツタイラン
生育地 低地森林内に生じ稀なり。
生活形 H (淺地下植物)
備考 臺灣、馬來、印度に分布す。

741 *Vrydagzynia formosana* Hayata, Ic. Pl. Formos. VI. 88 (1916)

- 和名 ミソボシラン
生育地 低地の森林内に生じ稀なり。
生活形 H (浅地下植物)
備考 臺灣の北部に多し。